四万十市の未来を考えるための
アンケート調査

結果報告書

平成 31 年 3 月

□ ■ 目 次 ■ □

調査の概要 1

１．調査の目的 1
２．調査の方法 1
３．報告書のみかた 1

就学前（小学校入学前）児童のいる世帯の調査結果 2

お子さんとご家族の状況について 2
(1) 居住地区 2
(2) お子さんの生年月 2
(4) 回答者とお子さんの関係 3
(5) 回答者の配偶関係 4
(6) お子さんの子育てを主に行っている方 4
子どもの育ちをめぐる環境について 5
(7) 子どもの成長に影響する環境 5
(8) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 5
(8-1) 親族・知人にお子さんをみてもらっている状況について 6
(9) 子育てを相談できる人・場所の有無 7
(9-1) 子育てを相談できる人・場所 7
(10) 子育ての悩みや心配ごと 8
保護者の就労状況について 9
(11) 母親の就労状況 9
(11-1) フルタイムへの転換希望の有無 9
(11-2) 現在就労していない母親の今後の就労希望 10
(11-3) 希望する就労形態 11
(12) 父親の就労状況 12
(12-1) フルタイムへの転換希望の有無 12
(12-2) 現在就労していない父親の今後の就労希望 13
(12-3) 希望する就労形態 13
平日の定期的な教育・保育事業の利用について 14
(13) 定期的な教育・保育事業の利用の有無 14
(13-1) 定期的に利用している教育・保育事業 14
(13-2) 平日の教育・保育事業の利用時間 15
(13-3) 改善や新たな実施を希望する事業 17
(13-4) 幼稚園・保育所等のメリット・デメリット 19
(13-5) 幼稚園・保育所等を利用していない理由 21
(14) 平日に定期的に利用したい教育・保育事業 22
地域の子育て支援事業の利用状況について 23
(15) 地域子育て支援事業の利用の有無 23
(15-1) 地域子育て支援センター「ぽっぽ」の利用頻度 24
(15-2) その他の事業の利用頻度 25
(16) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 26
(17) 地域子育て支援拠点事業を増やす必要性 26
(17-1) 拠点事業はどの程度増やすべきか 27
(17-2) 拠点事業を増やす必要はないと思う理由 27

土曜日・休日などの幼稚園・保育所等の利用希望について 28
（18）土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育所等の利用希望 28
（18-1）たまに利用したい理由 30
（19）長期休暇期間中の幼稚園の利用希望 31
（19-1）長期休暇期間中たまに利用したい理由 32
病気の際の対応について 33
（20）病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと 33
（20-1）病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法 33
（20-2）病児・病後児保育施設等の利用意向 36
（20-3）病気やケガの子どもを預ける場合に望ましい事業形態 36
（20-4）病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由 37
不定期の保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 38
（21）通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業 38
（22）一時預かり事業の利用希望の有無 40
（22-1）一時預かりの利用目的 40
（23）子どもを泊りがけでみてもらったことの有無 43
（23-1）子どもを泊りがけでみてもらった時の対処方法 43
小学校就学後の放課後の過ごし方について 45
（24）小学校就学後の放課後の過ごし方 45
（24-2）長期休暇期間中の学童保育の利用希望 49
育児休業や短時間勤務制度等 職場の両立支援制度について 50
（25）母親の育児休業取得状況 50
（25-1）育児休業取得後の職場復帰 50
（25-2）育児休業を取得しなかった理由 51
（26）父親の育児休業取得状況 52
（26-1）育児休業取得後の職場復帰 52
（26-2）育児休業を取得しなかった理由 53
子育てに関する情報について 54
（27）子育てに関する情報の入手先 54
（28）子育てに関してどのような情報が欲しいか 55
（29）情報の入手方法の希望 56
行政への要望について 57
（30）市の子育て環境や支援への満足度 57
小学生のいる世帯の調査結果 58
お子さんとご家族の状況について 58
（1）居住地区 58
（2）お子さんの生年月 58
（3）お子さんの人数 59
（4）回答者とお子さんの関係 60
（5）回答者の配偶関係 60
（6）お子さんの子育てを主に行っている方 61
子どもの育ちをめぐる環境について 62
（7）子どもの成長に影響する環境 62
（8）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 62
（8-1）親族・知人にお子さんをみてもらっている状況について 63

（9）子育てを相談できる人・場所の有無 64
（9-1）子育てを相談できる人・場所 64
（10）子育ての悩みや心配ごと 65
保護者の就労状況について 66
（11）母親の就労状況 66
（11-1）フルタイムへの転換希望の有無 66
（11-2）現在就労していない母親の今後の就労希望 67
（11-3）希望する就労形態 68
（12）父親の就労状況 69
（12-1）フルタイムへの転換希望の有無 69
（12-2）現在就労していない父親の今後の就労希望 70
（12-3）希望する就労形態 70
病気の際の対応について 71
（13）病気やケガを理由に通学できなかったこと 71
（13-1）病気やケガで通学できなかった時の対処方法 71
（13-2）病児・病後児保育施設等の利用意向 74
（13-3）病気やケガの子どもを預ける場合に望ましい事業形態 74
（13-4）病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由 75
放課後の過ごし方について 76
（14）放課後の過ごし方 76
（14-1）土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望 80
（14-2）長期休暇期間中の学童保育の利用希望 81
子育てに関する情報について 82
（15）子育てに関する情報の入手先 82
（16）子育てに関してどのような情報が欲しいか 83
（17）情報の入手方法の希望 84
行政への要望について 85
（18）市の子育て環境や支援への満足度 85

調査の概要

１．調査の目的

「子ども・子育て支援事業計画」（平成 26 年度～30 年度）が来年度、計画の最終年度を迎えることから、計画の見直しに向けて、改めて、皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握するため、本調査を実施いたしました。

２．調査の方法

就学前（小学校入学前）児童のいる世帯

〇調査対象：市内在住の就学前児童がいる保護者　1,242 世帯

〇調査期間：平成 30 年 11 月 27 日～平成 30 年 12 月 7 日

〇調査方法：郵送配付・回収

〇配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	1,242 票	966 票	77.8%

小学生のいる世帯

〇調査対象：市内在住の小学生がいる保護者　1,223 世帯

〇調査期間：平成 30 年 12 月 3 日～平成 30 年 12 月 14 日

〇調査方法：郵送配付・回収

〇配布・回収：

	配布数	回収数	回収率
合計	1,223 票	1039 票	85.0%

３．報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

〇「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

〇「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

〇百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。

〇設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

〇表・グラフ中の「不明」の表記については、無期入、回答の読み取りが著しく困難な場合は「不明」として処理しました。

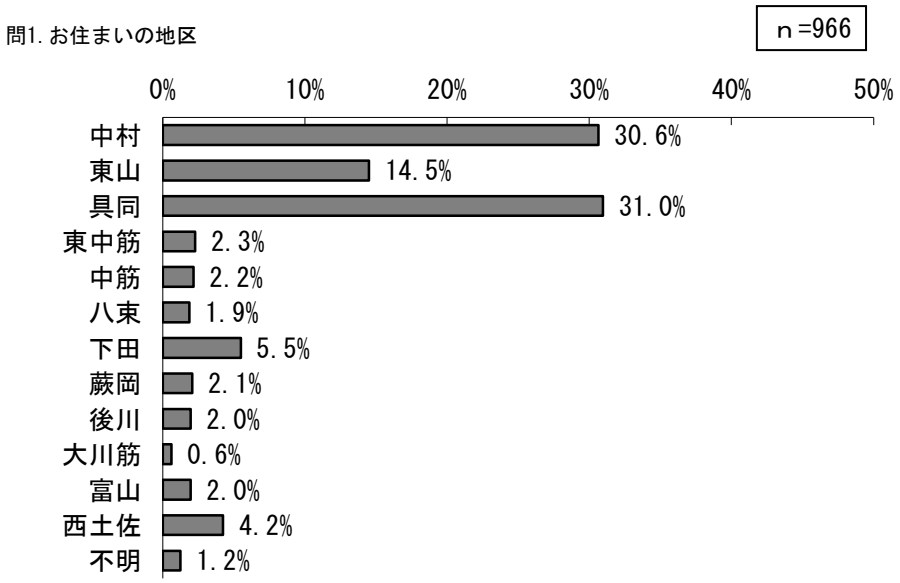
就学前（小学校入学前）児童のいる世帯の調査結果

お子さんとご家族の状況について

(1) 居住地区

問１　お住まいの地区はどこですか。（○は１つ）

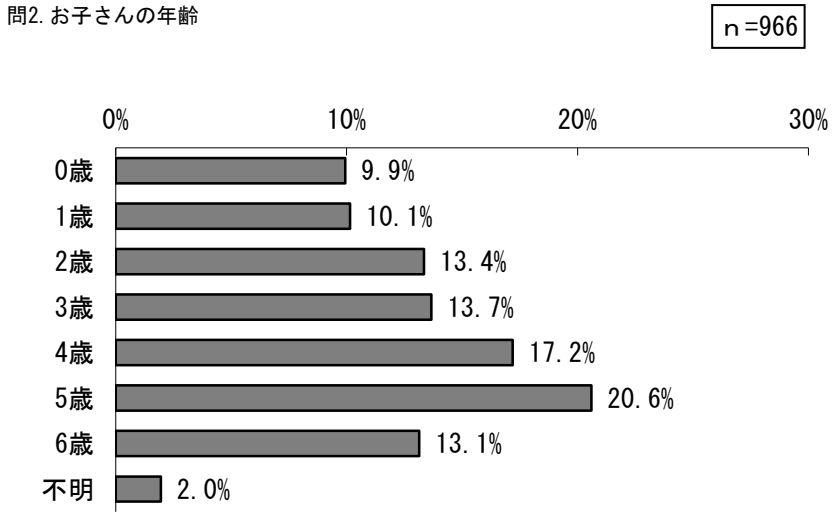
回答者の居住地区は、「具同」が 31.0%、「中村」が 30.6%、「東山」が 14.5%、「下田」が 5.5%となっています。



(2) お子さんの生年月

問２　お子さんの生年月を数字でご記入ください。

生年月をもとに子どもの年齢を算出したところ、「5 歳」が 20.6%と最も高く、次いで「4 歳」が 17.2%、「3 歳」が 13.7%、「2 歳」が 13.4%、「6 歳」が 13.1%となっています。

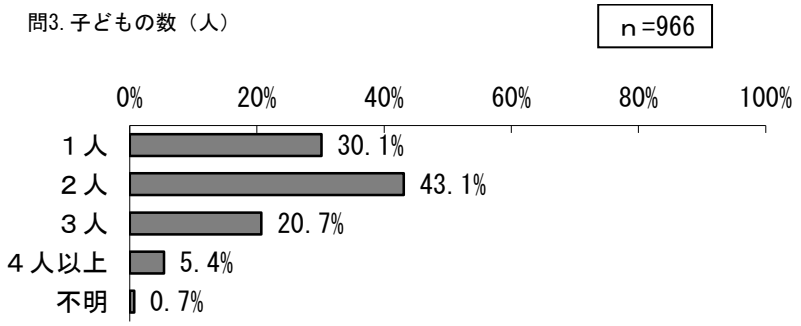


(3) お子さんの人数

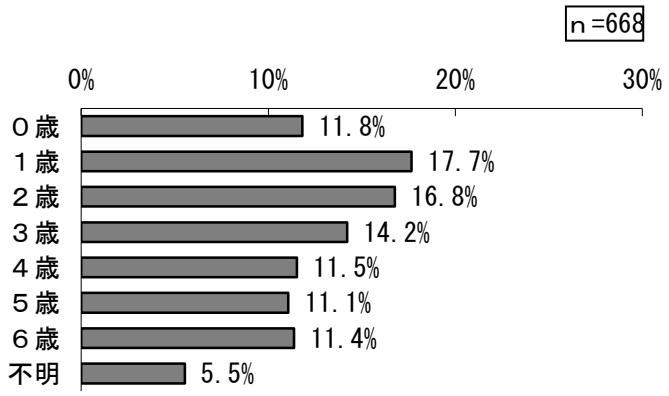
問３　子どもの数は何人いらっしゃいますか。人数を（　）内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの人数は「2 人」が 43.1%と最も高く、次いで「１人」が 30.1%となっています。
また、生年月をもとに末子の年齢を算出したところ「1 歳」が 13.8%と最も高く、次いで「2 歳」が 12.1%となっています。

問3. 子どもの数（人）



問3. 末子の年齢

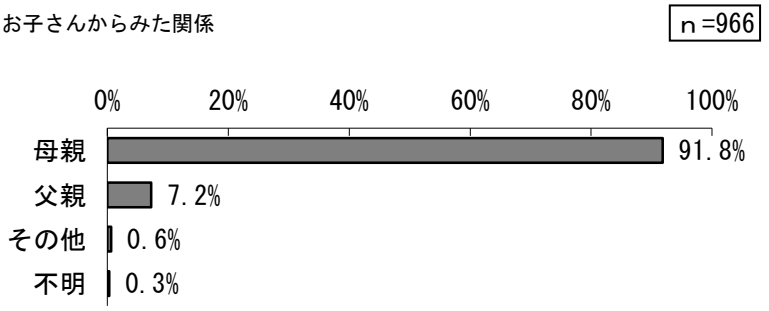


(4) 回答者とお子さんの関係

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は１つ）

この調査票に回答した人は、「母親」が 91.8%、「父親」が 7.2%となっています。

問4. お子さんからみた関係



●その他

祖母の妹/父・母/施設職員/施設担当

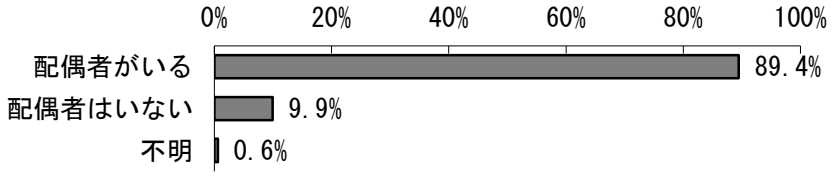
(5) 回答者の配偶関係

問 5　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は 1 つ）

回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が 89.4%、「配偶者はいない」が 9.9%となっています。

問5. ご回答いただいている方の配偶関係

n =966



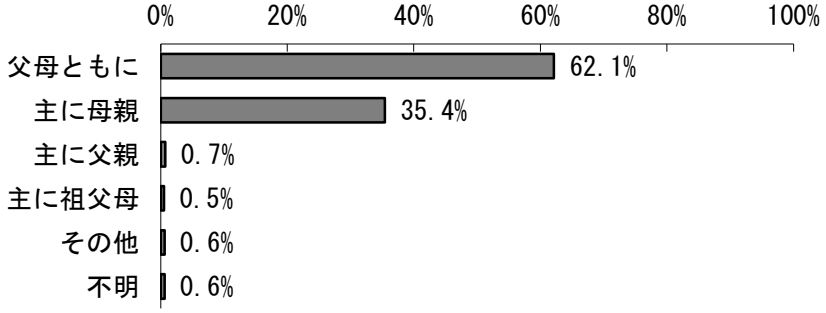
(6) お子さんの子育てを主に行っている方

問 6　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は１つ）

主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が 62.1%と最も高く、次いで「主に母親」が 35.4%となっています。

問6. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方

n =966



●その他

祖母の妹/父母祖父母/母親と祖母/施設職員/若草園職員/施設担当

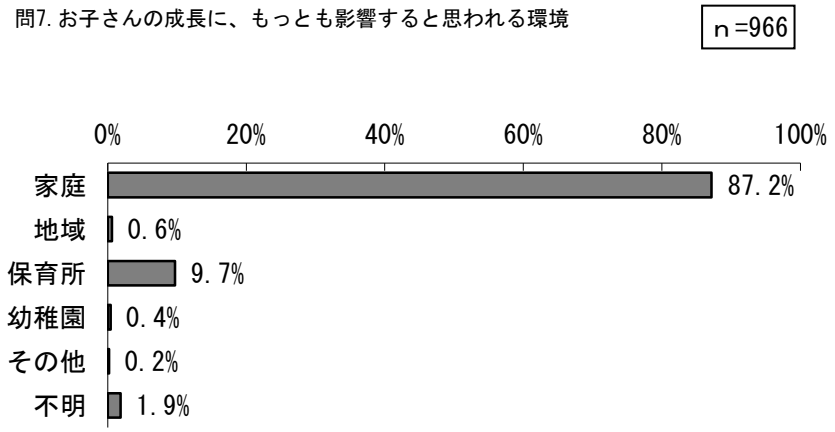
子どもの育ちをめぐる環境について

(7) 子どもの成長に影響する環境

問７　お子さんの成長に、もっとも影響すると思われる環境は何だとお考えですか。（○は１つ）

子どもの成長にもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が 87.2%と大多数を占め、次いで「保育所」が 9.7%となっています。

問7. お子さんの成長に、もっとも影響すると思われる環境



●その他

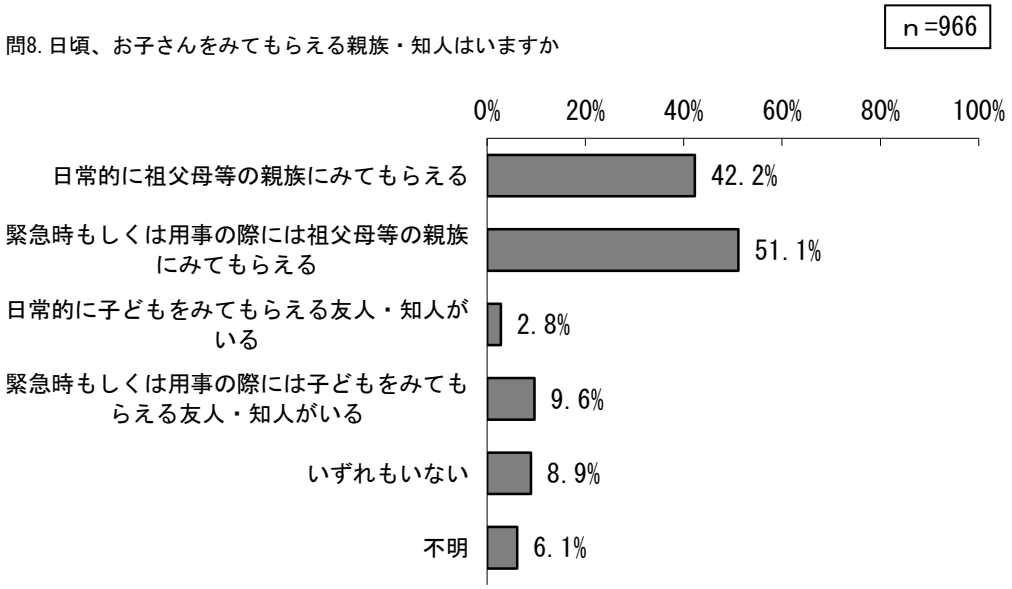
家庭と保育所だと思う。どちらかとは決められない

(8) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 51.1%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 42.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 9.6%となっています。

問8. 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか

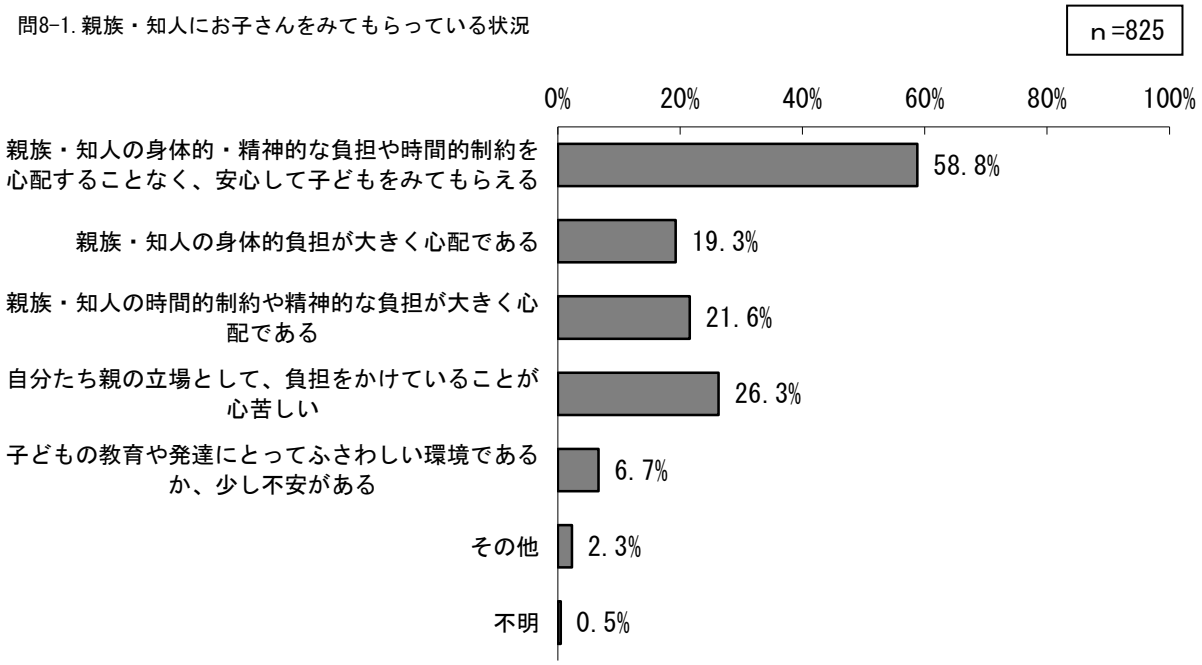


(8-1) 親族・知人にお子さんをみてもらっている状況について

問 8-1　問 8 で「1～4」に○をつけた方にお伺いします。親族・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

親族・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 58.8%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 26.3%、「親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 21.6%となっています。

問8-1.親族・知人にお子さんをみてもらっている状況



●その他

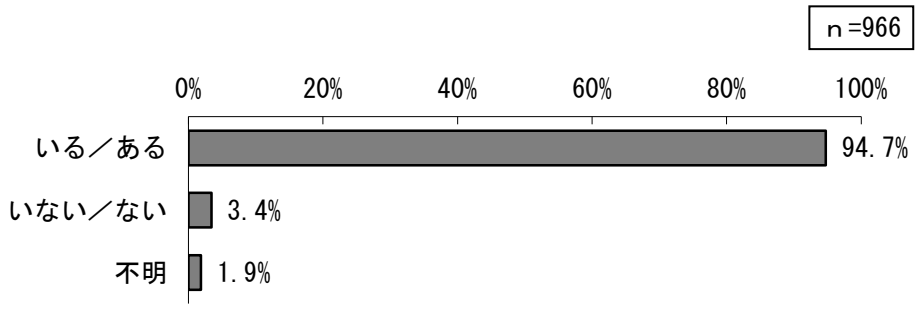
預けている間はゆっくりと用事ができず、時に苦痛になる時がある。特に義理の親ならなおさら自分の心的負担が大きい/全てにおいて、1～5 まで少しずつあてはまる/負担になっているのではと思う事もあるが、ありがたく思っている。居なくては困る存在である/祖母に仕事を休んでもらってみてもらってるので申し訳ない/子供のペースで動けない。認知面に不安がある親族しか頼れません/子供が祖父母の家では御飯を食べてくれない/安心して子供を見てもらえるが、預けることは少し心苦しく感じる時もある/自分がみていないと子供のケガや事故なども心配になります/よほどの事でない限り頼みにくい。夫婦共県外出身で親族が近くにいない為/安心もあるが慣れ合いにならないようにお互い気を使いながらみてもらっている　など

(9) 子育てを相談できる人・場所の有無

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（○は１つ）

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の有無については、「いる／ある」が 94.7%、「いない／ない」が 3.4%となっています。

問9. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人また、場所はありますか

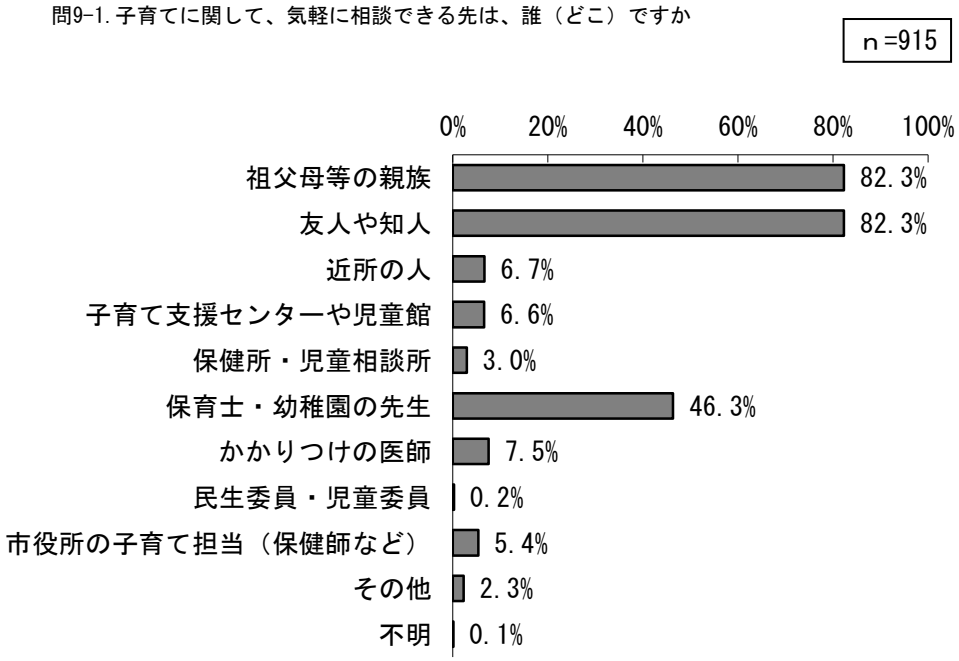


(9-1) 子育てを相談できる人・場所

問 9-1　問 9 で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

子育てに関して、気軽に相談できる相手先は、「祖父母等の親族」と「友人や知人」が同率の 82.3%で最も高く、次いで「保育士・幼稚園の先生」が 46.3%となっています。

問9-1. 子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか



●その他

病院の ST/職場の同僚/パート先の子育て経験している人/助産師

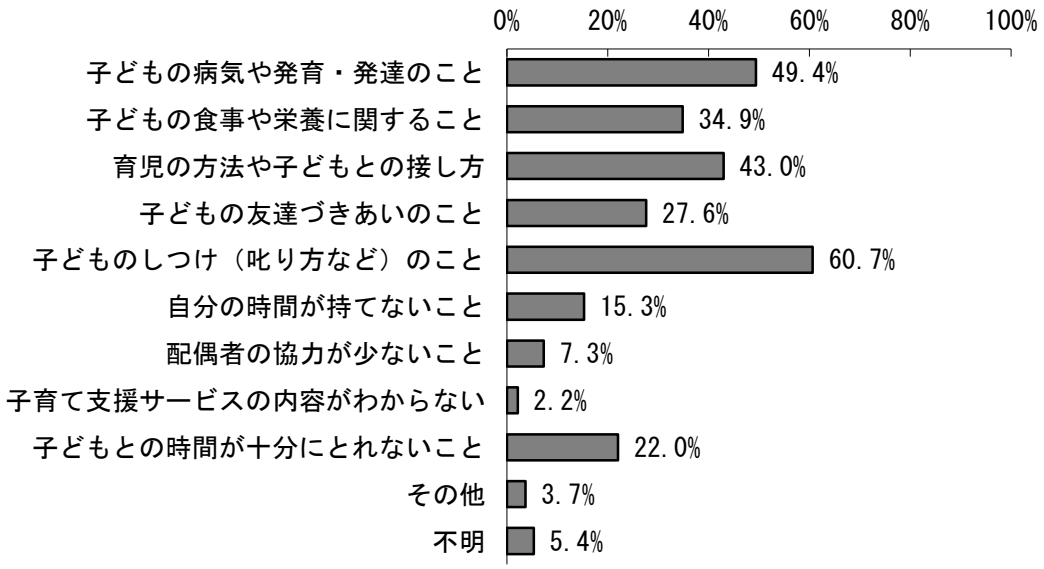
（10）子育ての悩みや心配ごと

問 10　子育て（教育を含む）をする上で、どのようなことで悩んだり心配していますか。（○はいくつでも）

子育てをする上での悩みや心配ごとは、「子どものしつけ（叱り方など）のこと」が 60.7%と最も高く、次いで「子どもの病気や発育・発達のこと」が 49.4%、「育児の方法や子どもとの接し方」が 43.0%となっています。

問10.子育て（教育を含む）をする上で、どのようなことで悩んだり心配していますか

n =966



●その他

特になし（同意見多数）/父親と暮らしていないこと。父親が責任から逃げていること/親との関わり、家庭環境/弟がいるので、接する時間が減ってしまった/自分の精神疾患による子への影響/仕事への支障。風邪で休むとか遅刻しそうになるとか/母に余裕がなくゆっくり優しく接せられていない/義理の祖父母との関わり/他家庭との付き合い方/配偶者と子育ての価値観の違い/近所に同級生がいない/母子家庭での就職環境/教育資金/育児仲間がいない/子育て支援サービスがない/再就職先があるか　など

保護者の就労状況について

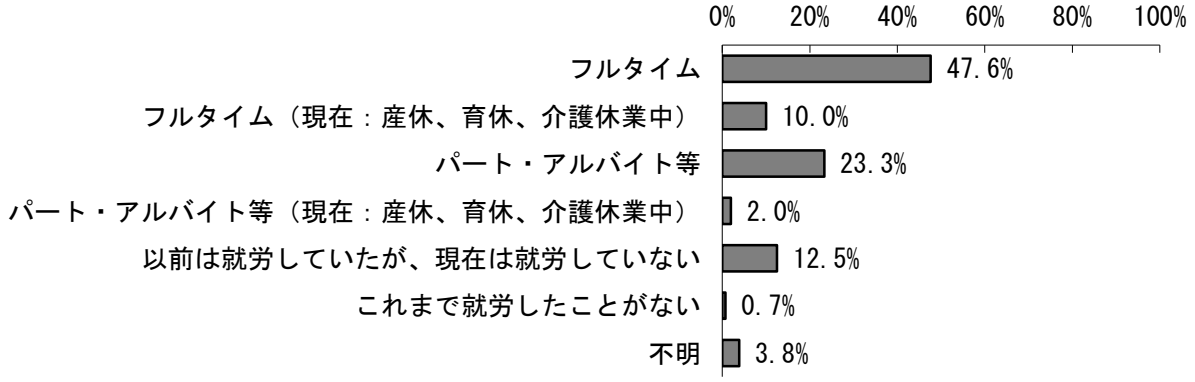
（11）母親の就労状況

問 11　お子さんから見た「母親」の就労状況についてお伺いします。（父子家庭の場合は問 12 にお進みください。）母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（○は１つ）

母親の就労状況は、「フルタイム」が 47.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」が 23.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 12.5%となっています。

n =966

問11. 母親の現在の就労状況



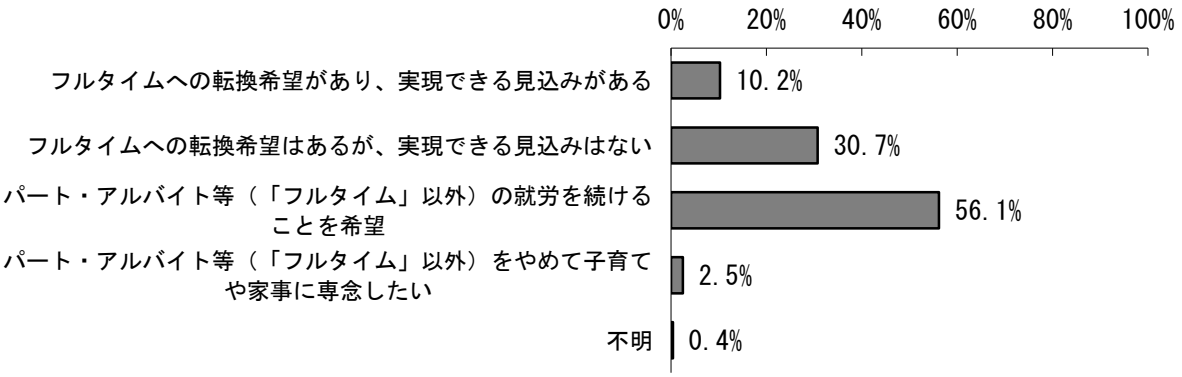
（11-1）フルタイムへの転換希望の有無

問 11-1　問 11 で「3」「4」（パート・アルバイト等）に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つ）

フルタイムへの転換希望の有無については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 56.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 30.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 10.2%となっています。

n =244

問11-1. フルタイムへの転換希望はありますか

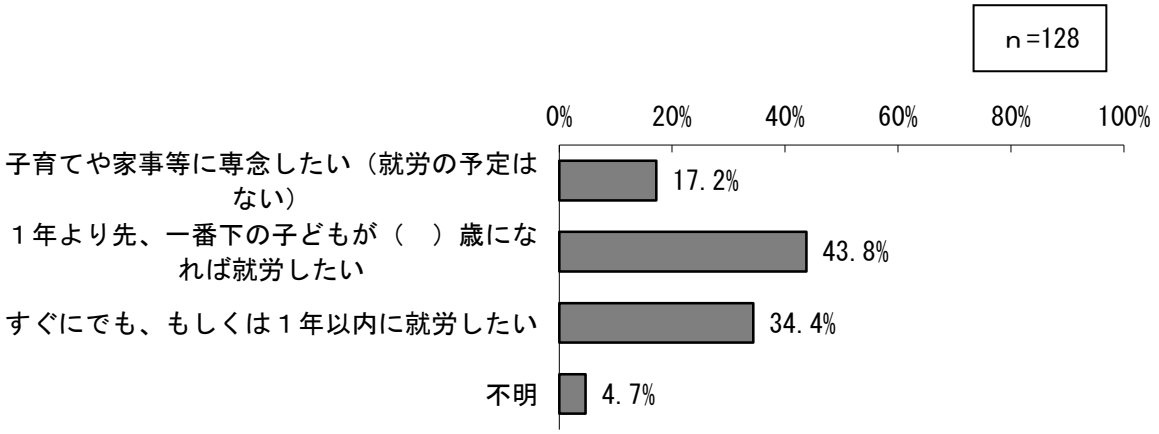


(11-2) 現在就労していない母親の今後の就労希望

問 11-2　問 11 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ○は１つ) 該当する（　　）内には数字をご記入ください。

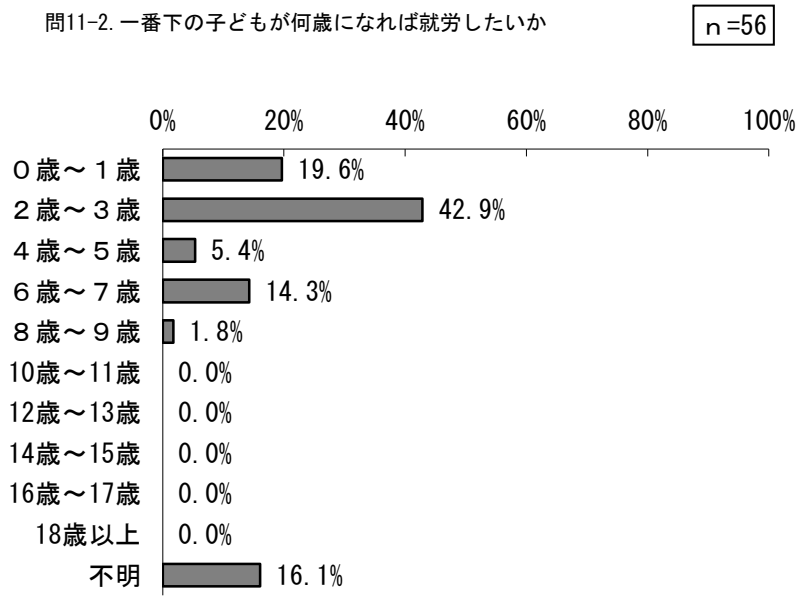
就労していない母親の今後の就労についての希望は、「1 年より先、一番下の子どもが（　）歳になれば就労したい」が 43.8%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 34.4%、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない)」が 17.2%となっています。

問11-2. 就労したいという希望はありますか



「1 年より先、一番下の子どもが□歳になれば就労したい」と答えた人の希望する就労時期は、一番下の子どもが「2 歳～3 歳」になれば就労したいが 42.9%と最も高くなっています。

問11-2. 一番下の子どもが何歳になれば就労したいか

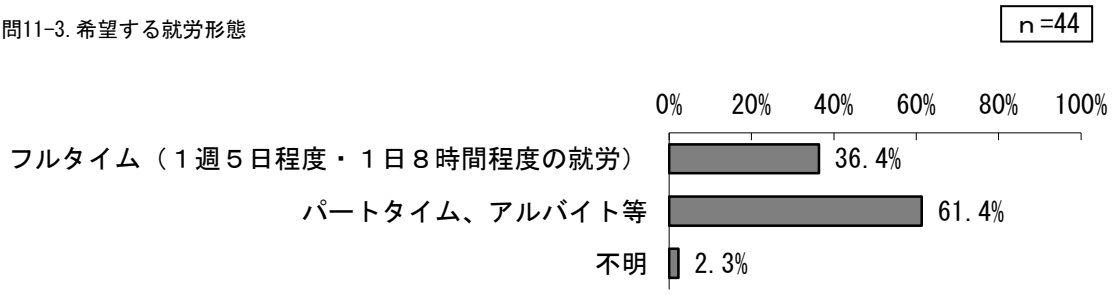


(11-3) 希望する就労形態

問 11-3　問 11-2 で「3 すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」に○をつけた方にお伺いします。希望する就労形態はありますか。(○は 1 つ) 該当する（　　）内には数字をご記入ください。

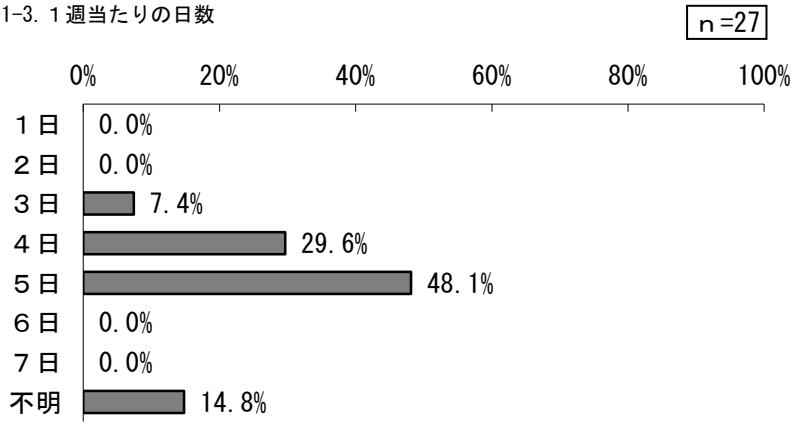
就労を希望する人の、希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 61.4%と最も高く、次いで「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)」が 36.4%となっています。

問11-3. 希望する就労形態

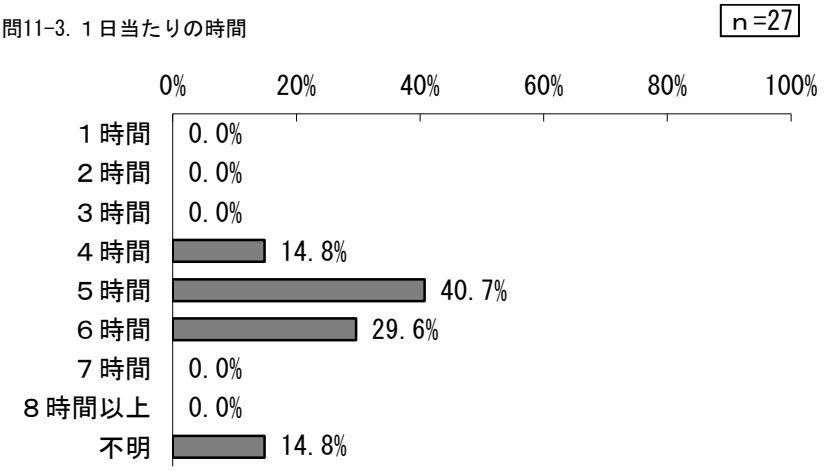


「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、希望する 1 週あたりの日数は「5 日」が 48.1%で最も高く、次いで「4 日」が 29.6%、同じく 1 日当たりの時間は「5 時間」が 40.7%で最も高く、次いで「6 時間」が 29.6%となっています。

問11-3. １週当たりの日数



問11-3. １日当たりの時間

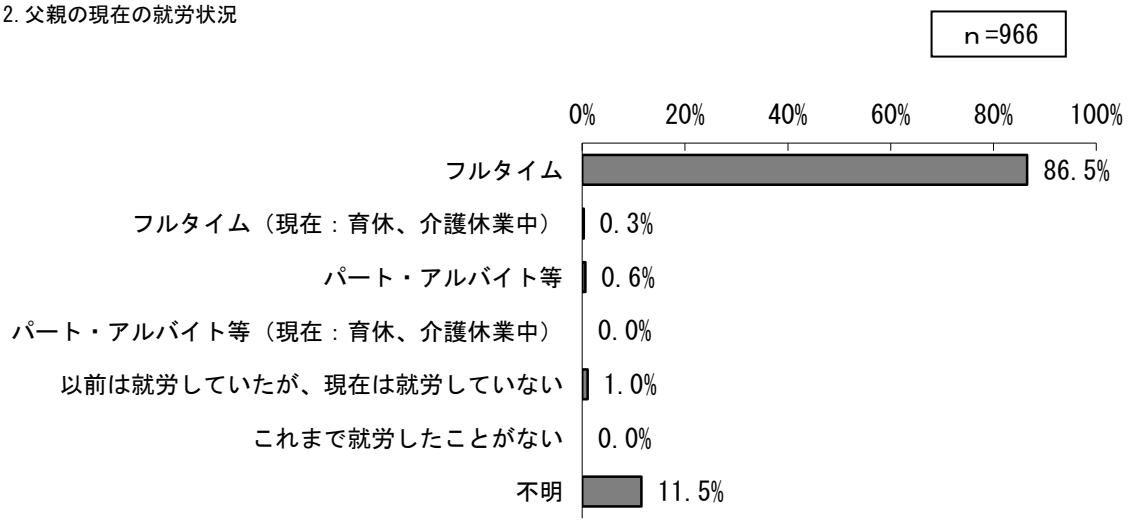


(12) 父親の就労状況

問 12　お子さんから見た「父親」の就労状況についてお伺いします。(母子家庭の場合は問 13 にお進みください。) 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(○は１つ)

父親の就労状況は、「フルタイム」が 86.5%と大多数を占め、他は 1%以下となっています。

問12. 父親の現在の就労状況

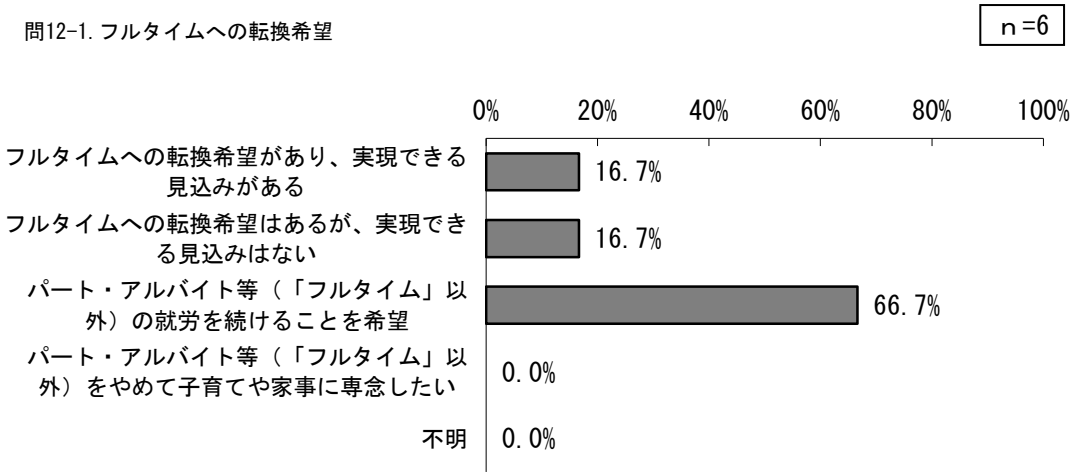


(12-1) フルタイムへの転換希望の有無

問 12-1　問 12 で「3」「4」(パート・アルバイト等) に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。(○は１つ)

フルタイムへの転換希望の有無については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 66.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が同率の 16.7%となっています。

問12-1. フルタイムへの転換希望

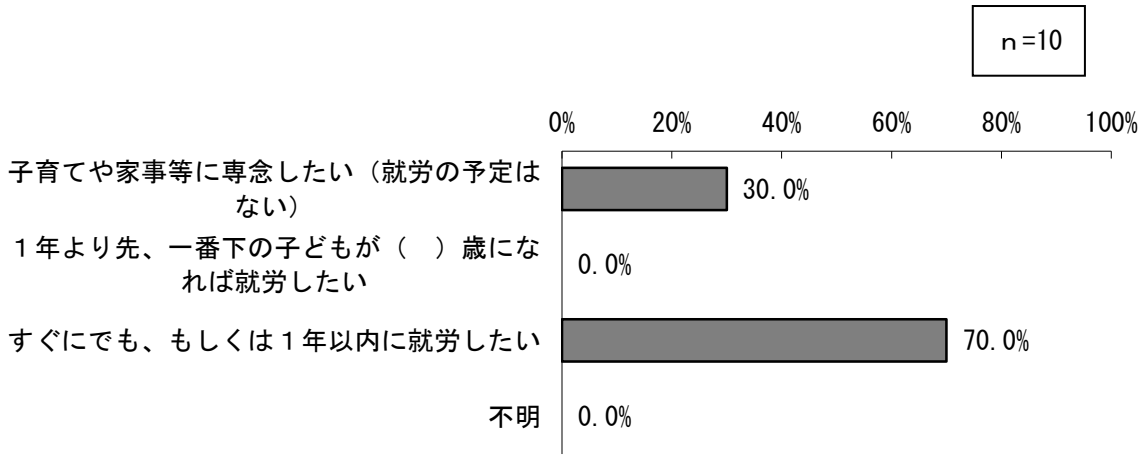


(12-2) 現在就労していない父親の今後の就労希望

問 12-2　問 12 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ○は１つ)
該当する（　　）内には数字をご記入ください。

就労していない父親の今後の就労についての希望は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 70.0%と最も高く、次いで「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない)」が 30.0%となっています。

問12-2.就労したいという希望はありますか

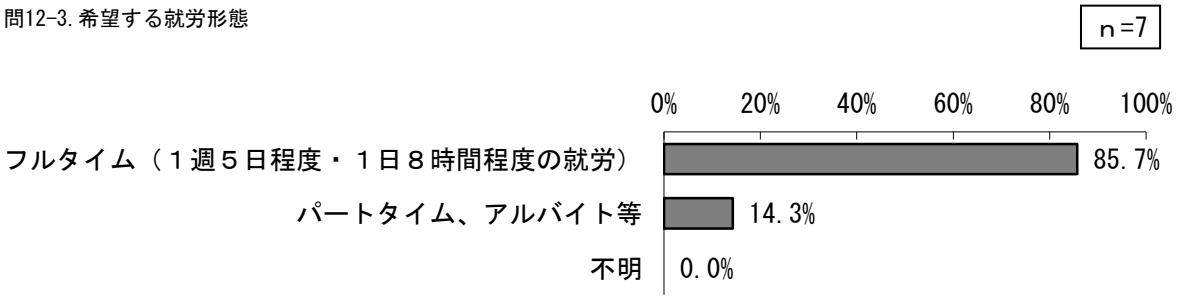


(12-3) 希望する就労形態

問 12-3　問 12-2 で「3 すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」に○をつけた方にお伺いします。希望する就労形態はありますか。(○は１つ)
該当する（　　）内には数字をご記入ください。

就労を希望する人の希望する就労形態は、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)」が 85.7%、「パートタイム、アルバイト等」が 14.3%となっています。
なお、「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の、希望する１週あたりの日数と１日当たりの時間は有効な回答が得られませんでした。

問12-3.希望する就労形態



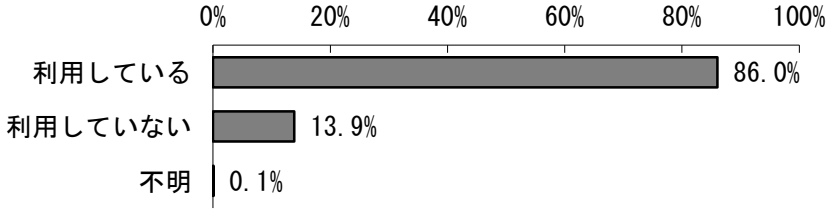
平日の定期的な教育・保育事業の利用について

(13) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問 13　お子さんは現在、幼稚園・保育所等を利用されていますか。(○は 1 つ)

幼稚園・保育所等の「定期的な教育・保育事業」の利用の有無については、「利用している」が 86.0%、「利用していない」が 13.9%となっています。

問13. お子さんは現在、幼稚園・保育所等を利用されていますか　n=966

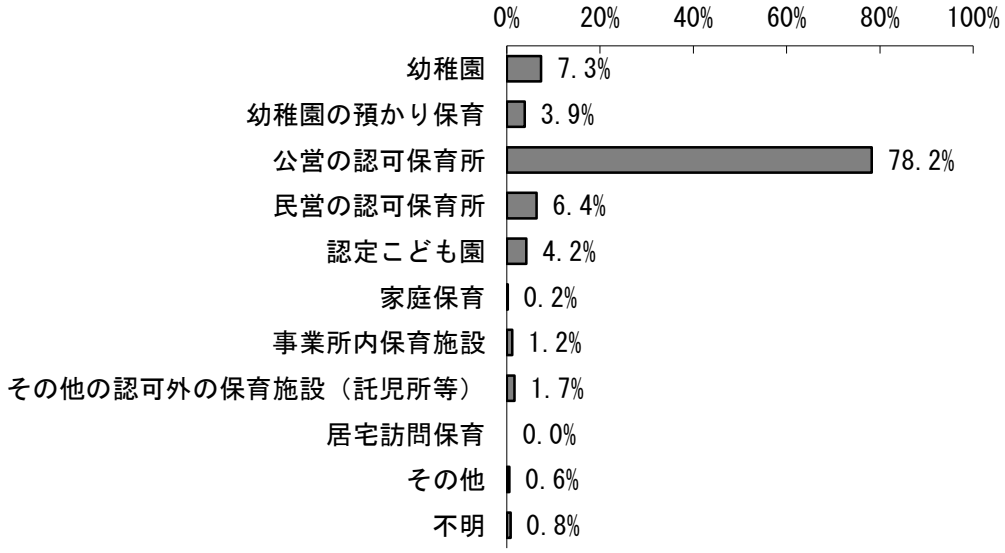


(13-1) 定期的に利用している教育・保育事業

問 13-1　問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。お子さんは、平日どのような幼稚園・保育所等の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

平日、定期的に利用している教育・保育事業については、「公営の認可保育所」が 78.2%と最も高く、他を引き離しています。以下は「幼稚園」が 7.3%、「民営の認可保育所」が 6.4%となっています。

問13-1. お子さんは、平日どのような幼稚園・保育所等の事業を利用していますか　n=831



●その他

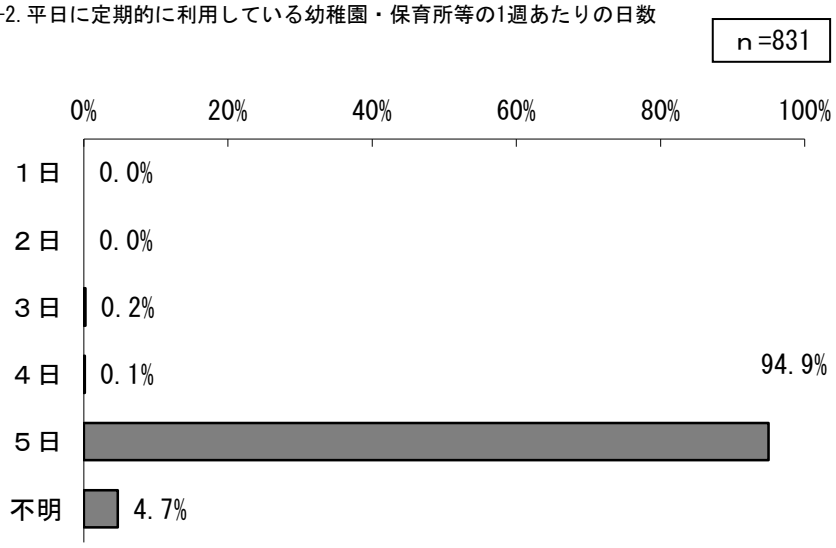
認可内託児所/他市の公営認可保育所/宿毛市の保育園

(13-2) 平日の教育・保育事業の利用時間

問 13-2　問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。平日に定期的に利用している幼稚園・保育所等について、どのくらい利用していますか。1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを、（　　）内に具体的な数字でご記入ください。
時間は、必ず（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

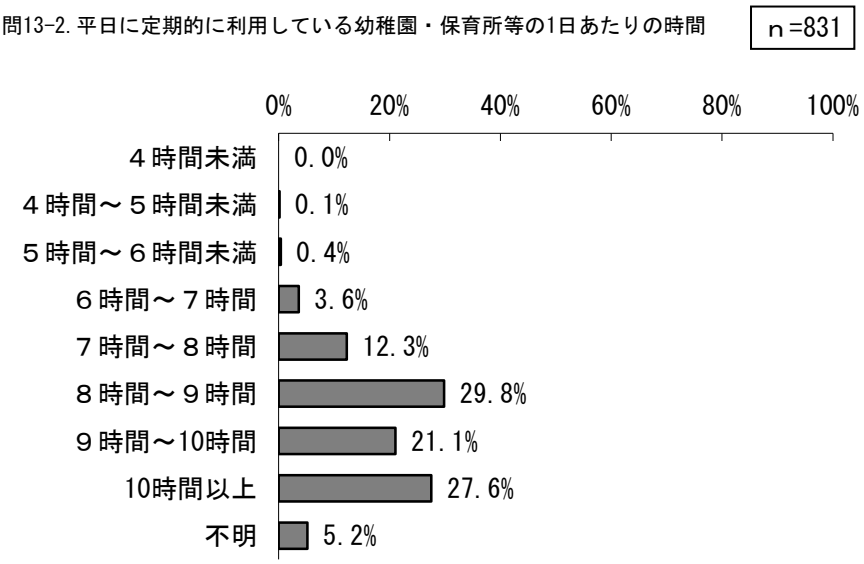
平日に定期的に利用している教育・保育所等の 1 週あたりの日数については、「5 日」が 94.9%と最も高く他を引き離しています。

問13-2. 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所等の1週あたりの日数



平日に定期的に利用している教育・保育所等の 1 日あたりの時間は「8～9 時間」が 29.8%で最も高く、次いで「10 時間以上」が 27.6%となっています。

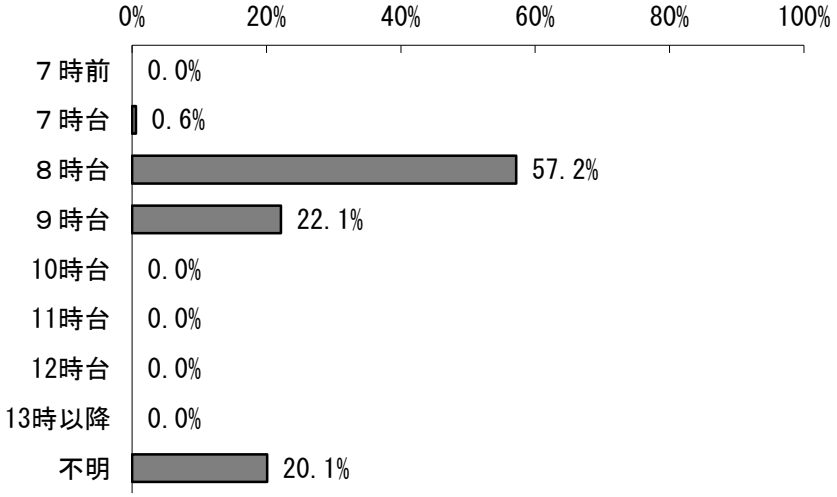
問13-2. 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所等の1日あたりの時間



平日に定期的に利用している幼稚園･保育所等を何時から何時まで利用しているについては、開始時刻は「8 時台」が 57.2%でもっとも高く、終了時刻は「16 時台」が 32.9%、次いで「18 時台」が 26.7%となっています。

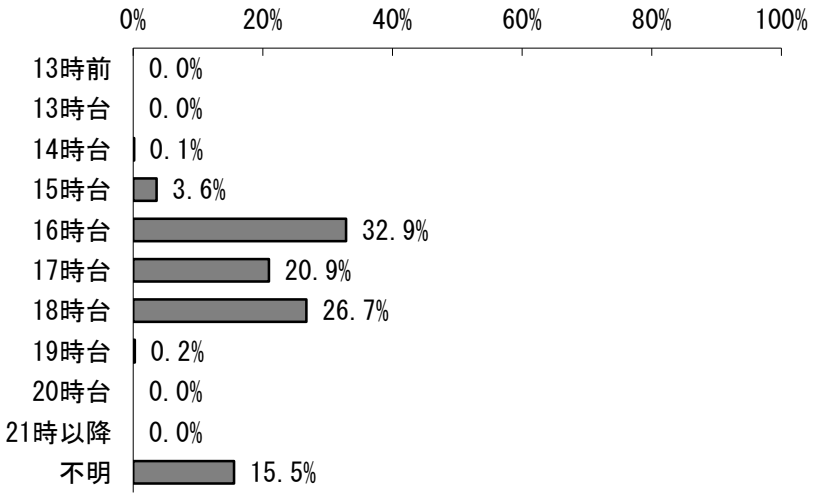
問13-2. 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所等の開始時刻

n =831



問13-2. 平日に定期的に利用している幼稚園・保育所等の終了時刻

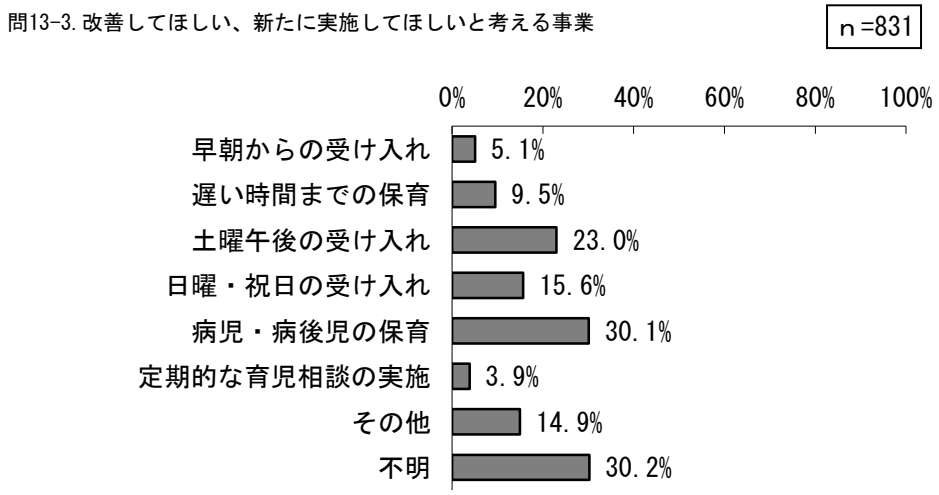
n =831



(13-3) 改善や新たな実施を希望する事業

問 13-3　問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。現在お子さんが利用している幼稚園・保育所等の事業として、「改善してほしい」「新たに実施してほしい」と考える事業をお答えください。(○はいくつでも)

「改善してほしい」「新たに実施してほしい」と考える幼稚園・保育所等の事業は、「病児・病後児の保育」が 30.1%と最も高く、次いで「土曜午後の受け入れ」が 23.0%、「日曜・祝日の受け入れ」が 15.6%となっています。

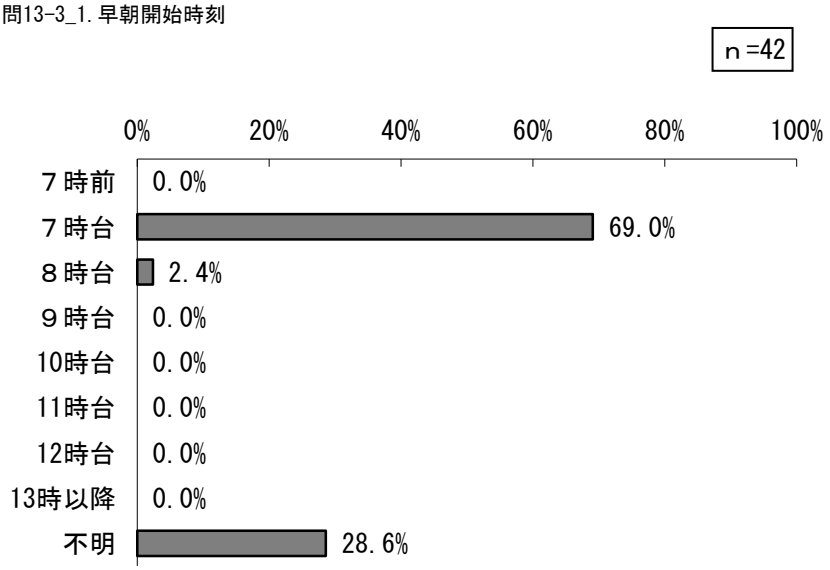


●その他

一時預り/駐車場を作ってほしいです/子育てに関わる講演会など/0 歳、1 歳からの受け入れ/特にはありませんが、早く無償化になってほしいです/土曜午後の時間延長（18 時か 18 時半まで）/育休中の保育時間の延長/健康の情報提供を家庭に発信してほしい/育休中でも、居残りを利用できるようにしてほしい/宿泊/フルタイムで働く親も担任と話が出来る勤務体制を…。月に 1 回でもいいので。子供の事が分かりません/建物が古いので建て替え/知育/土曜午後の昼食の実施/個人を尊重した保育の充実/年末年始の休み期間調整　など

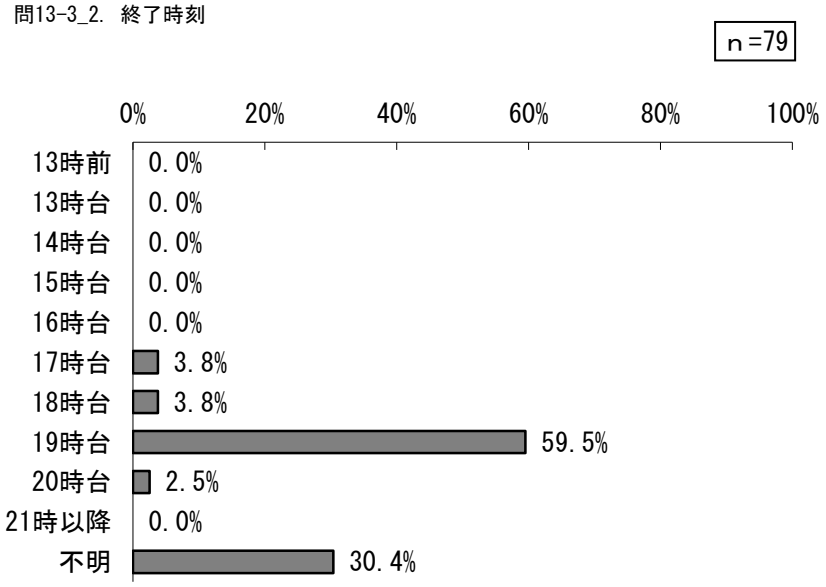
「改善してほしい」「新たに実施してほしい」と考える幼稚園・保育所等の事業は「早朝からの受け入れ」と答えた人の希望する早朝開始時刻は「7 時台」が 69.0%と最も高くなっています。

問13-3_1.早朝開始時刻



また、「遅い時間までの保育」と答えた人の希望する終了時刻は「19 時台」が 59.5%で最も高くなっています。

問13-3_2. 終了時刻



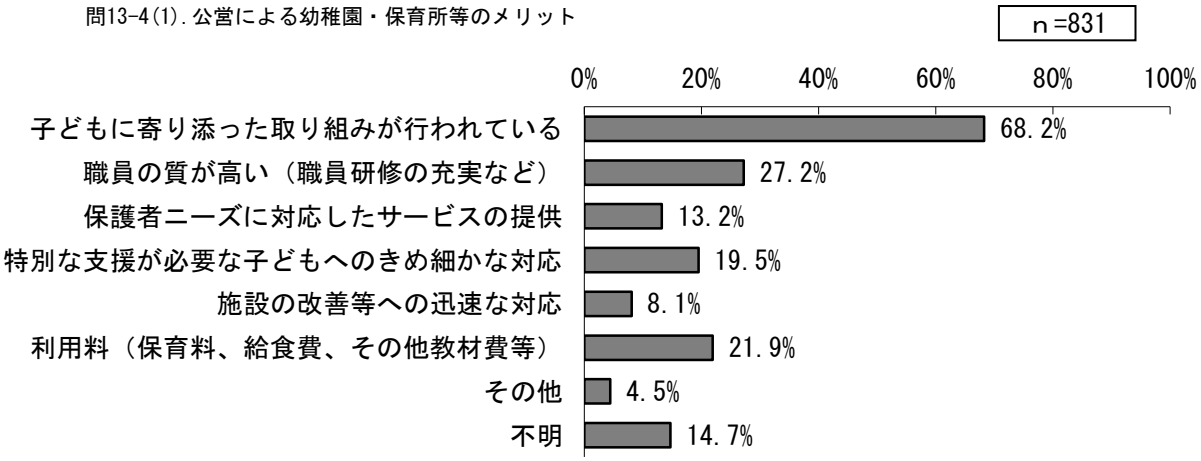
(13-4) 幼稚園・保育所等のメリット・デメリット

問 13-4　問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。幼稚園・保育所等の運営について、公営・民営それぞれのメリット及びデメリットは何があると考えますか。お伺いします。(それぞれ○はいくつでも)

(1) 公営(市町村の運営)による幼稚園・保育所等

公営幼稚園・保育所等のメリットは、「子どもに寄り添った取り組みが行われている」が 68.2%と最も高く、次いで「職員の質が高い(職員研修の充実など)」が 27.2%となっています。

問13-4(1).公営による幼稚園・保育所等のメリット

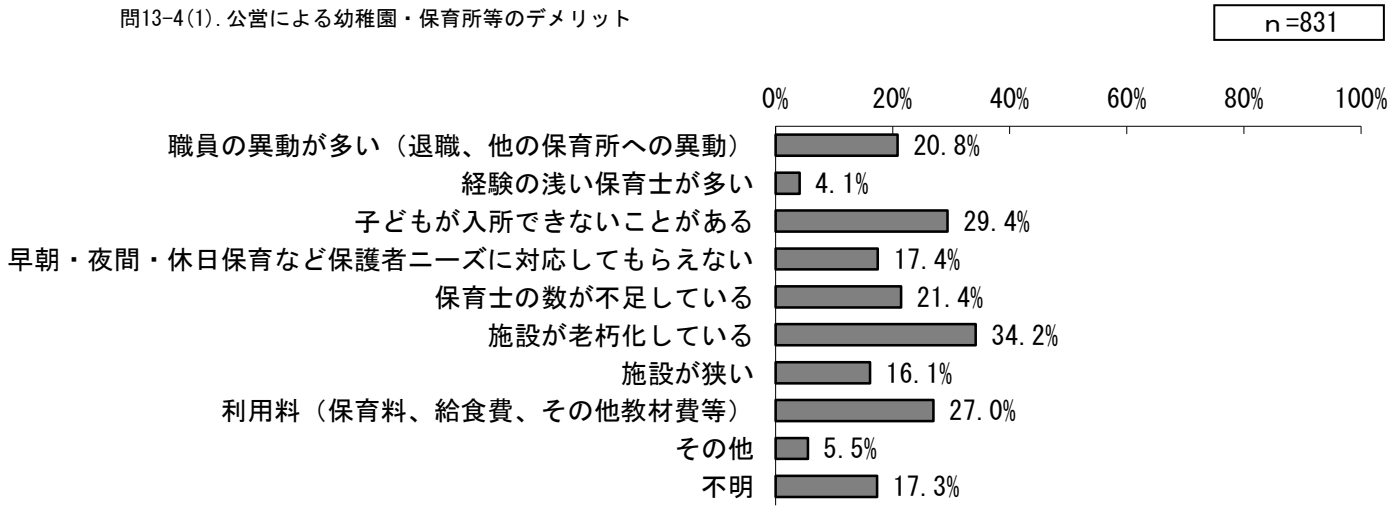


●その他

自校給食/保育士さんがきちんと休める制度が確立している/利益を考えなくていいところ/公的な機関により職員が選抜されている安心感/子供を1番に考えた給食/園庭がある　など

公営幼稚園・保育所等のデメリットは、「施設が老朽化している」が 34.2%と最も高く、次いで「子どもが入所できないことがある」が 29.4%となっています。

問13-4(1).公営による幼稚園・保育所等のデメリット



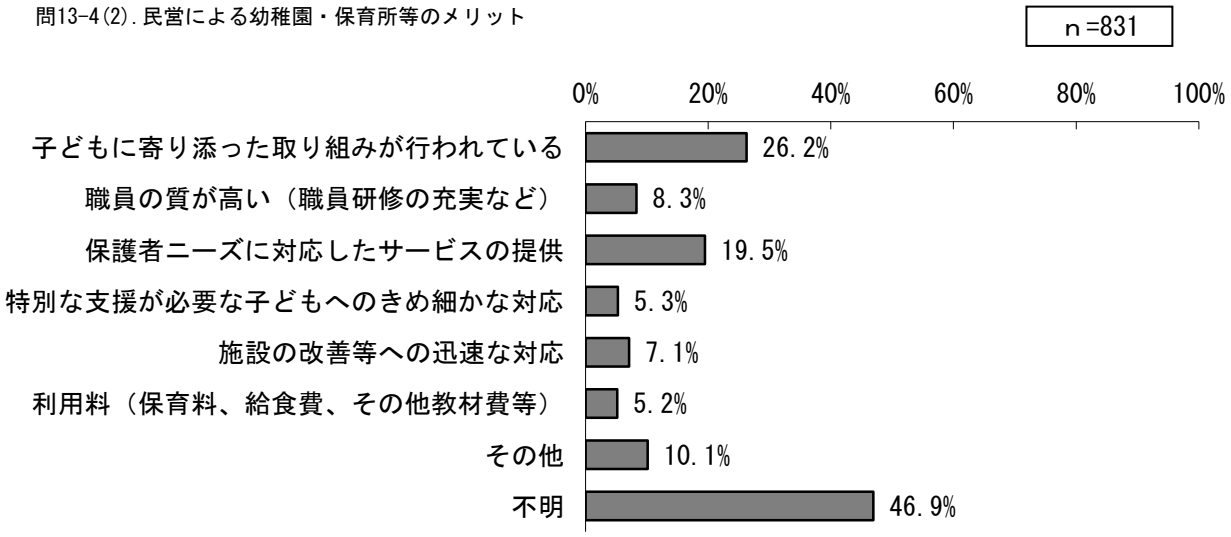
●その他

子供と保育士の関係が良くない、園での様子が伝わってこない/職員の質の差が大きい/教育面で少し遅れを感じる/遊具が乳児向けのものがなく危険/保育士の数が不足している/駐車場の数/0 歳が入所できず 2 箇所に預けることが負担/冷房(エアコン)がない　など

(2) 民営（民間の法人等による運営）による幼稚園・保育所等

民営幼稚園・保育所等のメリットは、「子どもに寄り添った取り組みが行われている」が26.2%と最も高く、次いで「保護者ニーズに対応したサービスの提供」が19.5%となっています。

問13-4(2).民営による幼稚園・保育所等のメリット

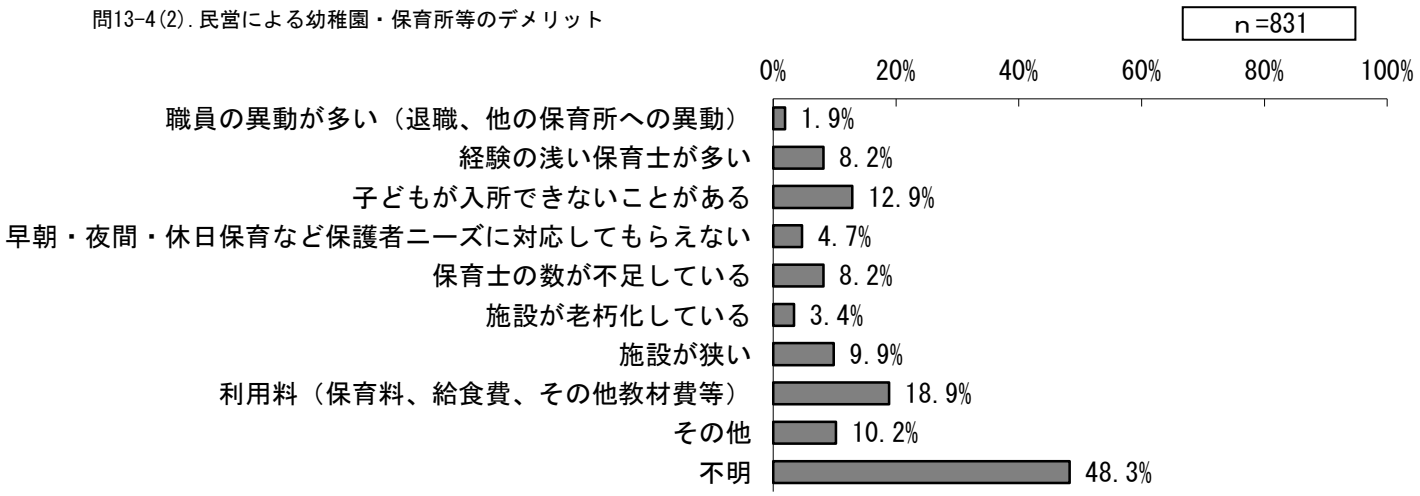


●その他

保育施設独自の保育内容/教育が充実している/教育が充実している/年齢、保護者の条件が公営よりゆるい/最新の教育指導への取り組み/遅い時間まで受け入れしてくれる/早朝、夜間、休日に対応してくれる/職員の異動が少ない　など

民営幼稚園・保育所等のデメリットは、「利用料（保育料、給食費、その他教材費等）が高い」が18.9%と最も高く、次いで「子どもが入所できないことがある」が12.9%となっています。

問13-4(2).民営による幼稚園・保育所等のデメリット



●その他

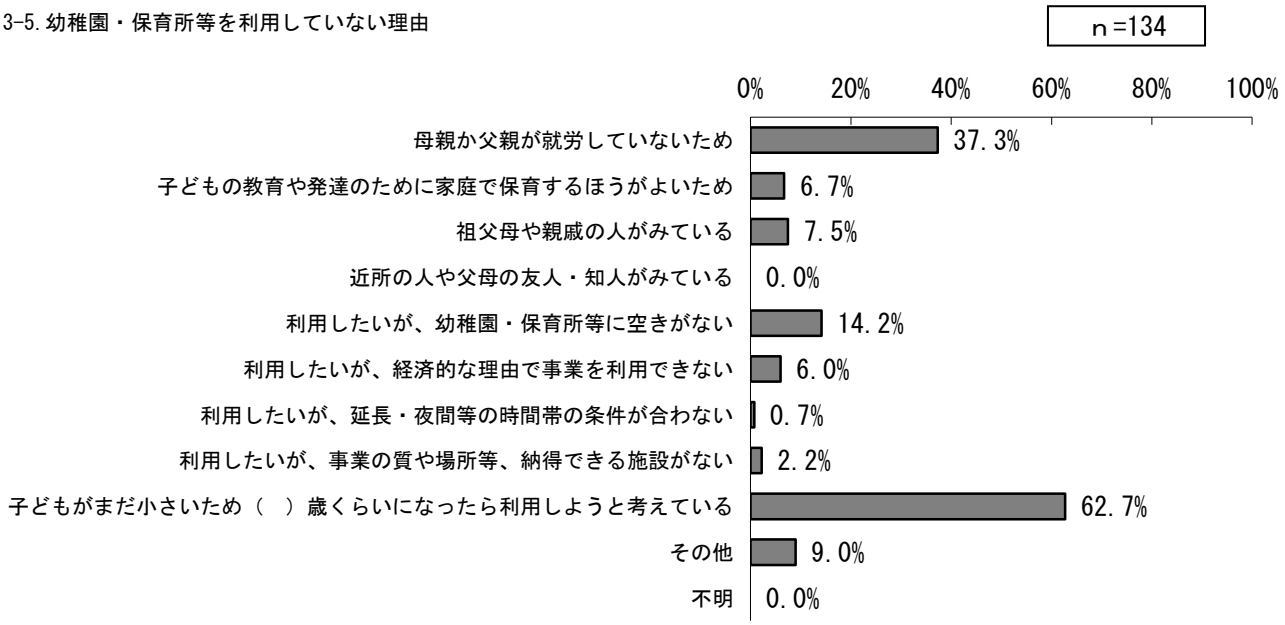
職員の質や身分保証が疑問/PTA の行事が多い/利益追求による保育の質の低下の懸念/国の条件をみたしてない所がある等、少し不安がある/給食やおやつが市販の場合が多い/職員の意識が低い/もう少し厳しく指導してほしい。全体的に園児の行動がダラダラしている/保育内容が不透明。園内で何をしているか分からない/年齢の違う子も同じ部屋で対応しなければいけないこと　など

（13-5）幼稚園・保育所等を利用していない理由

問 13-5　問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。幼稚園・保育所等を利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

幼稚園・保育所等を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（　）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 62.7%と最も高く、次いで「母親か父親が就労していないため」が 37.3%、「利用したいが、幼稚園・保育所等に空きがない」が 14.2%となっています。

問13-5.幼稚園・保育所等を利用していない理由

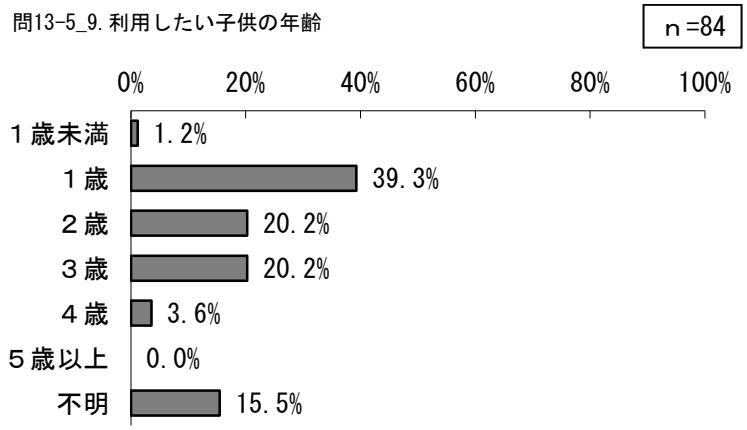


●その他

仕事の合間で少しでも子供と一緒にいたいから/育休中のため/来年春に引っ越すため/両親が自営で 2 人とも家で仕事ができるため、どちらかが必ずみられる/障がいがある為/近所の保育所は 2 歳未満は入所できない/病気の為/探している/給食、おやつの内容に不安があるので悩む　など

また、「子どもがまだ小さいため（　）歳くらいになったら利用しようと考えている」と答えた人の利用を希望する時期は子どもが「1 歳」が 39.3%で最も高く、「2 歳」と「3 歳」が同率の 20.2%となっています。

問13-5_9.利用したい子供の年齢



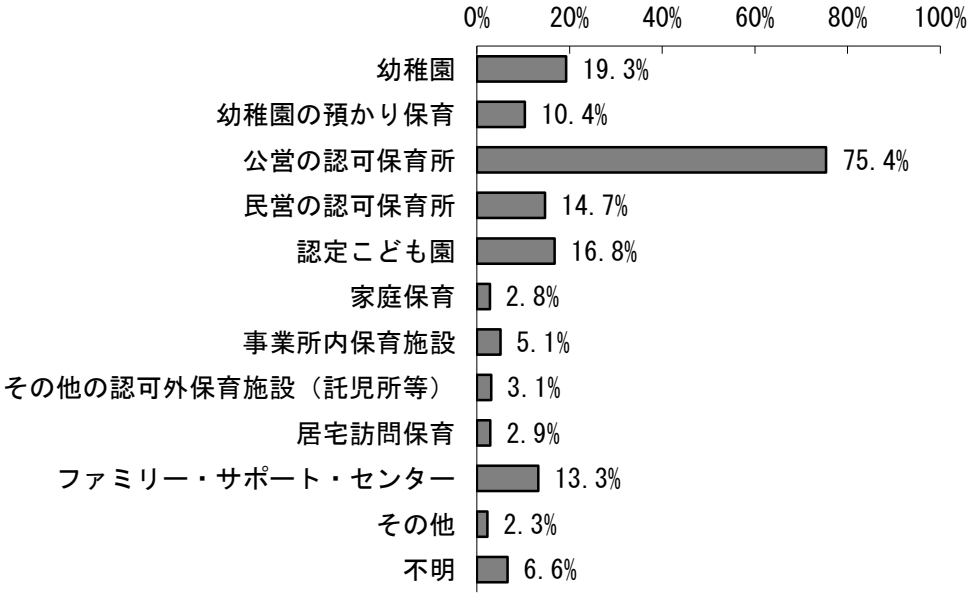
(14) 平日に定期的に利用したい教育・保育事業

問 14　現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

現在の利用の有無にかかわらず、平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいのは、「公営の認可保育所」が 75.4%と最も高く、次いで「幼稚園」が 19.3%、「認定こども園」が 16.8%、「民営の認可保育所」が 14.7%となっています。

問14. 平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業

n =966



●その他

0 才児から入れる保育施設/病児保育施設/宿泊施設/一時預かり/安く入れる所なら幼稚園でも保育園でもどこでも！！　など

地域の子育て支援事業の利用状況について

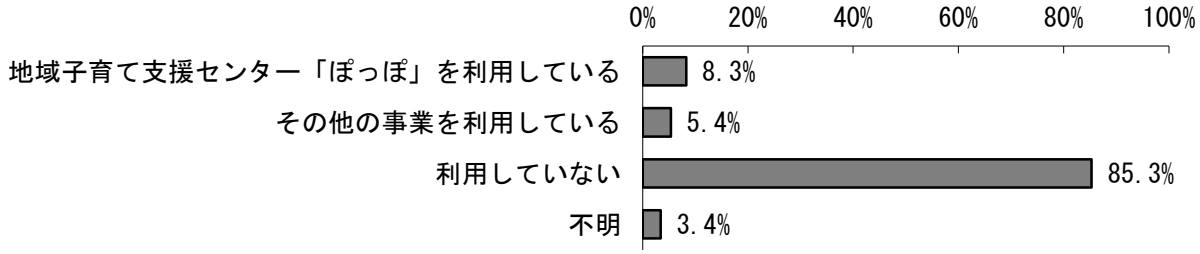
（15）地域子育て支援事業の利用の有無

問 15　お子さんは、市が実施する地域子育て支援事業を利用していますか。（○はいくつでも）

市が実施する地域子育て支援事業を利用しているかについては、「利用していない」が 85.3%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター『ぽっぽ』を利用している」が 8.3%、「その他の事業を利用している」が 5.4%となっています。

ｎ=966

問15.市が実施する地域子育て支援事業を利用していますか



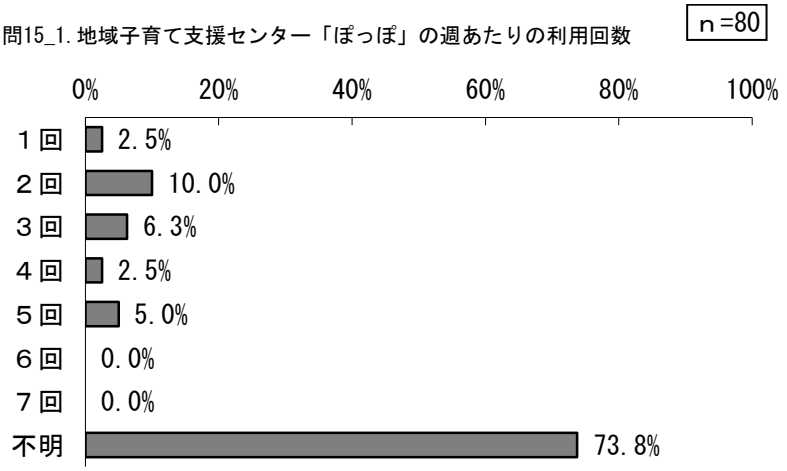
●その他の事業の具体名

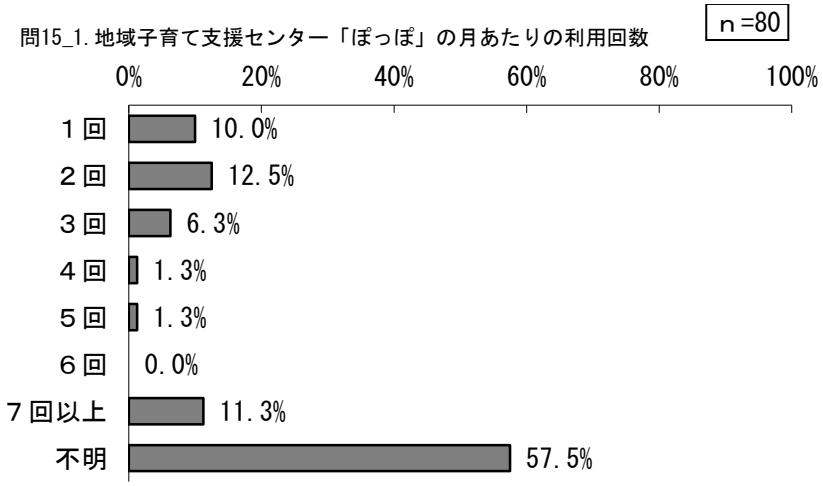
乳幼児相談・育児相談/子育て支援とことこ/健康診断、検診/保健師による育児相談/マム＆チルドレン/保健師さんの訪問/タッチケア教室　など

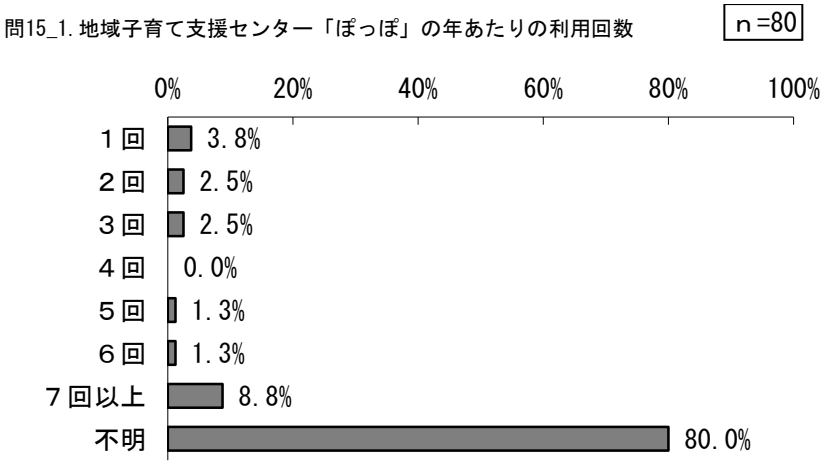
（15-1）地域子育て支援センター「ぽっぽ」の利用頻度

問 15-1　問 15 で「1. 地域子育て支援センター「ぽっぽ」を利用している」に〇をつけた方にお伺いします。おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

地域子育て支援センター「ぽっぽ」の利用回数は、週あたりでは「2 回」が 10.0%で最も高く、月あたりでは「2 回」が 12.5%で最も高く、年あたりでは「7 回以上」が 8.8%で最も高くなっています。



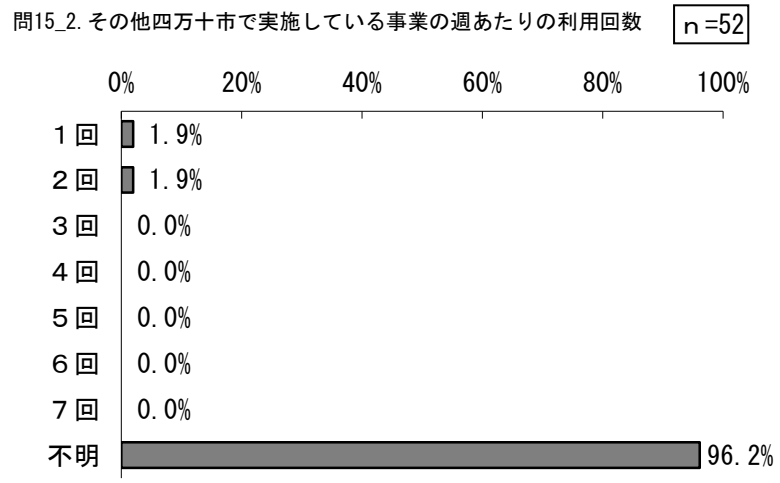


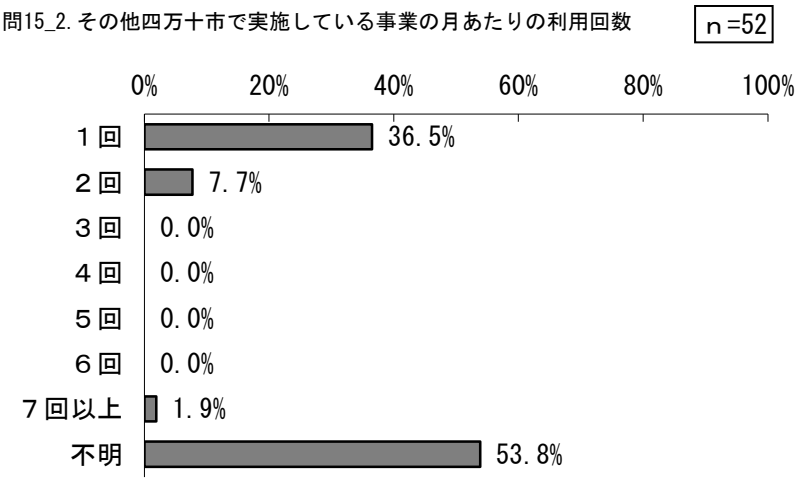


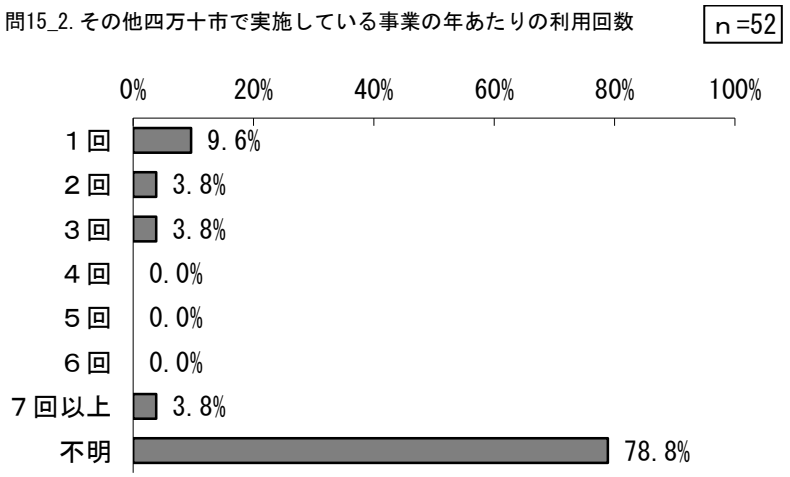
(15-2) その他の事業の利用頻度

問 15-2　問 15 で「2. その他四万十市で実施している事業を利用している」に〇をつけた方にお伺いします。おおよその利用回数（頻度）を（　　）内に数字でご記入ください。

その他四万十市で実施している事業の利用回数は、週あたりでは「1 回」と「2 回」が同率の 1.9%、月あたりでは「1 回」が 36.5%で最も高く、年あたりでは「1 回」が 9.6%で最も高くなっています。





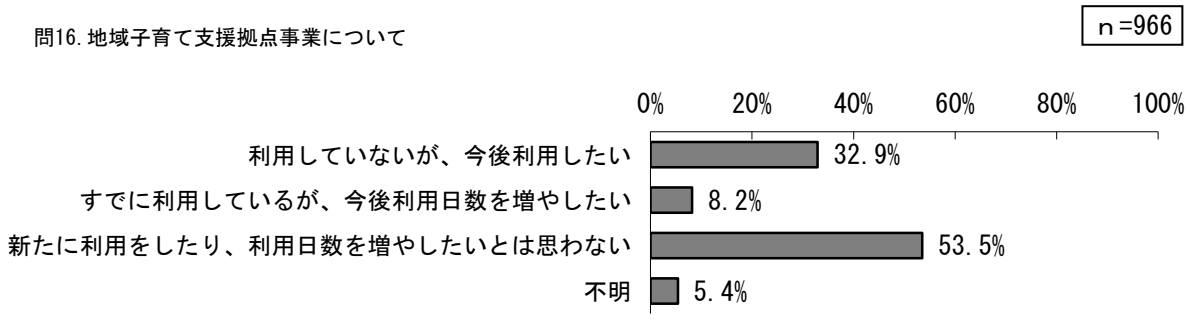


(16) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問 16　問 15 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（○は１つ）

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たに利用をしたり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 53.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 32.9%となっています。

問16. 地域子育て支援拠点事業について

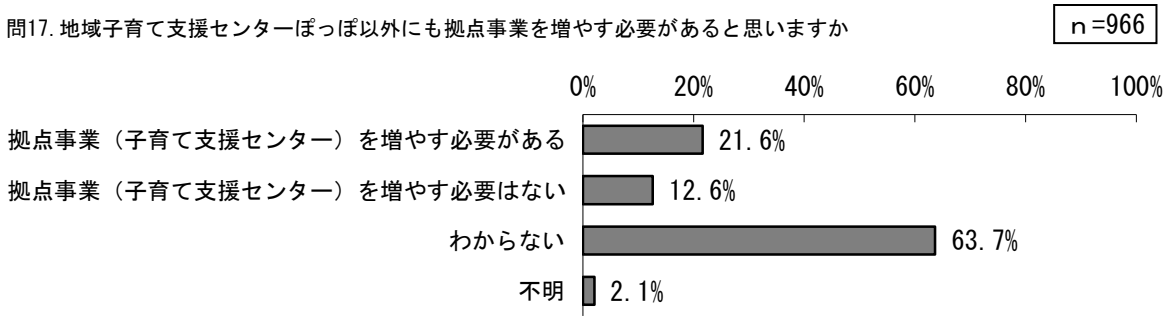


(17) 地域子育て支援拠点事業を増やす必要性

問 17　地域子育て支援拠点事業について、地域子育て支援センター「ぽっぽ」以外にも拠点事業を増やす必要があると思いますか。（○は１つ）

地域子育て支援拠点事業を増やす必要性については、「わからない」が 63.7%と最も高く、次いで「拠点事業（子育て支援センター）を増やす必要がある」が 21.6%となっています。

問17. 地域子育て支援センターぽっぽ以外にも拠点事業を増やす必要があると思いますか

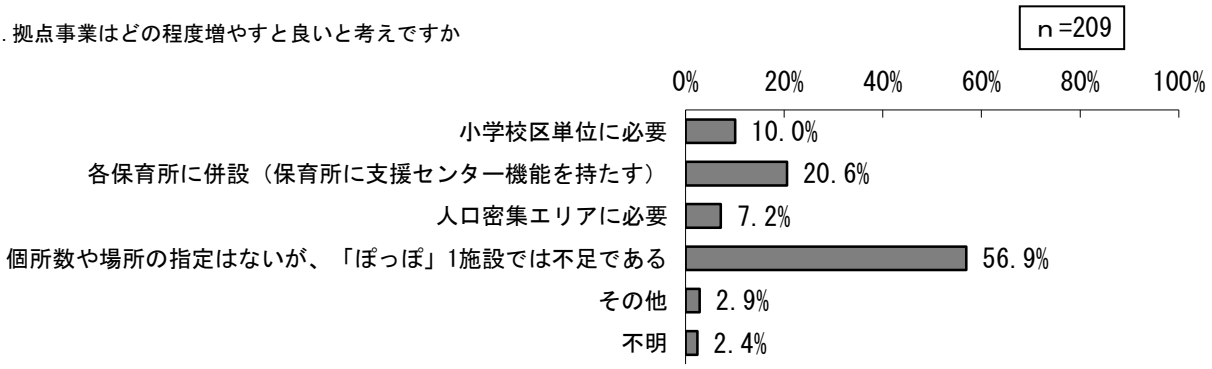


(17-1) 拠点事業はどの程度増やすべきか

問 17-1　問 17 で「1. 拠点事業を増やす必要がある」に○をつけた方にお伺いします。拠点事業はどの程度増やすと良いとお考えですか。(○は１つ)

拠点事業はどの程度増やすべきかについては、「個所数や場所の指定はないが、「ぽっぽ」1施設では不足である」が 56.9%と最も高く、次いで「各保育所に併設（保育所に支援センター機能を持たす)」が 20.6%、「小学校区単位に必要」が 10.0%となっています。

問17-1. 拠点事業はどの程度増やすと良いと考えですか



●「人口密集エリアに必要」具体的に

中村/具同/古津賀/西土佐/スーパーなどに併設

●その他

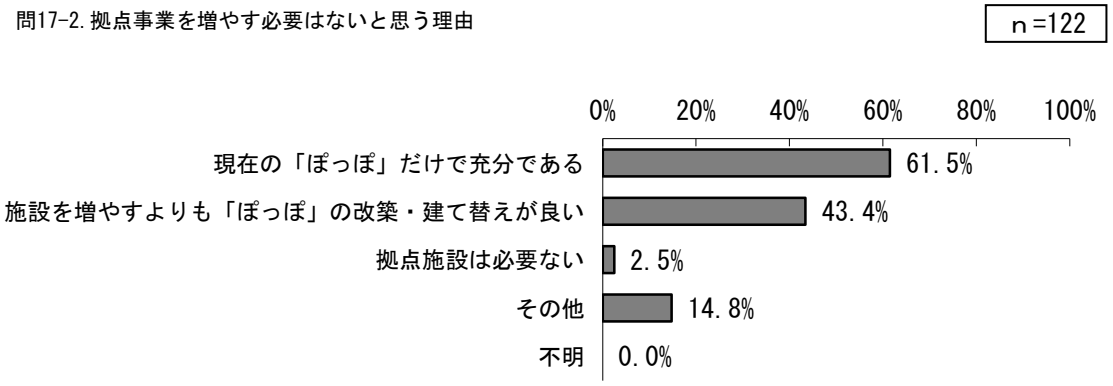
事業は増やさなくてよいので、現存の所で改善を/西土佐にほしい/ぽっぽは平日のみ。休祝日に利用できる場所がほしい　など

(17-2) 拠点事業を増やす必要はないと思う理由

問 17-2　問 17 で「2. 拠点事業を増やす必要はない」に○をつけた方にお伺いします。そう思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

拠点事業を増やす必要はないと思う理由は、「現在の「ぽっぽ」だけで充分である」が 61.5%と最も高く、次いで「施設を増やすよりも「ぽっぽ」の改築・建て替えが良い」が 43.4%となっています。

問17-2. 拠点事業を増やす必要はないと思う理由



●その他

利用できる曜日や時間帯が働きながら子育てする者には合わず利用できなかった/子供の数が減っているから/地域の保育所などがよりよくなれば、地域に子供が根づくから/一度ぽっぽを利用した時にあまり良い思いをしなかった。必要性を感じない/何を誰の為にやっているのかが不明/保育所や託児所等を増やす方が良い　など

土曜日・休日などの幼稚園・保育所等の利用希望について

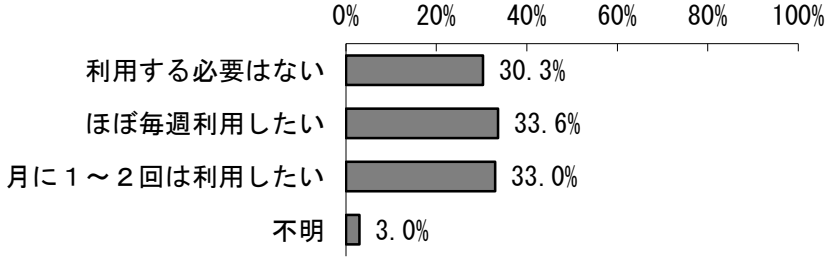
（18）土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育所等の利用希望

問 18　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は１つ）
希望がある場合は、（　　）内に利用したい時間帯を、（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（1）土曜日

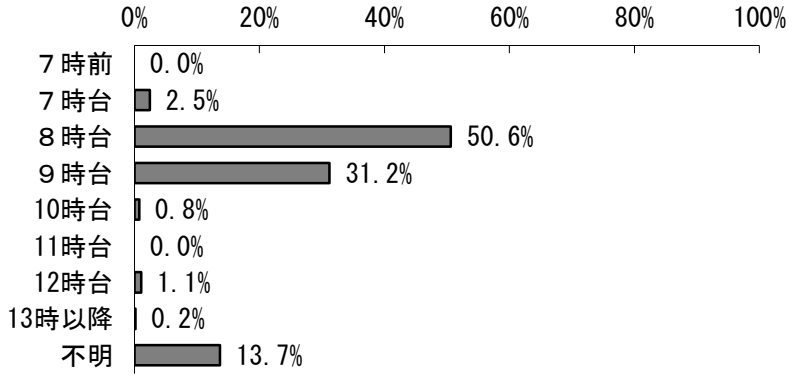
土曜日の幼稚園・保育所等の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が 33.6%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 33.0%、「利用する必要はない」が 30.3%となっており、ほぼ均等に分かれています。

問18(1). 土曜日に幼稚園・保育所等の利用希望はありますか　n=966

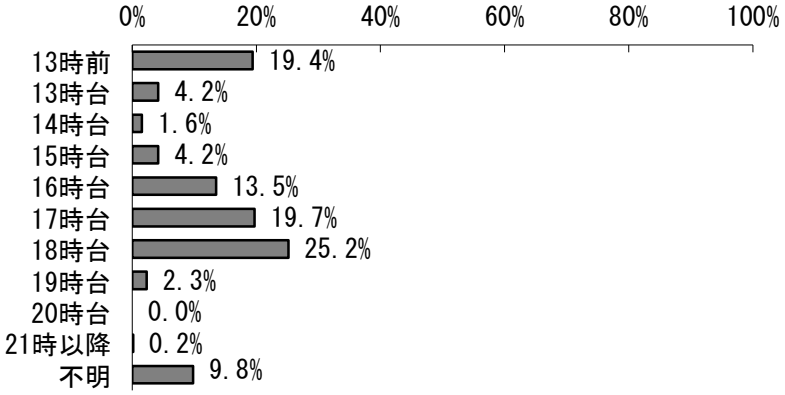


利用したい開始時刻は「8 時台」が 50.6%と最も高く、次いで「9 時台」が 31.2%、終了時刻は「18 時台」が 25.2%で最も高く、次いで「17 時台」が 19.7%となっています。

問18(1). 利用したい開始時刻　n=644

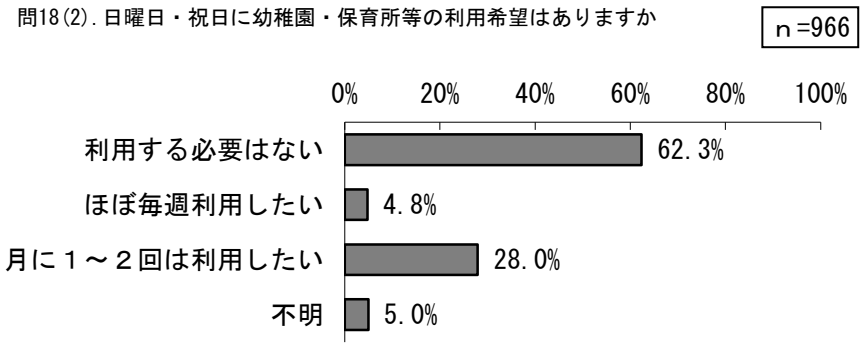


問18(1). 利用したい終了時刻　n=644

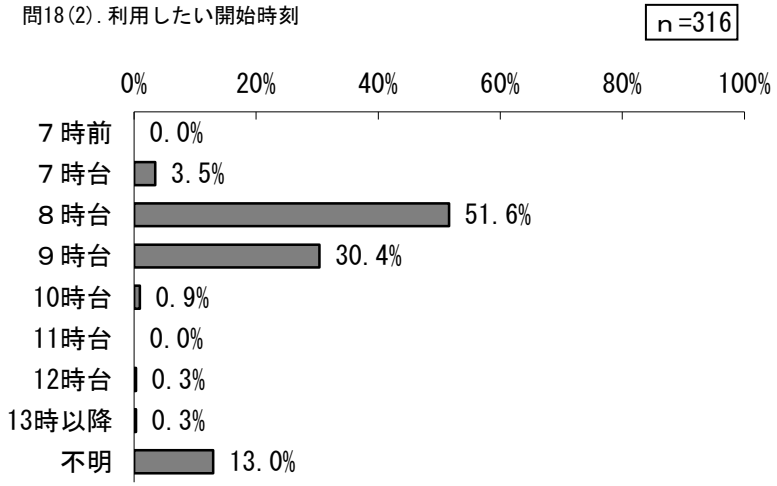


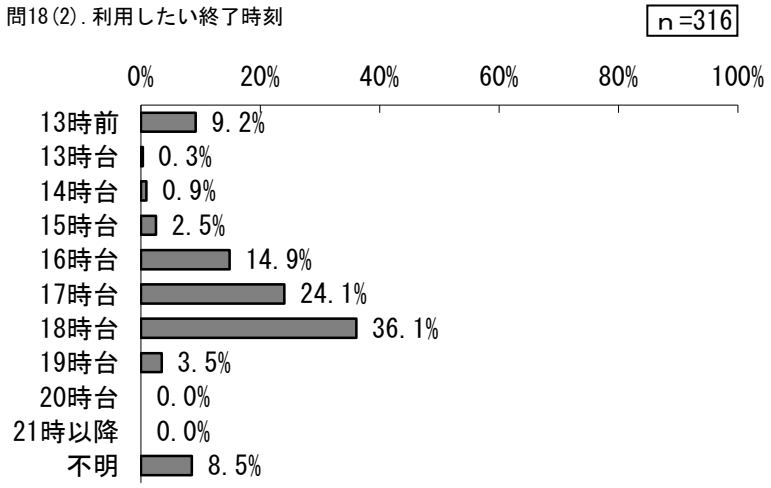
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の幼稚園・保育所等の利用希望については、「利用する必要はない」が 62.3%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 28.0%となっています。



また、利用したい開始時刻は「8 時台」が 51.6%と最も高く、次いで「9 時台」が 30.4%、終了時刻は「18 時台」が 36.1%で最も高く、次いで「17 時台」が 24.1%となっています。



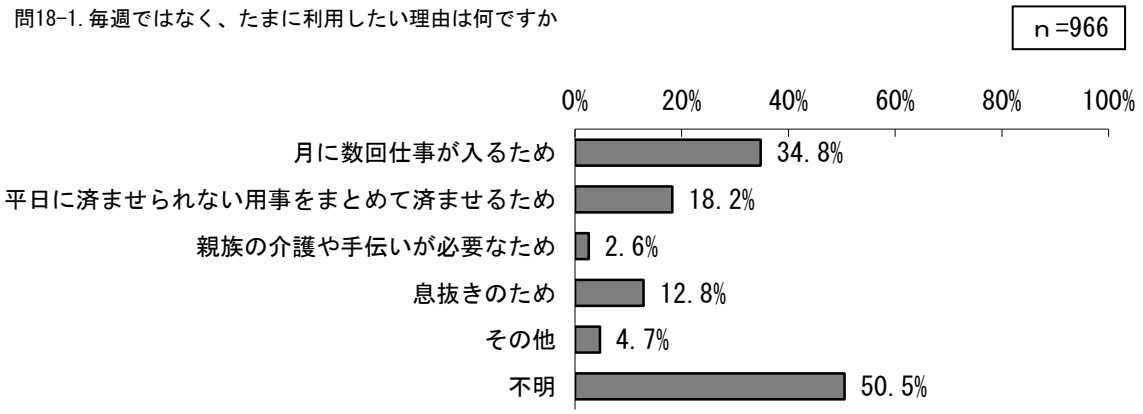


（18-1）たまに利用したい理由

問 18-1　問 18 の（1）もしくは（2）で「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等を毎週ではなくたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が 34.8%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 18.2%となっています。

問18-1. 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか



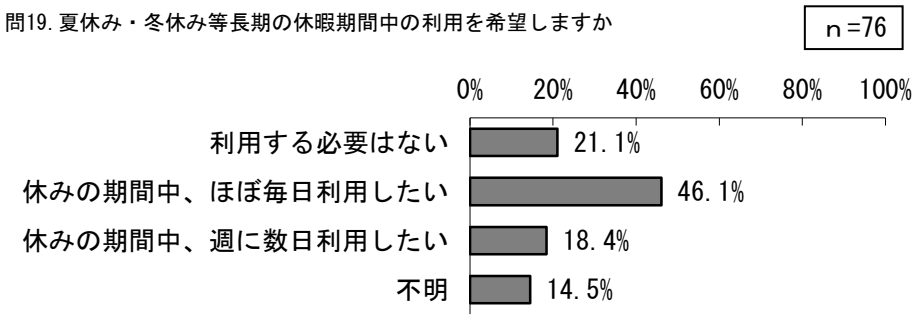
●その他

上の兄弟の用事がある/休みがないため/体調不良/土日祝関係のない仕事のため/祖母がみれない場合もあるため/サポートしてくれている両親も土日に予定が入ることがあるため/小学生の子供との時間を作る為/自営業のため　など

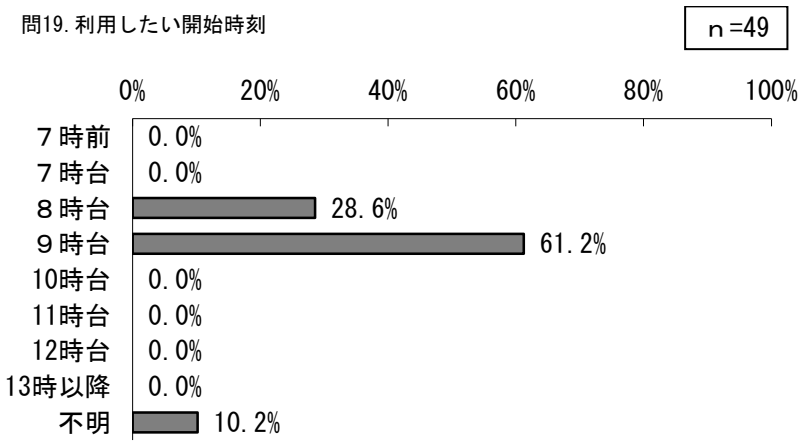
(19) 長期休暇期間中の幼稚園の利用希望

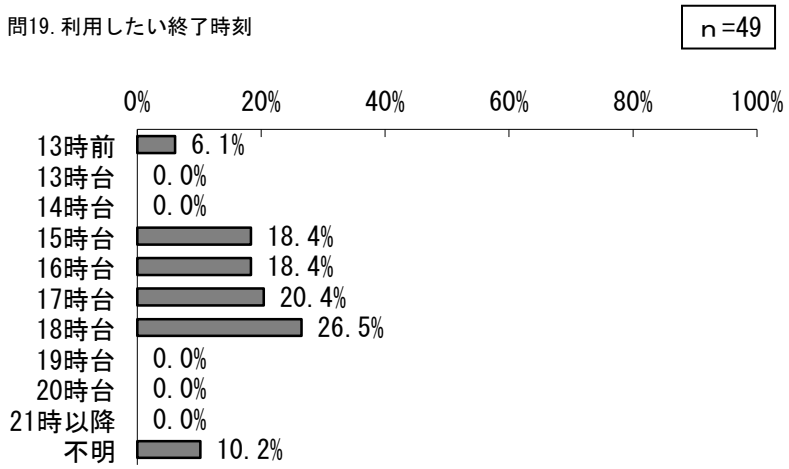
問 19　「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。お子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の利用を希望しますか。(○は 1 つ)
希望がある場合は、(　　) 内に利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

夏休み・冬休み等長期休暇期間中の幼稚園の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 46.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 21.1%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 18.4%となっています。



また、利用したい開始時刻は「9 時台」が 61.2%と最も高く、終了時刻は「18 時台」が 26.5%で最も高く、次いで「17 時台」が 20.4%となっています。

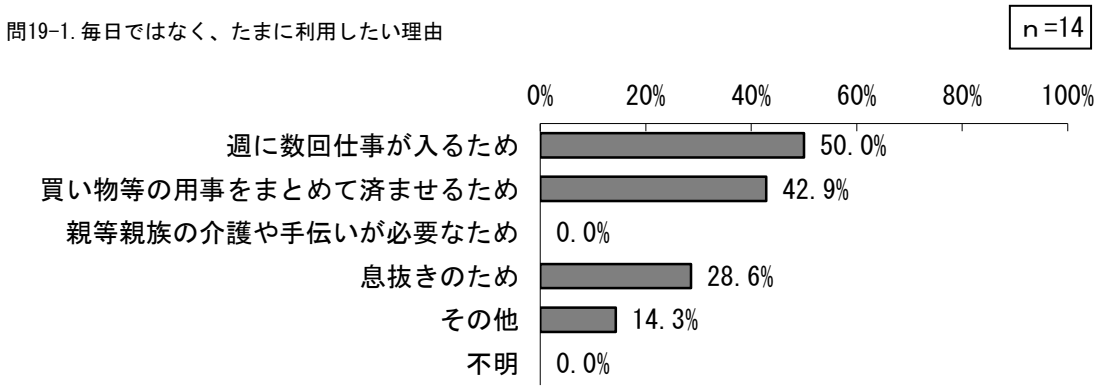




（19-1）長期休暇期間中たまに利用したい理由

問 19-1　問 19 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

長期休暇期間中、幼稚園を毎日ではなくたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が 50.0%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 42.9%、「息抜きのため」が 28.6%となっています。



●その他

片づけ、掃除/小学生の子供との時間を作りたいから/上の子の行事/家での時間をもてあますから/変則勤務のため/2 号認定で保育してもらっている。母・父就労の為/祖父母の負担を減らすため　など

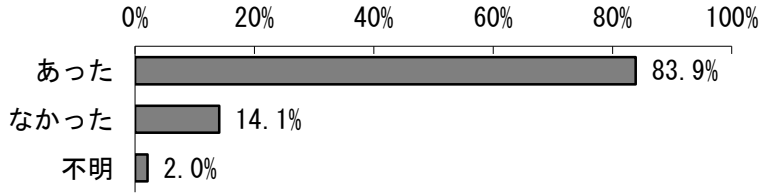
病気の際の対応について

（20）病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと

問 20　平日の保育所等の事業を利用していると答えた保護者の方（問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方）にお伺いします。利用していらっしゃらない方は、問 21 にお進みください。
この 1 年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったことはありますか。（○は１つ）

子どもが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったことの有無について、「あった」が 83.9%、「なかった」が 14.1%となっています。

問20. お子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等を利用できなかったことはありますか　n=831



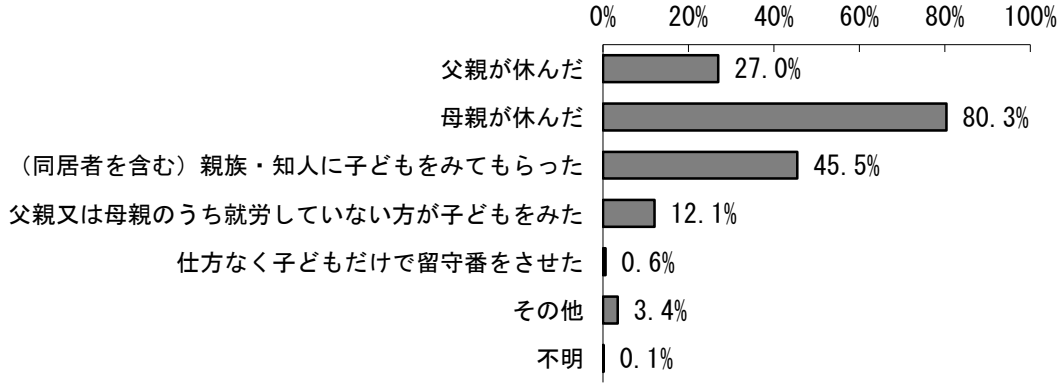
（20-1）病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった時の対処方法

問 20-1　問 20 で「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。その時に行った対処方法についてお答えください。（○はいくつでも）
それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。
（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）

子どもが病気やケガで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった時の対処方法については、「母親が休んだ」が 80.3%と最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 45.5%、「父親が休んだ」が 27.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 12.1%となっています。

n=697

問20-1. その時に行った対処方法

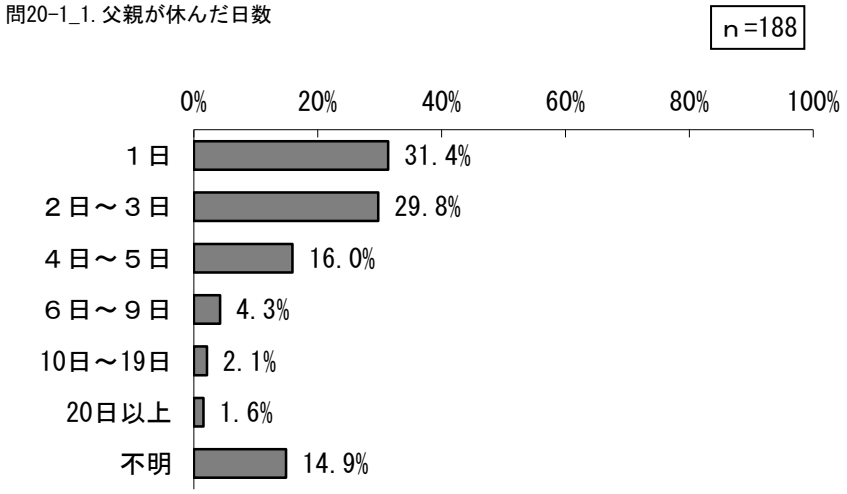


●その他

自営を休む/育児休業中のため母親がみることができた/若草園の職員が対応/自営なので仕事しつつたまに子供を見に部屋にいく/ちょうど仕事が休みだった　など

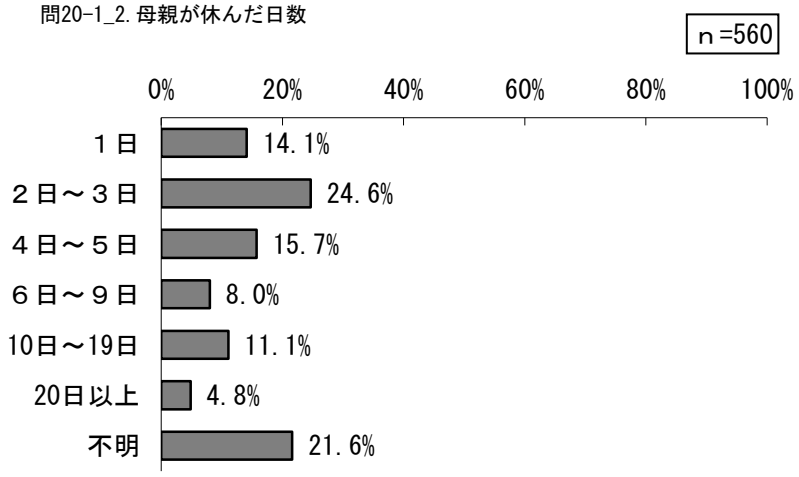
それぞれの日数についてみると、父親が休んだ日数は「1 日」が 31.4%で最も高く、次いで「2 日～3 日」が 29.8%となっています。

問20-1_1. 父親が休んだ日数



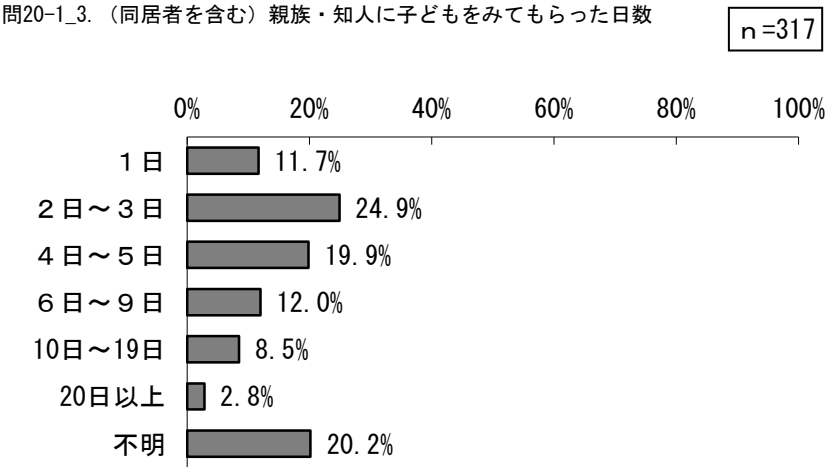
母親が休んだ日数は「2 日～3 日」が 24.6%で最も高く、次いで「4 日～5 日」が 15.7%となっています。

問20-1_2. 母親が休んだ日数



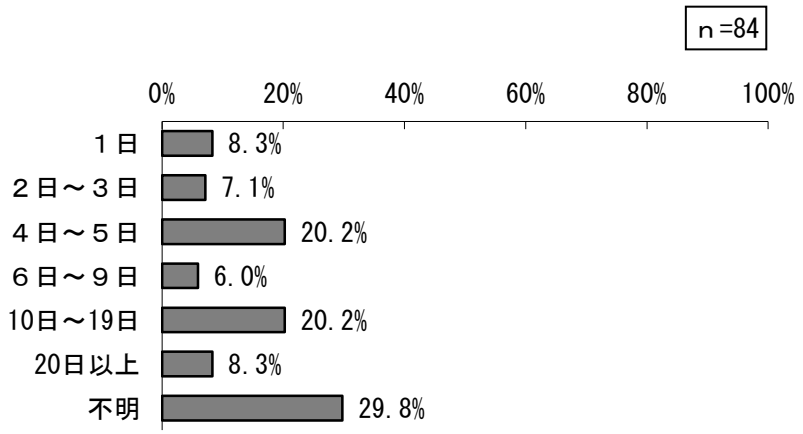
（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数は「2 日～3 日」が 24.9%で最も高く、次いで「4 日～5 日」が 19.9%となっています。

問20-1_3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数



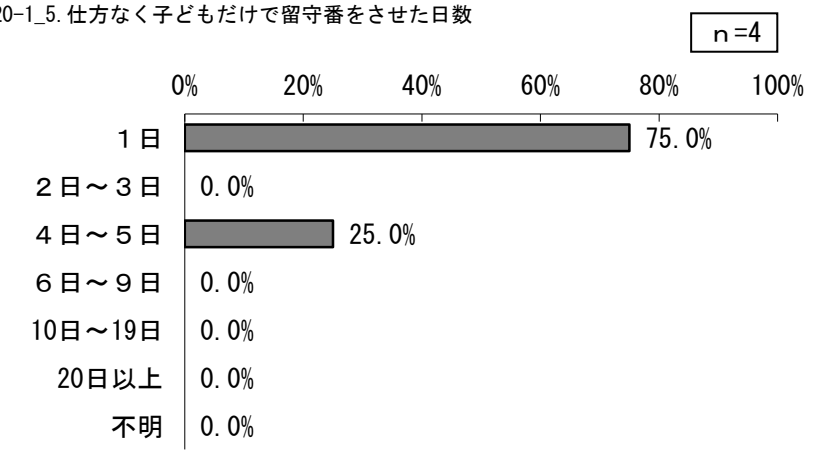
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数は「4 日～5 日」と「10 日～19 日」が 20.2%で同率となっています。

問20-1_4.父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



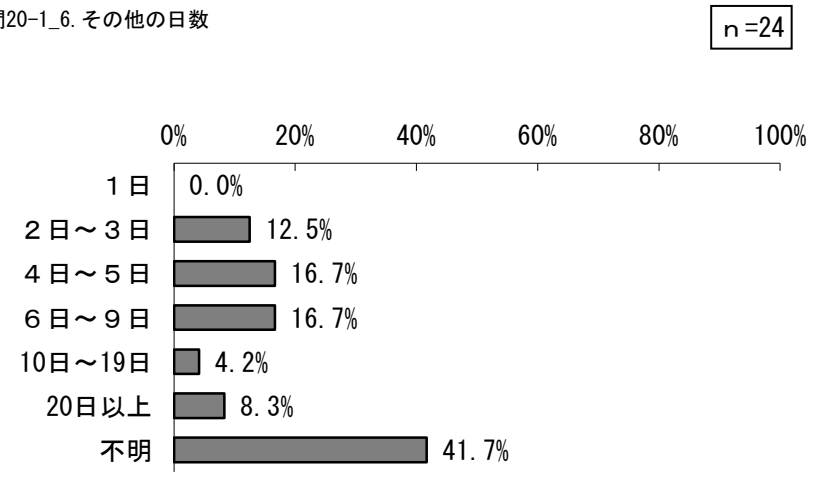
仕方なく子どもだけで留守番させたと答えた人は 4 名で、日数は「1 日」が 75.0%で最も高くなっています。

問20-1_5.仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



その他の日数は「4 日～5 日」と「6 日～9 日」が 16.7%で同率となっています。

問20-1_6.その他の日数

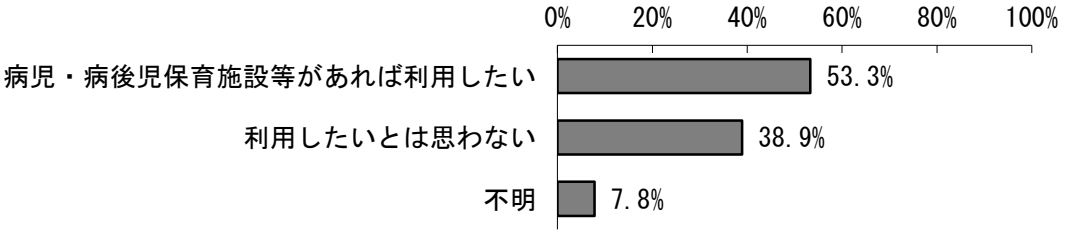


（20-2）病児・病後児保育施設等の利用意向

問 20-2　お子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できない場合に、「病児・病後児のための保育施設等」があれば利用したいですか。（○は１つ）
なお、病児・病後児のための事業等利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が 53.3%、「利用したいとは思わない」が 38.9%となっています。

問20-2. 病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいですか　n =966

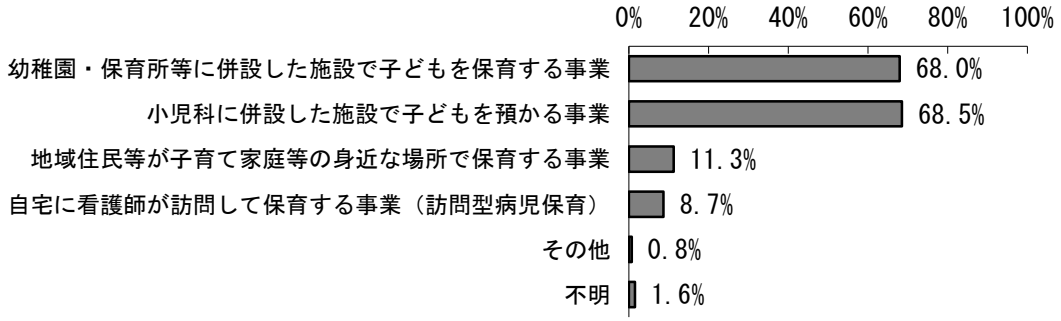


（20-3）病気やケガの子どもを預ける場合に望ましい事業形態

問 20-3　問 20-2 で「1. 病児・病後児保育施設等があれば利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも）

病気やケガの子どもを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が 68.5%と最も高く、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 68.0%の僅差で続いています。

問20-3. 子どもを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか　n =515



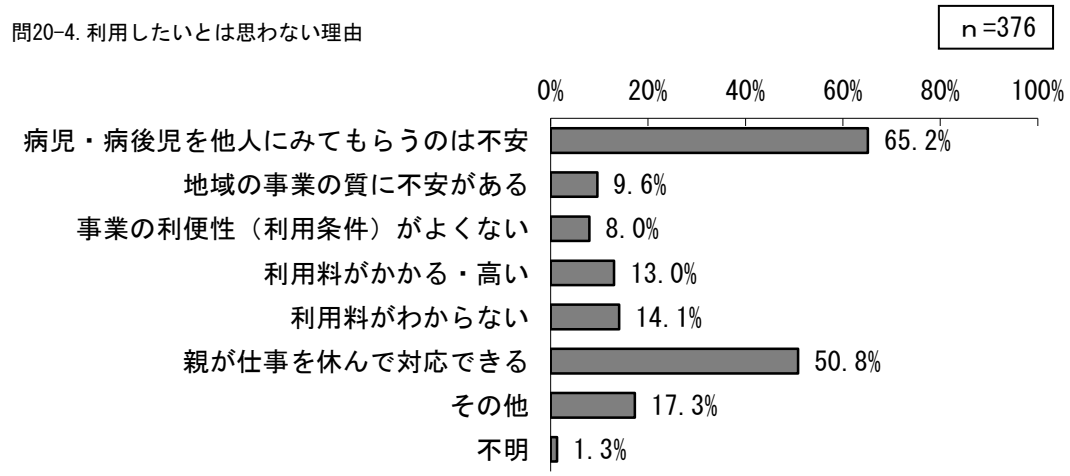
●その他

仕事が忙しい時だけなのでどこでも良い/併設とまでは言わないが看護師免許を持っている方が必ずいるようにはしていただきたい/小児科に併設は一番安心だが、最低限看護師がいるようにしていただければよいと思う　など

（20-4）病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

問 20-4　問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。その理由についてお答えください。（○はいくつでも）

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 65.2%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が 50.8%となっています。



●その他

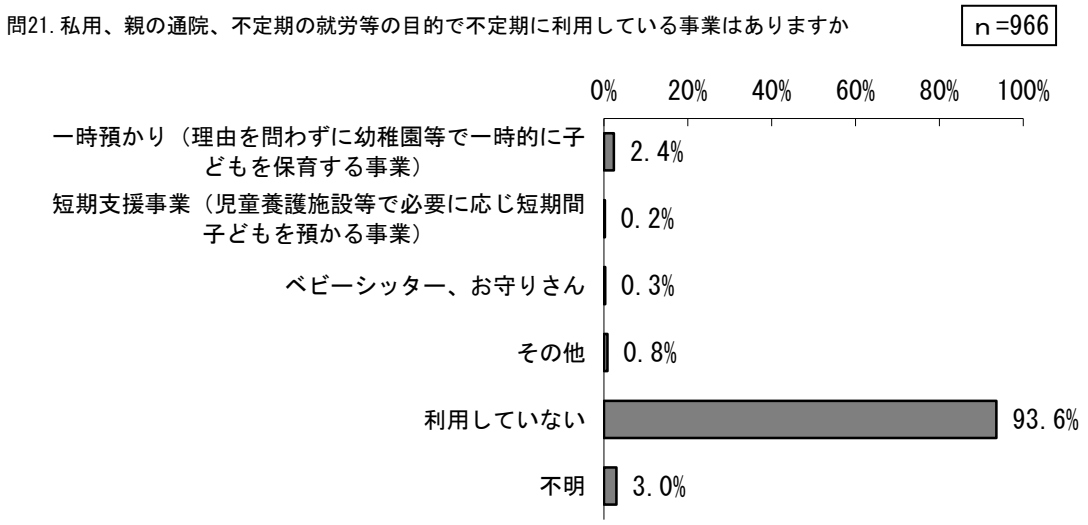
他の病児から病気が移るかもしれないので不安/子供が病気でつらい時は、母親もしくは祖母に居てもらいたいと思ってると考えているから/病気の時くらいは親がそばで看護してやりたいので/体調不良の子供が他人といて良くなるのか？/他人に迷惑をかけてまで、子どもをみてもらうのは親としてどうかとも思う/親が仕事を休み対応したい（すべき）そういう職場が増えたらいいな/利用したい気持ちはあるが、不安感はある/祖父母にみてもらえる/自分の子供がつらいのにどうして親ではない人がみるのか分からない。子供も不安な時しんどい時に親にして欲しいと思いますけど！！/他の病気に感染するリスクが高そう。菌、ウイルス対策の徹底が難しそう。1 人 1 人をしっかりとみてもらえなそう（病変時の対応の遅れなど）/病気が治るまでは親が責任をもってみないといけないと思う/家でゆっくりさせてあげたい。看護師やプロがいてくれたらよいが…/子供がかわいそう/子供が小さいうちは親がついていてあげたい　など

不定期の保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（21）通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業

問 21　お子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（○はいくつでも）
ある場合は、1 年間のおおよその利用日数も（　　）内に数字でご記入ください。

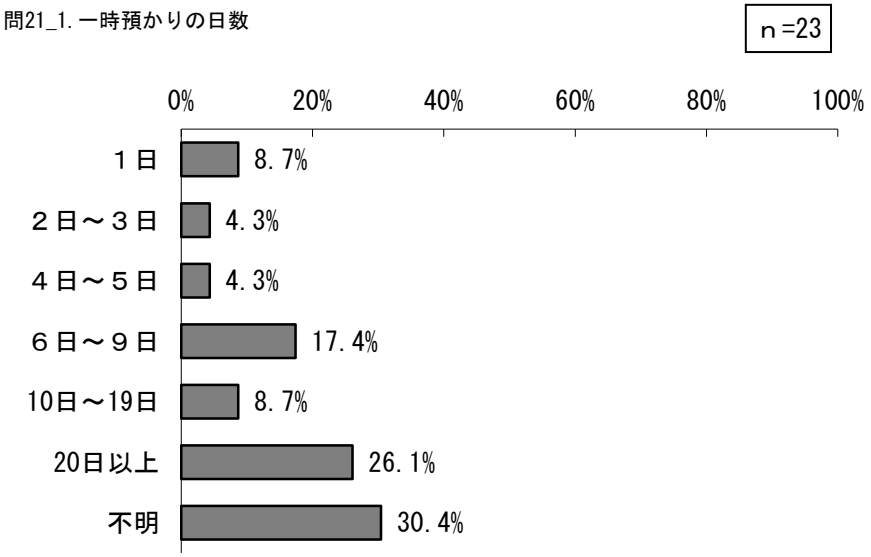
不定期の教育・保育事業の利用状況については、「利用していない」が 93.6%と大多数を占め、続いて「一時預かり（理由を問わずに幼稚園等で一時的に子どもを保育する事業）」が 2.4%、ほかは 1%以下となっています。



●その他

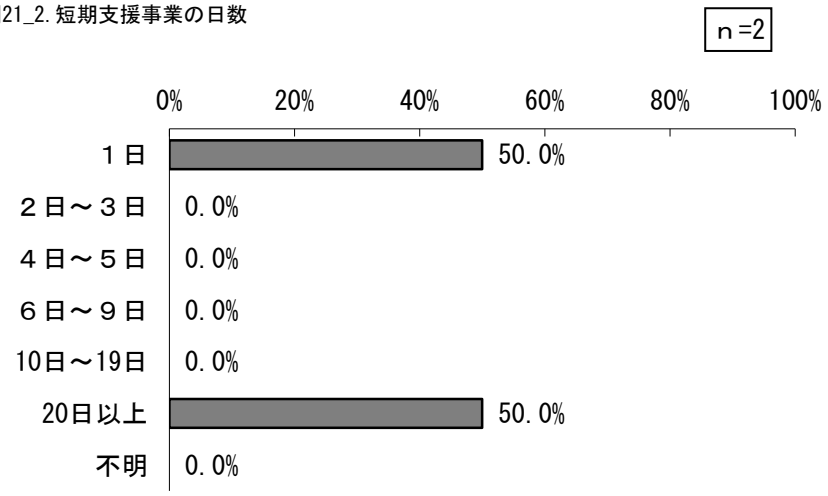
リトルフレンド（日曜）/託児所/職場の託児所

それぞれの日数についてみると、一時預かり（理由を問わずに幼稚園等で一時的に子どもを保育する事業）で「6 日～9 日」が 17.4%で最も高く、ついで「20 日以上」が 26.1%となっています。



短期支援事業(児童養護施設等で必要に応じ短期間子どもを預かる事業)は該当者が2名で、1名が「1日」もう1名が「20日以上」となっています。

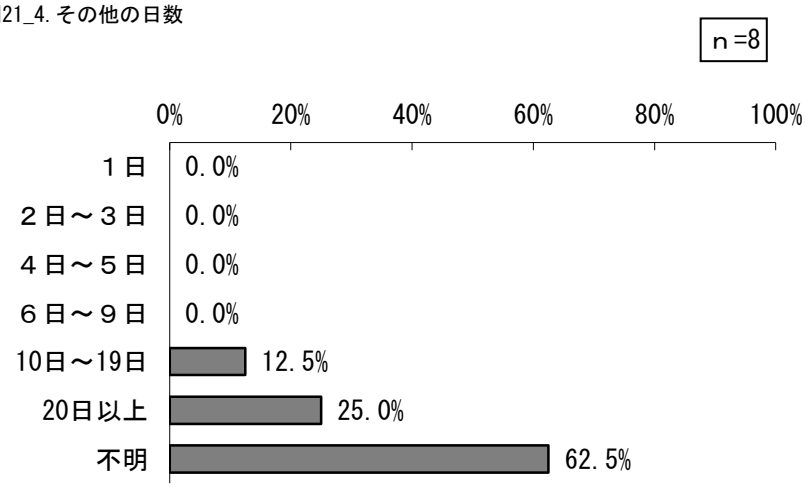
問21_2.短期支援事業の日数



ベビーシッター、お守りさんでは有効な回答が得られませんでした。

その他の日数では「20日以上」が25.0%で最も高くなっています。

問21_4.その他の日数



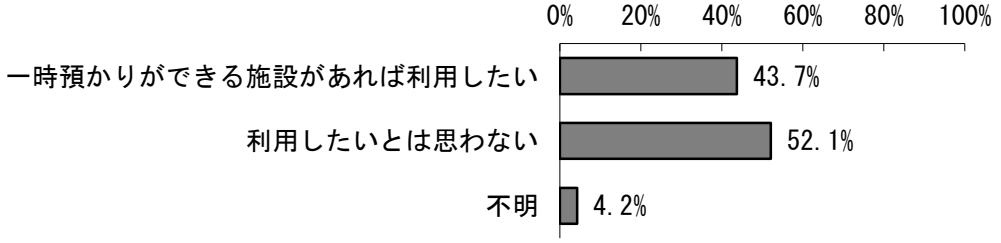
（22）一時預かり事業の利用希望の有無

問 22　お子さんについて、一時預かりの事業が利用できる場合、利用希望の有無についてお答えください。（○は１つ）なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

一時預かりの事業の利用希望については、「利用したいとは思わない」が 52.1%、「一時預かりができる施設があれば利用したい」が 43.7%となっています。

問22.一時預かりの事業が利用できる場合の利用希望の有無

ｎ=966



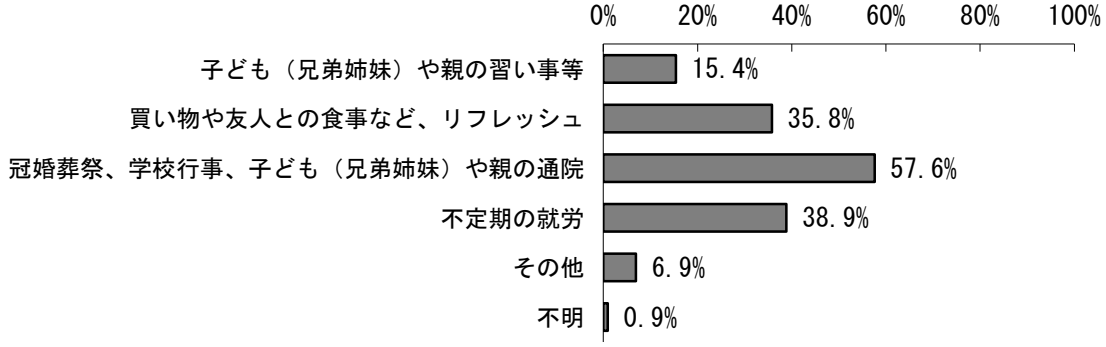
（22-1）一時預かりの利用目的

問 22-1　問 22 で「1. 一時預かりができる施設があれば利用したい」に○をつけた方にお伺いします。一時預かりの利用の目的についてお答えください。（○はいくつでも）１年間で想定される日数も（　　）内に数字でご記入ください。

一時預かり施設の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院」が 57.6%と最も高く、次いで「不定期の就労」が 38.9%、「買い物や友人との食事など、リフレッシュ」が 35.8%となっています。

問22-1.一時預かりの利用の目的について

ｎ=422

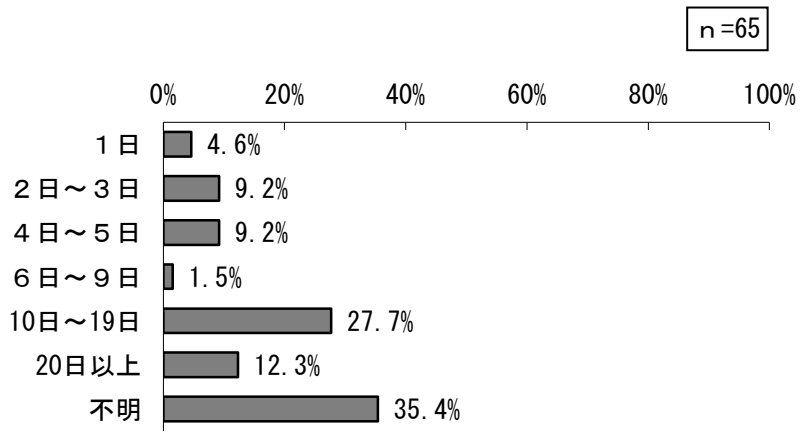


●その他

資格関連の研修会への参加（仕事で活かしている）/親自身が体調悪く、子供を見てもらえる人がいない時/実家の手伝い/資格取得の為の時間（講習、試験等）/兄弟、親の病気等の時/美容院　など

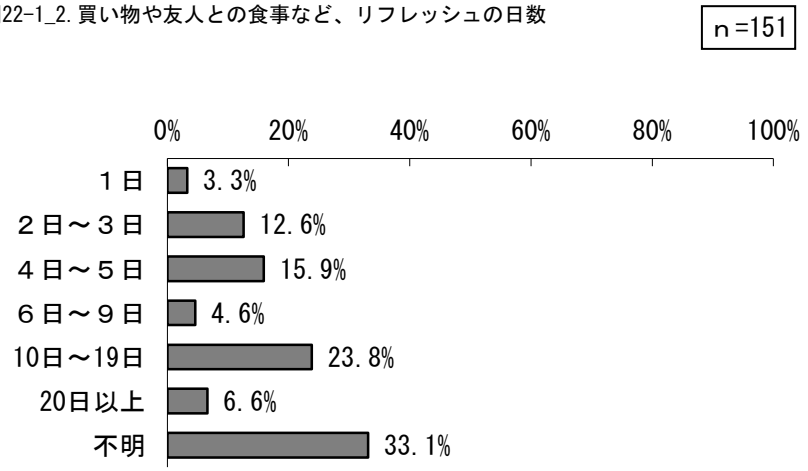
それぞれの目的の年間で想定される日数についてみると、子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等では「10 日～19 日」が 27.7%で最も高くなっています。

問22-1_1.子ども（兄弟姉妹）や親の習い事等の日数



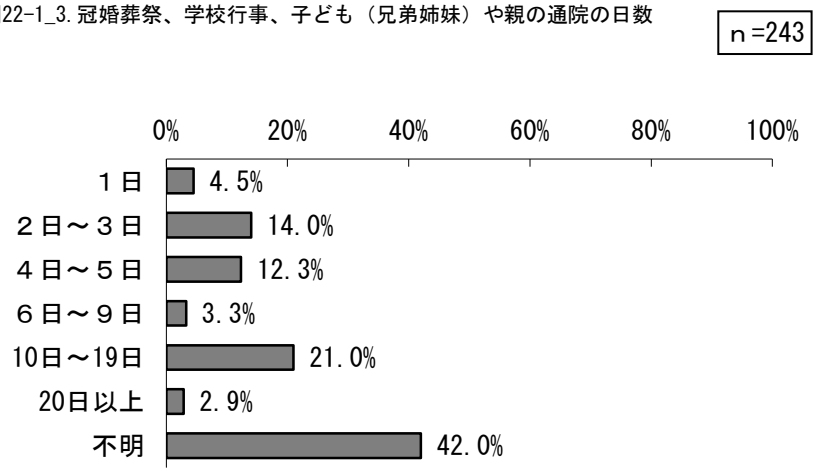
買い物や友人との食事など、リフレッシュでは「10 日～19 日」が 23.8%で最も高くなっています。

問22-1_2.買い物や友人との食事など、リフレッシュの日数



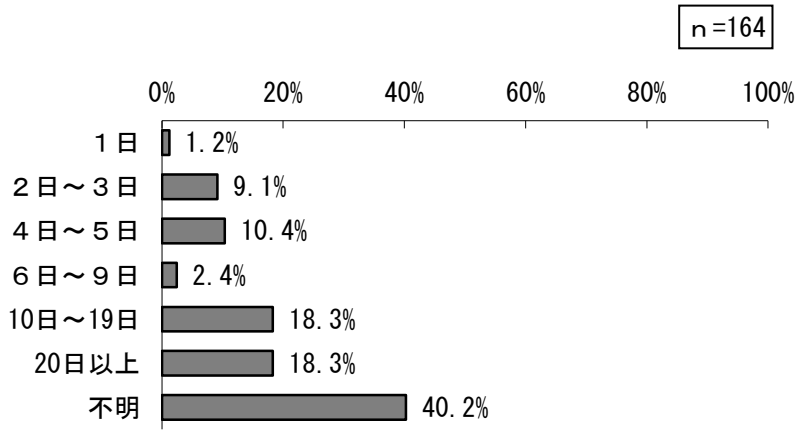
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院では「10 日～19 日」が 21.0%で最も高くなっています。

問22-1_3.冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹）や親の通院の日数



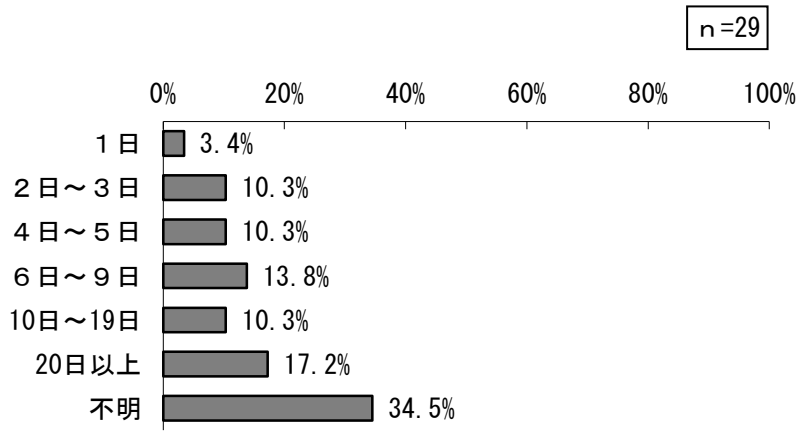
不定期の就労では「10 日～19 日」と「20 日以上」が同率で 18.3%となっています。

問22-1_4.不定期の就労の日数



その他では「20 日以上」が 17.2%で最も高くなっています。

問22-1_5.その他の日数

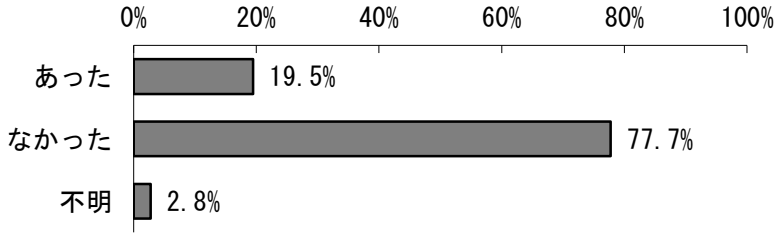


(23) 子どもを泊りがけでみてもらったことの有無

問 23　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）
あった場合は、この１年間の対処方法としてあてはまる番号１つに○・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことは、「あった」が 19.5%、「なかった」が 77.7%となっています。

問23. お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか　n=966

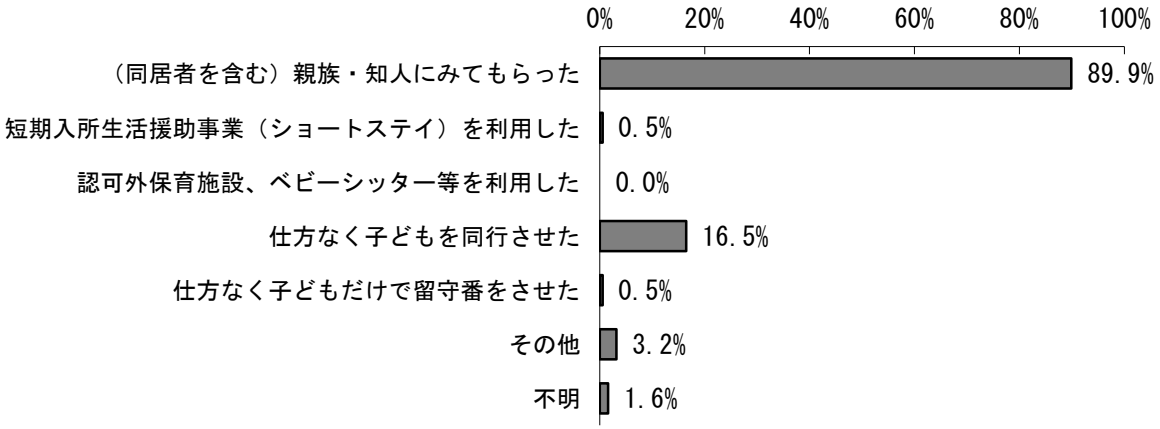


(23-1) 子どもを泊りがけでみてもらった時の対処方法

問 23-1　問 23 で「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。対処方法についてお答えください。（○はいくつでも）
１年間でのおおよその泊数も（　　）内に数字でご記入ください。

子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 89.9%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 16.5%となっています。

問23-1. この１年間の対処方法　n=188

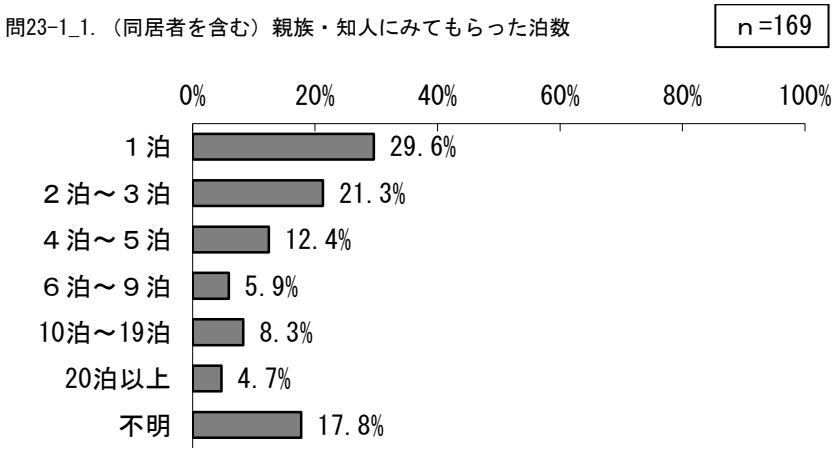


●その他

預け先がなく別の兄弟に負担をかけた/予定をとりやめた/自分が緊急搬送されたため、実家に滞在した

それぞれの泊数についてみると、(同居者を含む)親族・知人にみてもらった泊数では「1 泊」が 29.6%で最も高く、次いで「2 泊～3 泊」が 21.3%となっています。

問23-1_1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった泊数

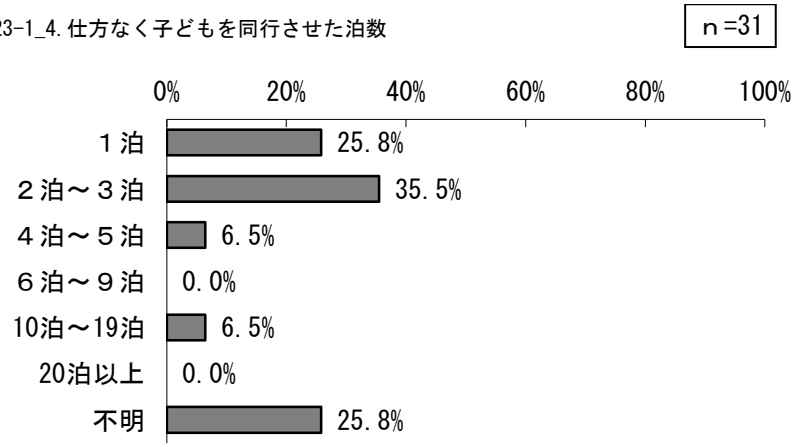


短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した泊数では該当者 1 名で「20 泊以上」となっています。

認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した泊数では該当者がいませんでした。

仕方なく子どもを同行させた泊数では「2 泊～3 泊」が 35.5%で最も高くなっています。

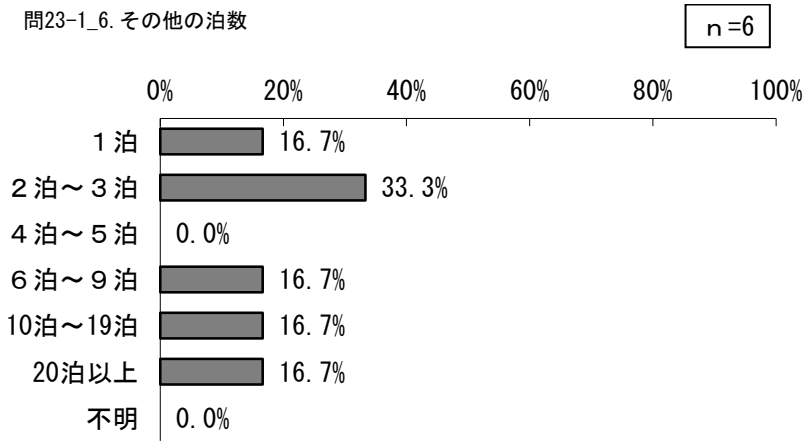
問23-1_4. 仕方なく子どもを同行させた泊数



仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数では有効な回答が得られませんでした。

その他の泊数では該当者が 6 名で「2 泊～3 泊」が 33.3%で最も高くなっています。

問23-1_6. その他の泊数

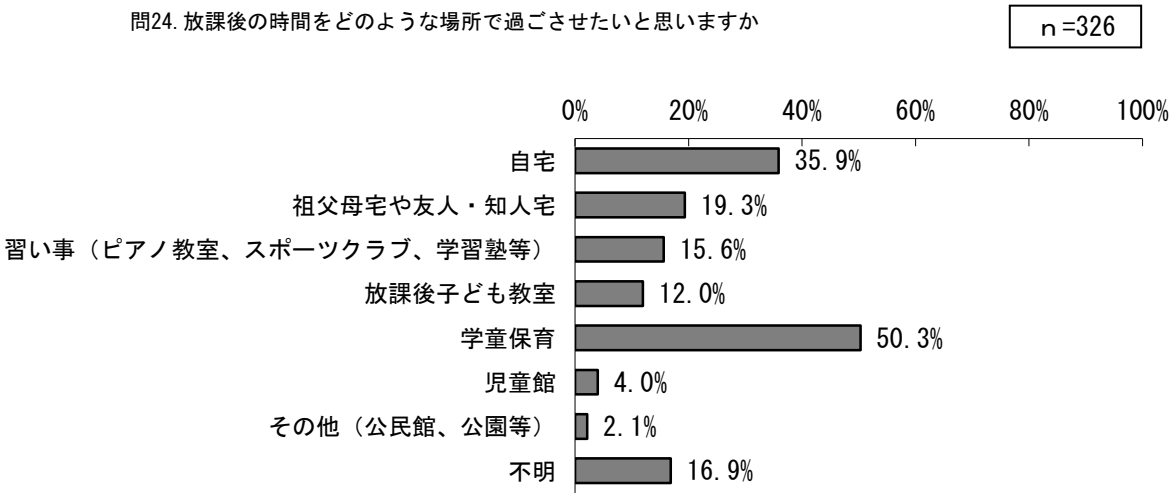


小学校就学後の放課後の過ごし方について

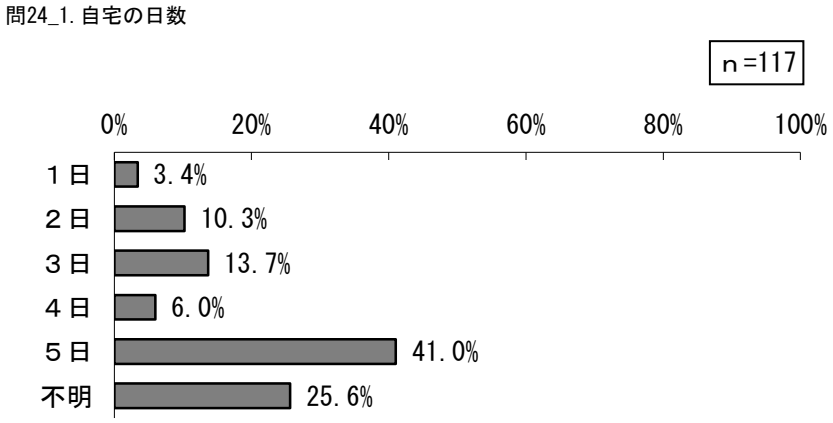
（24）小学校就学後の放課後の過ごし方

問 24　お子さんが 5 歳以上である方にお伺いします。（お子さんが 5 歳未満の方は問 25 にお進みください。）お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）
それぞれ希望する週当たり日数を（　　）内に数字でご記入ください。
また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

子どもが小学校に就学後、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所については、「学童保育」が 50.3%と最も高く、次いで「自宅」が 35.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 19.3%となっています。

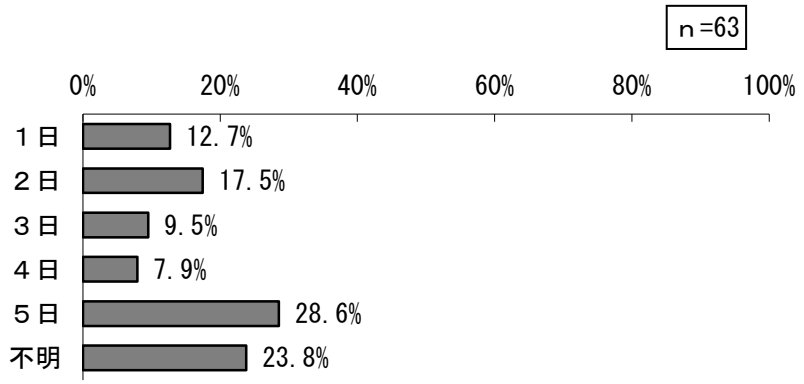


放課後を過ごさせたい場所で希望する週当たり日数をみると、自宅では「5 日」が 41.0%で最も高くなっています。



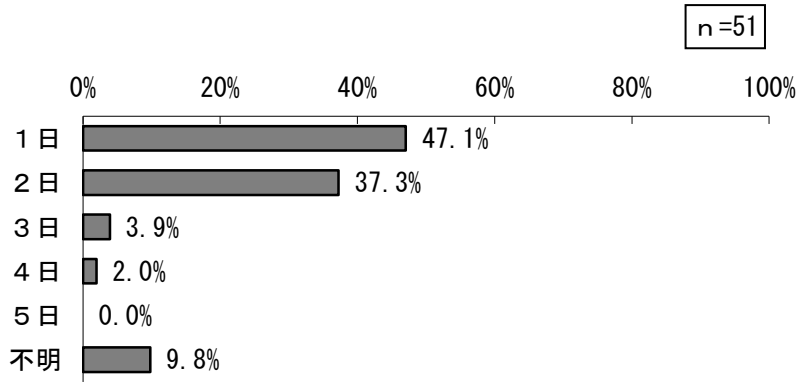
祖父母宅や友人・知人宅では「5 日」が 28.6%で最も高くなっています。

問24_2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数



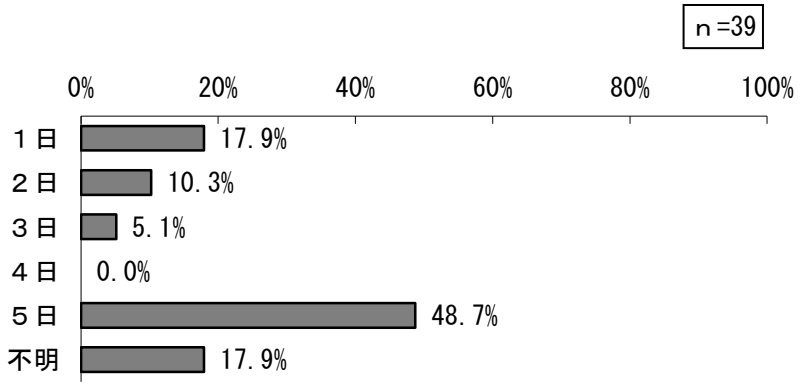
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等）では「1 日」が 47.1%で最も高く、次いで「2 日」が 37.3%となっています。

問24_3. 習い事の日数



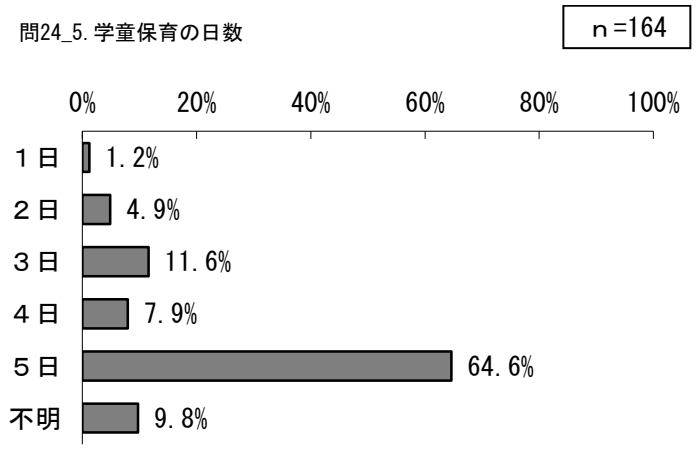
放課後子ども教室では「5 日」が 48.7%で最も高くなっています。

問24_4. 放課後子ども教室の日数

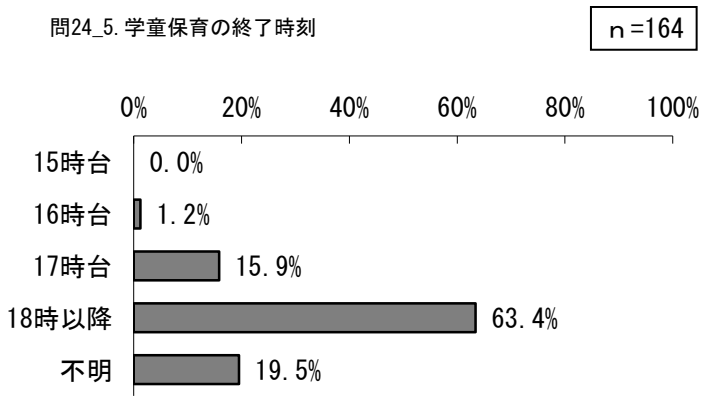


学童保育では「5 日」が 64.6%で最も高くなっています。
また、利用を希望する時間については下校から「18 時以降」が 63.4%で最も高くなっています。

問24_5. 学童保育の日数

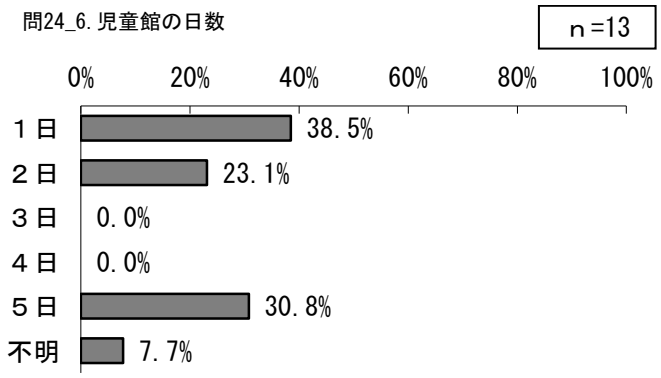


問24_5. 学童保育の終了時刻



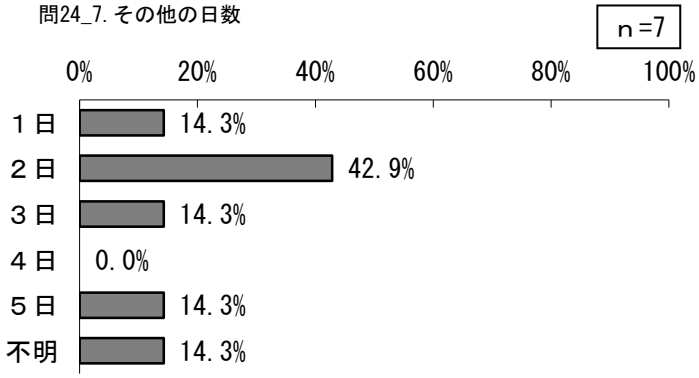
児童館では「１日」が 38.5%と最も高く、次いで「5 日」が 30.8%となっています。

問24_6. 児童館の日数



その他（公民館、公園等）では「2 日」が 42.9%で最も高くなっています。

問24_7. その他の日数

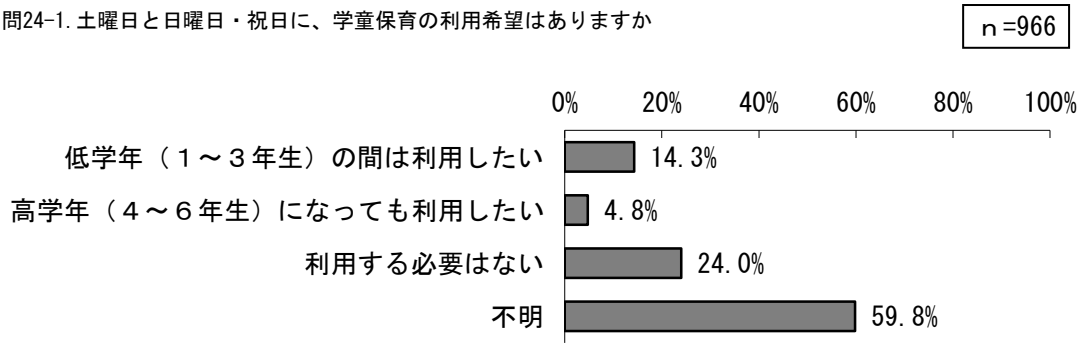


（24-1）土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

問 24-1　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。 お答えください（○はいくつでも）。また、利用したい時間帯を、（　　）内に （例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

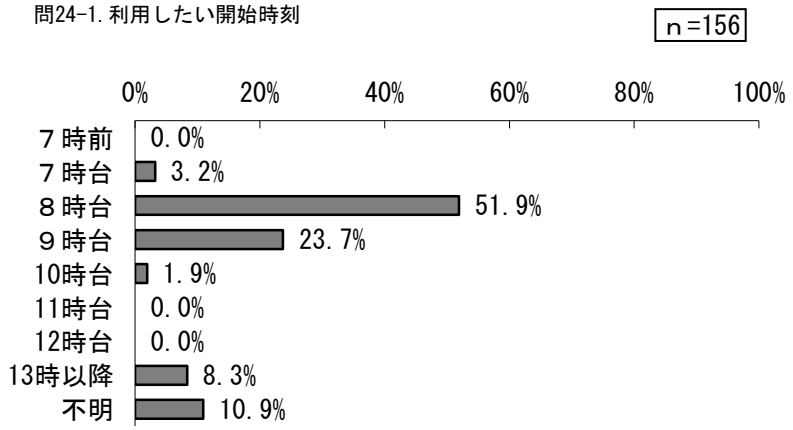
土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望については、「利用する必要はない」が 24.0%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 14.3%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 4.8%となっています。

問24-1. 土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか

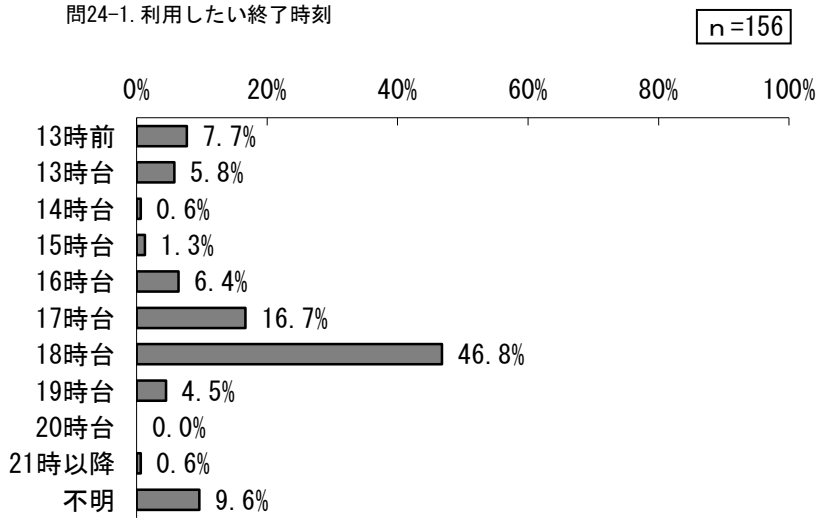


利用したい時間帯については、開始時刻は「8 時台」が 51.9%で最も高く、終了時刻は「18 時台」が 46.8%で最も高くなっています。

問24-1. 利用したい開始時刻



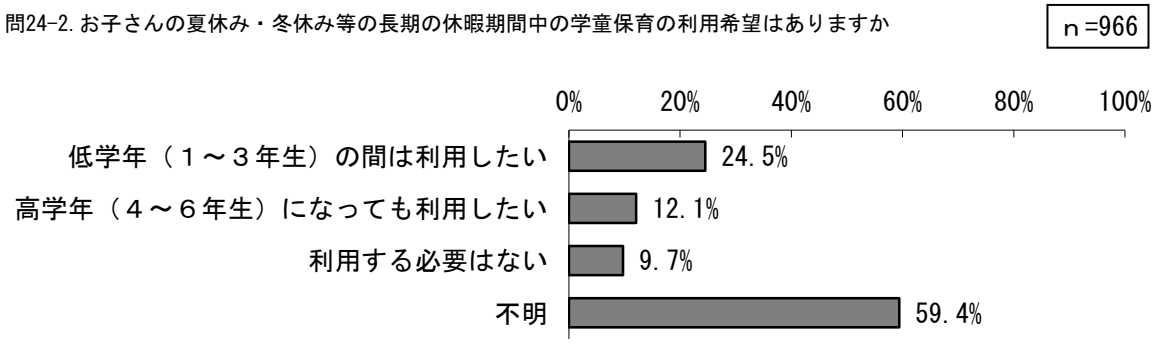
問24-1. 利用したい終了時刻



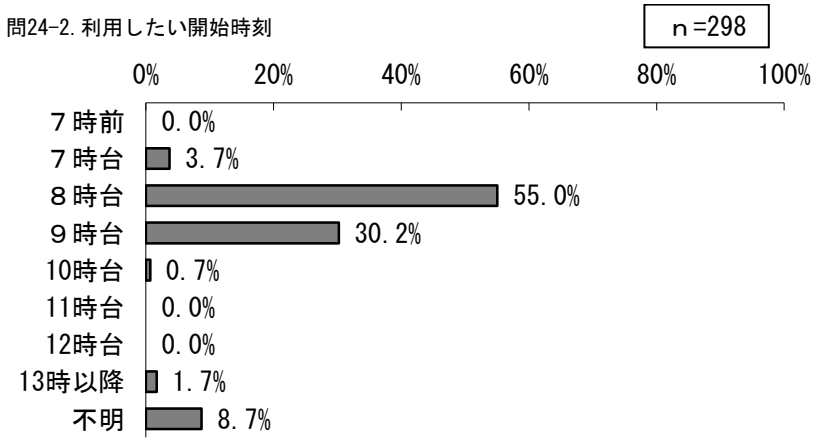
（24-2）長期休暇期間中の学童保育の利用希望

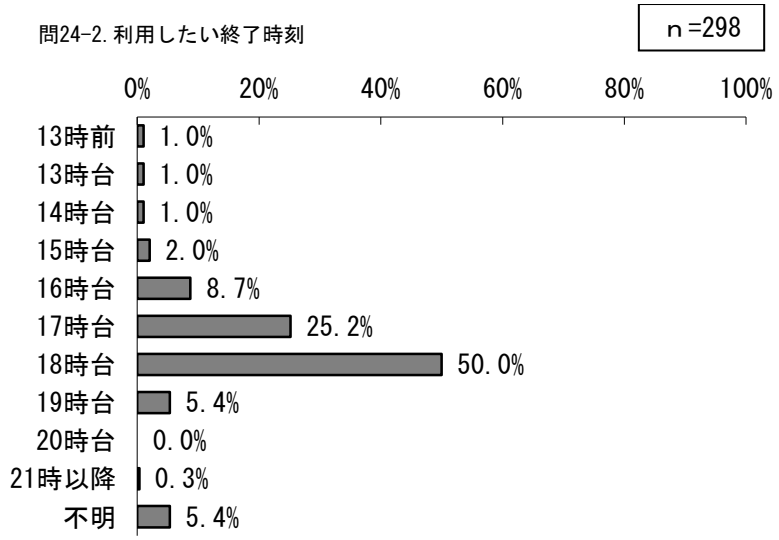
問 24-2　お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。（○はいくつでも）また利用したい時間帯を、（　）内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

長期休暇期間中の学童保育の利用希望については、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 24.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 12.1%、「利用する必要はない」が 9.7%となっています。



利用したい時間帯については、開始時刻は「8 時台」が 55.0%で最も高く、終了時刻は「18 時台」が 50.0%で最も高くなっています。



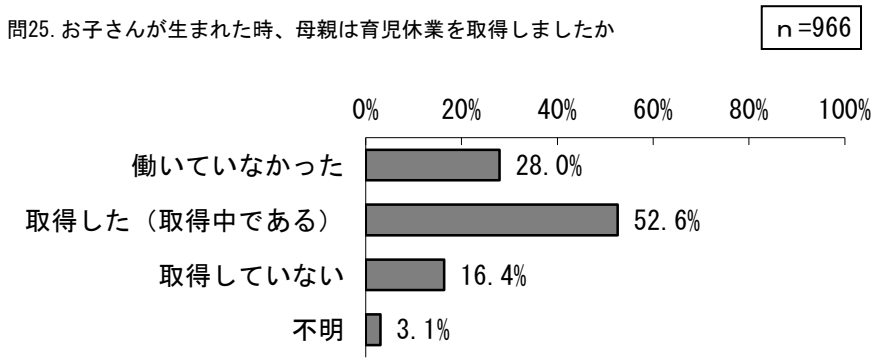


育児休業や短時間勤務制度等 職場の両立支援制度について

(25) 母親の育児休業取得状況

問 25　お子さんから見た「母親」の育児休業等についてお伺いします。(父子家庭の場合は問 26 にお進みください。)
お子さんが生まれた時、母親は育児休業を取得しましたか。お答えください。(○は 1 つ)
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

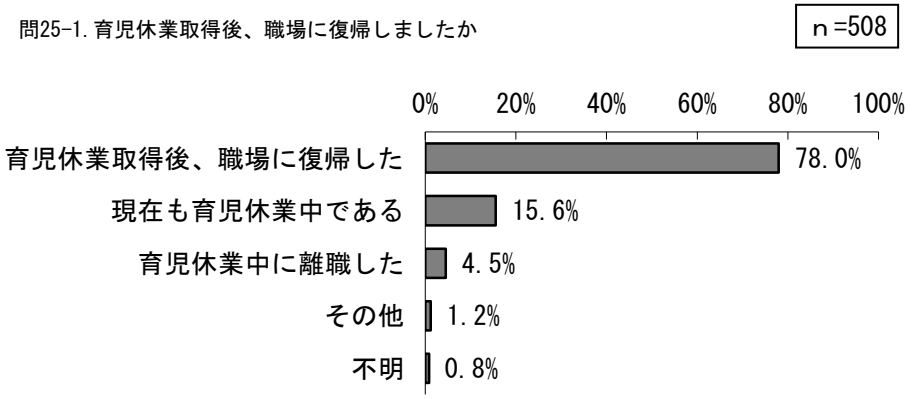
子どもが生まれた時、母親は育児休業を取得したかについては、「取得した(取得中である)」が 52.6%と最も高く、次いで「働いていなかった」が 28.0%、「取得していない」が 16.4%となっています。



(25-1) 育児休業取得後の職場復帰

問 25-1　問 25 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は 1 つ)

育児休業取得後、職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 78.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 15.6%、「育児休業中に離職した」が 4.5%となっています。



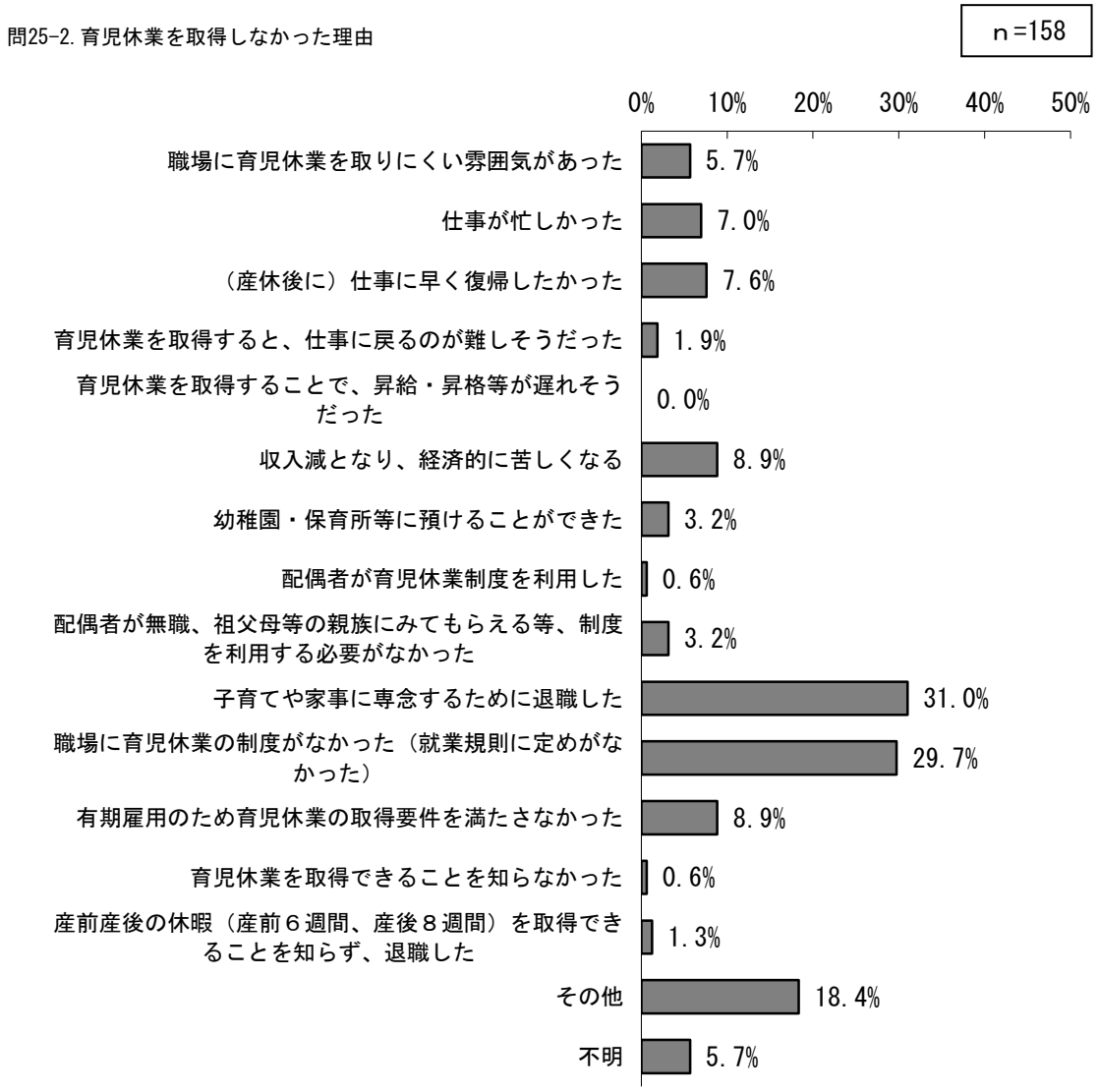
●その他

自営だったので自由/電話にて、一方的に離職させられた。数日以内に復帰予定であった/自営なので線引きがむずかしい/育児休業後復職させてもらえなかった/欠勤扱いにしてもらい、その後復帰（転職後 1 年経過していなかった為）

(25-2) 育児休業を取得しなかった理由

問 25-2　問 25 で「3. 取得していない」と回答した方にお伺いします。育児休業を取得しなかった理由をお答えください。(○はいくつでも)

育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するために退職した」が 31.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 29.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が同率の 8.9%となっています。



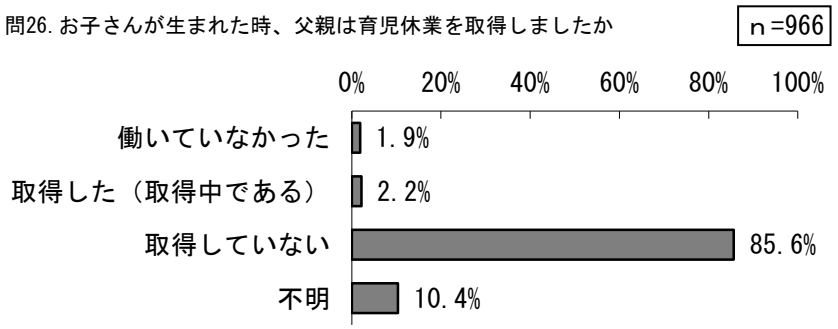
●その他

退職を希望していたから/妊娠悪阻の為、毎日通院していると自己退職扱いにされてクビにされた/自営だから/県外から引っ越してきた為/自由に時間を割いて出来る仕事だったため/まだ働いていなかった/臨時職員だった為、育児休業がなかった/会社が遠く、嫁ぎ先からの復帰が出来なかった/内職には育児休業はなかったため/自営業の為完全に休むわけにいかない為/自営だから休みたくても休めない。国も市町村も全然サポートしてくれない/自分のペースで出来る為、わざわざ休みをとらなかった/仕事をやめるようにもっていかれた/主人の農業手伝いだったので、つわりが始まった時から休んでいる　など

(26) 父親の育児休業取得状況

問 26　お子さんから見た「父親」の育児休業等についてお伺いします。(母子家庭の場合は問 27 にお進みください。)
お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか。お答えください。(○は 1 つ)
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

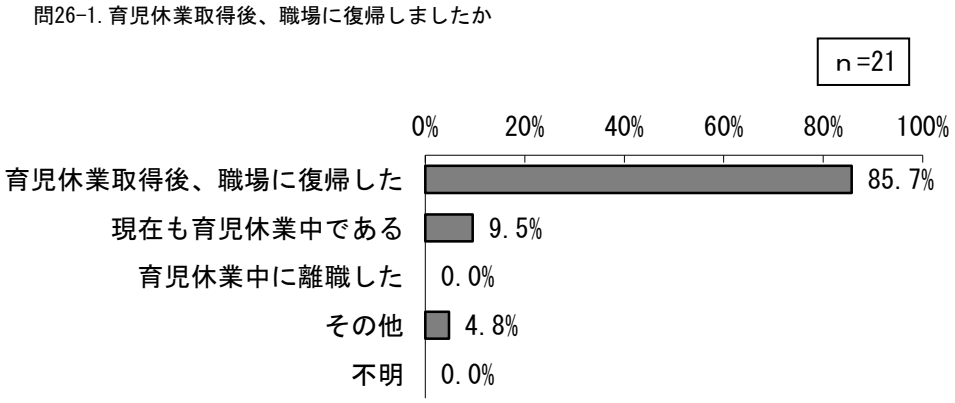
子どもが生まれた時、父親は育児休業を取得したかについては、「取得していない」が 85.6%と大半を占め、以下は「取得した（取得中である)」が 2.2%、「働いていなかった」が 1.9%となっています。



(26-1) 育児休業取得後の職場復帰

問 26-1　問 26 で「2. 取得した（取得中である)」と回答した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は 1 つ)

育児休業取得後、職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 9.5%となっています。

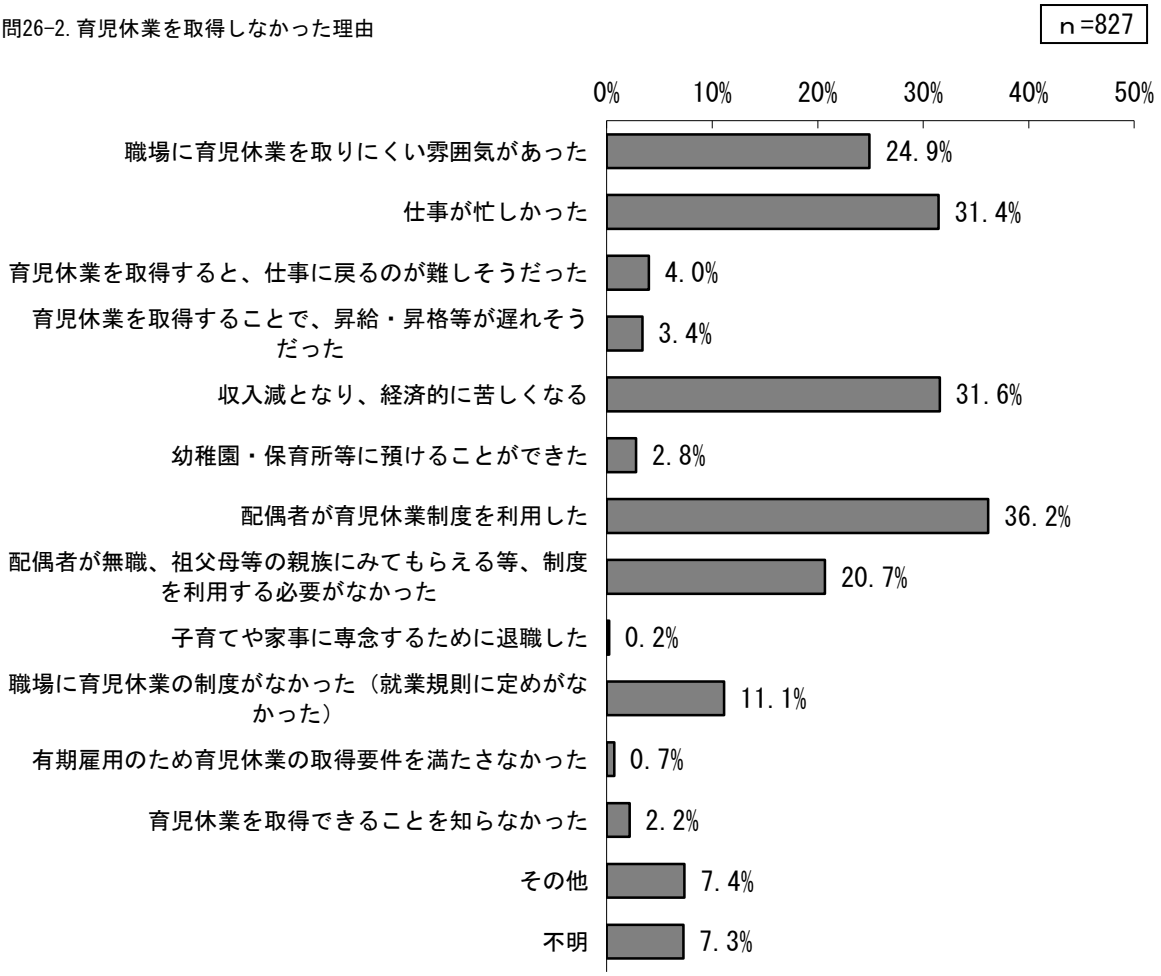


（26-2）育児休業を取得しなかった理由

問 26-2　問 26 で「3. 取得していない」と回答した方にお伺いします。育児休業を取得しなかった理由をお答えください。（○はいくつでも）

育児休業を取得しなかった理由は、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 36.2%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 31.6%、「仕事が忙しかった」が 31.4%となっています。

問26-2.育児休業を取得しなかった理由



●その他

育児休業を取得する必要がなかった/父親が育児休業をとるという感覚がそもそもなかった/父親としての責任から逃げていた/自営なので育児休業などない/配偶者が休職した/妻にまかせきり/仕事時間が短く早めに家に帰ってこれた為/託児所に生後 4 か月で預けることができた/経営者であるため有休取得は考えられなかった/ブラック企業の為、取れなかった/長期にはとれないと言われた。（1～2 ヶ月は OK とのこと）/先に育児休業している人がいた/特休、有休を利用し、育休利用せずともある程度のサポートはできている/上司に却下された　など

子育てに関する情報について

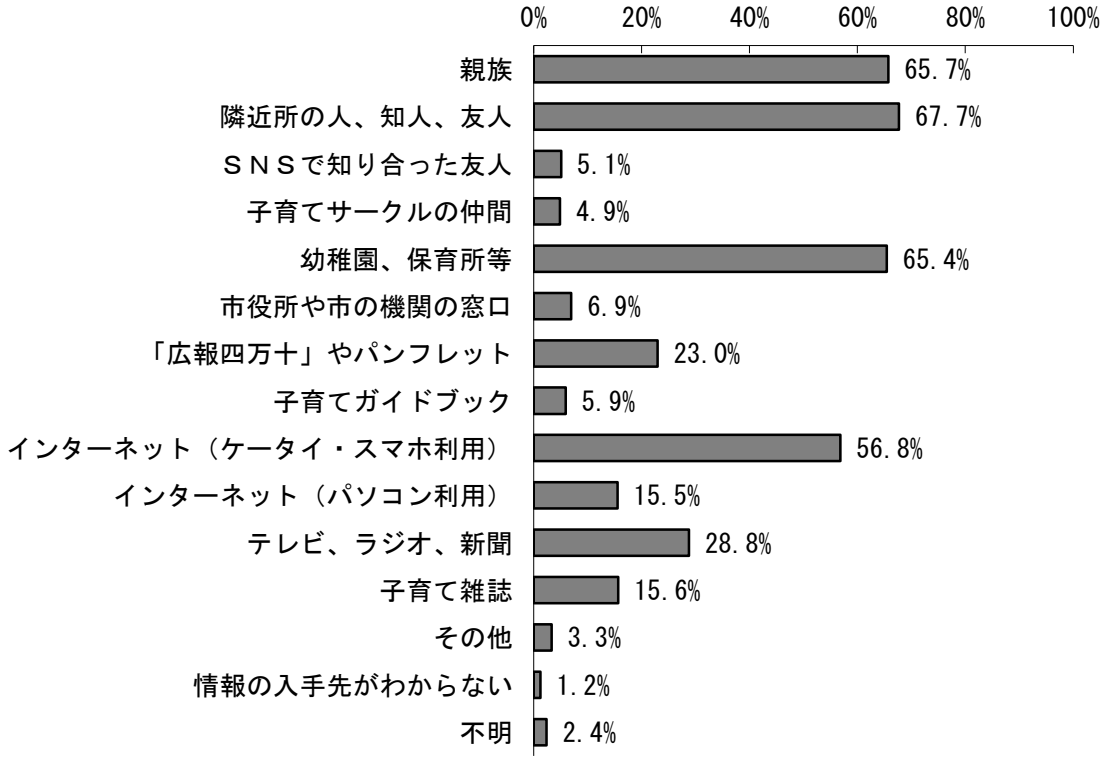
（27）子育てに関する情報の入手先

問 27　あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

子育てに関する情報を主としてどこから入手しているかは、「隣近所の人、知人、友人」が67.7%と最も高く、次いで「親族」が65.7%、「幼稚園、保育所等」が65.4%、「インターネット（ケータイ・スマホ利用）」が56.8%となっています。

問27.子育てに関する情報を主としてどこから入手していますか

n=966



●その他

職場/医師/かかりつけの病院/図書館/仕事が保育だった/研修/支援センターの先生/ぽっぽ/スーパーの掲示板/保健師

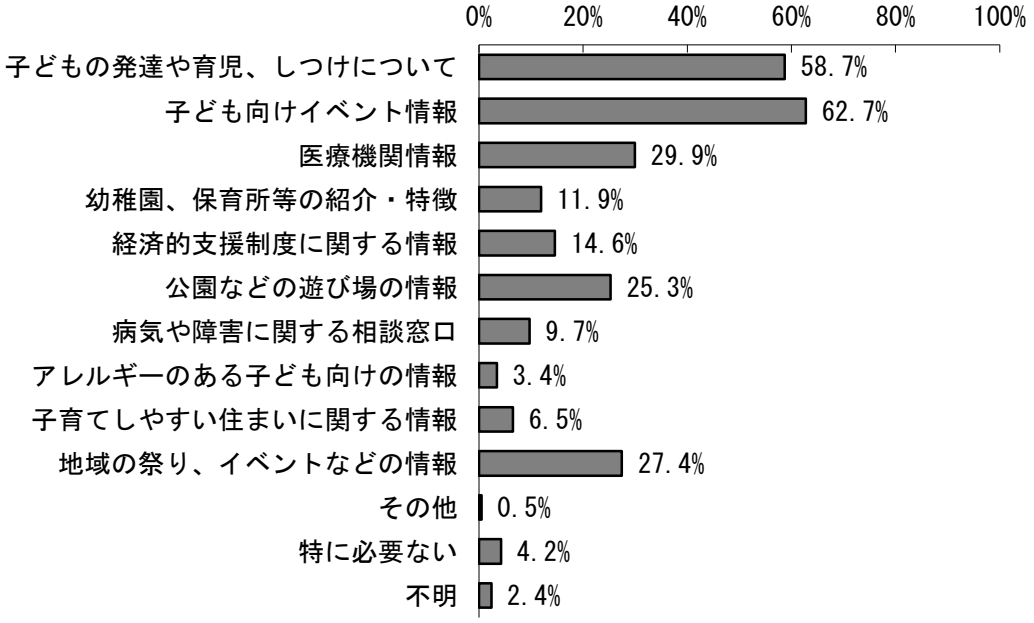
（28）子育てに関してどのような情報が欲しいか

問 28　あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。（3 つまで選んで○）

子育てに関するどのような情報が欲しいかについては、「子ども向けイベント情報」が 62.7%と最も高く、次いで「子どもの発達や育児、しつけについて」が 58.7%、「医療機関情報」が 29.9%、「地域の祭り、イベントなどの情報」が 27.4%となっています。

問28. 子育てに関するどのような情報が欲しいですか

n=966



●その他

災害時の対応など/なんでも知りたいです/教育（海外に準じた）情報/芸術関連（美術館や博物館等）　など

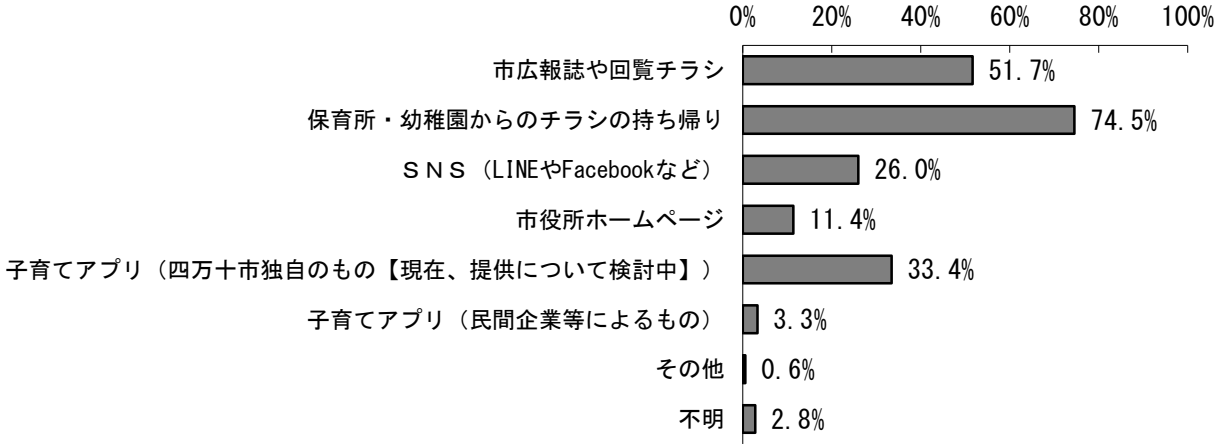
（29）情報の入手方法の希望

問 29　あなたは、市が発信する子育てに関する情報を、どのようにして受け取りたいですか。（3 つまで選んで〇）

市が発信する子育てに関する情報を、どのようにして受け取りたいかについては、「保育所・幼稚園からのチラシの持ち帰り」が 74.5%と最も高く、次いで「市広報誌や回覧チラシ」が 51.7%、「子育てアプリ（四万十市独自のもの【現在、提供について検討中】）」が 33.4%となっています。

問29.市が発信する子育てに関する情報を、どのようにして受け取りたいですか

ｎ=966



●その他

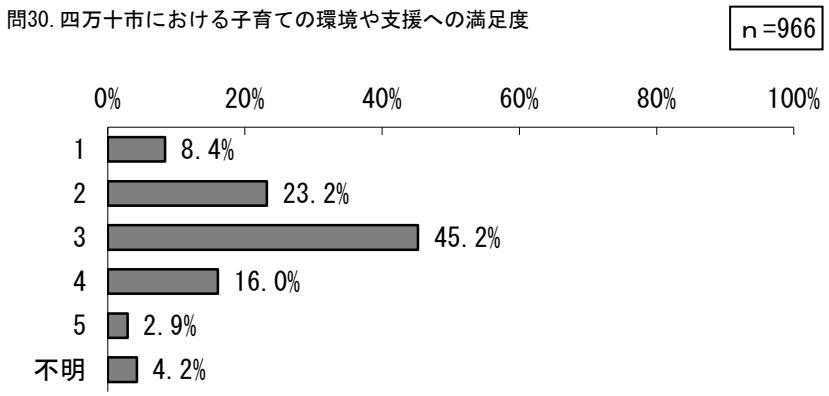
TV、CM/特に必要ない/家にチラシが届くようにしてほしい/主に全部あっても良いのでは/支援センター

行政への要望について

（30）市の子育て環境や支援への満足度

問 30　四万十市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。（○は 1 つ）

四万十市における子育ての環境や支援への満足度は、「3」が 45.2%と最も高く、次いで「2」が 23.2%、「4」が 16.0%となっています。



「1」（低い）→「5」（高い）

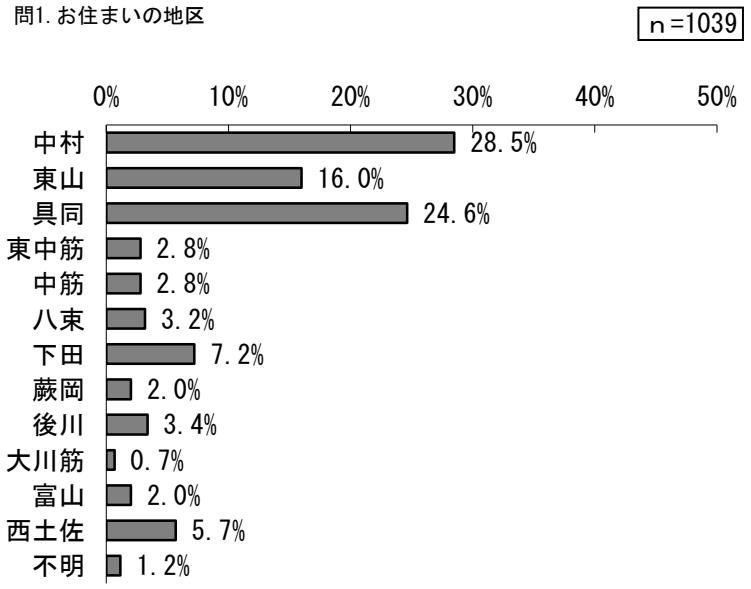
小学生のいる世帯の調査結果

お子さんとご家族の状況について

(1) 居住地区

問１　お住まいの地区はどこですか。（○は１つ）

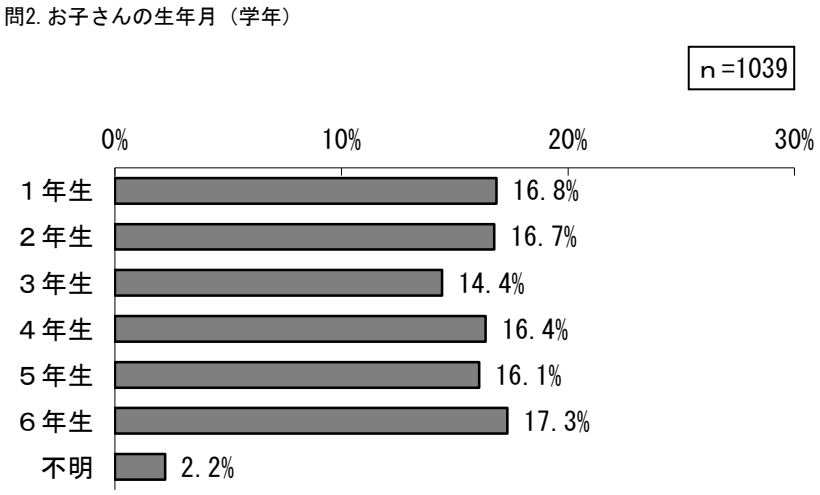
回答者の居住地区は、「中村」が 28.5%、「具同」が 24.6%、「東山」が 16.0%、「下田」が 7.2%となっています。



(2) お子さんの生年月

問２　お子さんの生年月を数字でご記入ください。

生年月をもとに子どもの学年を算出したところ、「6 年生」が 17.3%と最も高く、次いで「1 年生」が 16.8%、「2 年生」が 16.7%、「4 年生」が 16.4%となっています。

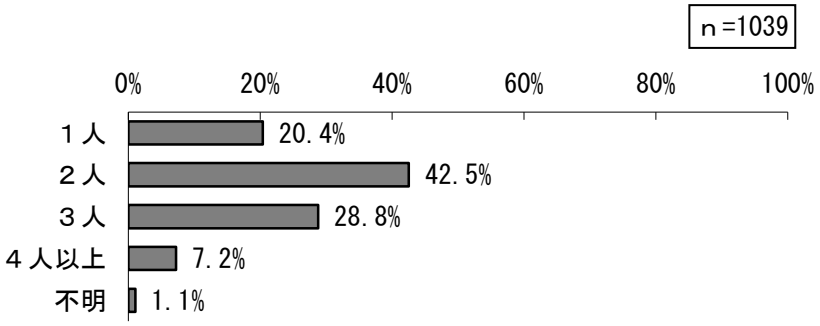


(3) お子さんの人数

問３　現在子どもの数は何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を（　　）内に数字でご記入ください。 お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

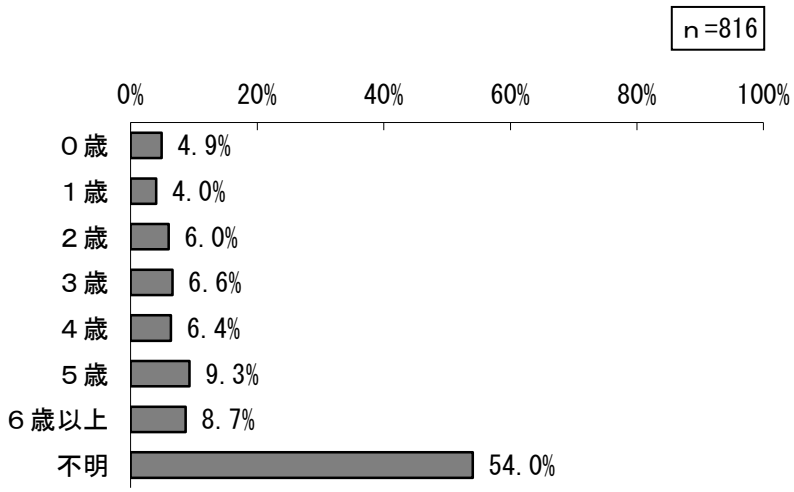
子どもの数については、「2 人」が 42.5%と最も高く、次いで「3 人」が 28.8%、「1 人」が 20.4%となっています。

問3. 子どもの数（人）



末子の年齢については、「5 歳」が 9.3%と最も高く、次いで「6 歳以上」が 8.7%、「3 歳」が 6.6%となっています。

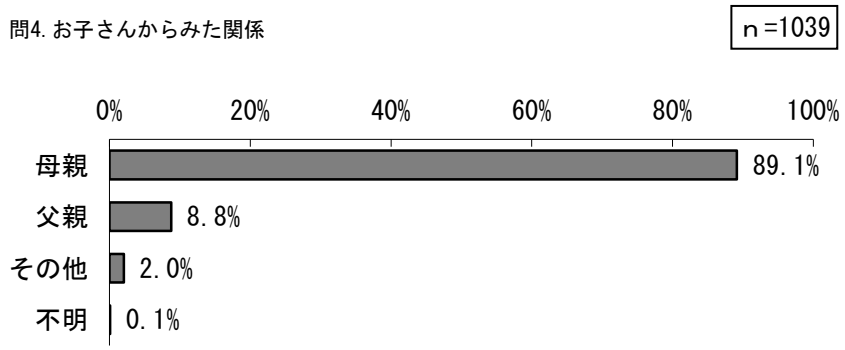
問3. 末子の年齢



(4) 回答者とお子さんの関係

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は１つ）

この調査票に回答した人は、「母親」が 89.1%、「父親」が 8.8%となっています。



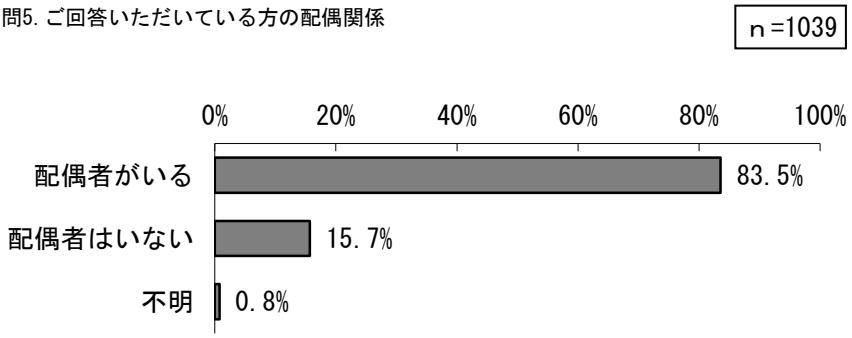
●その他

祖母/施設職員/祖父

(5) 回答者の配偶関係

問５　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（○は１つ）

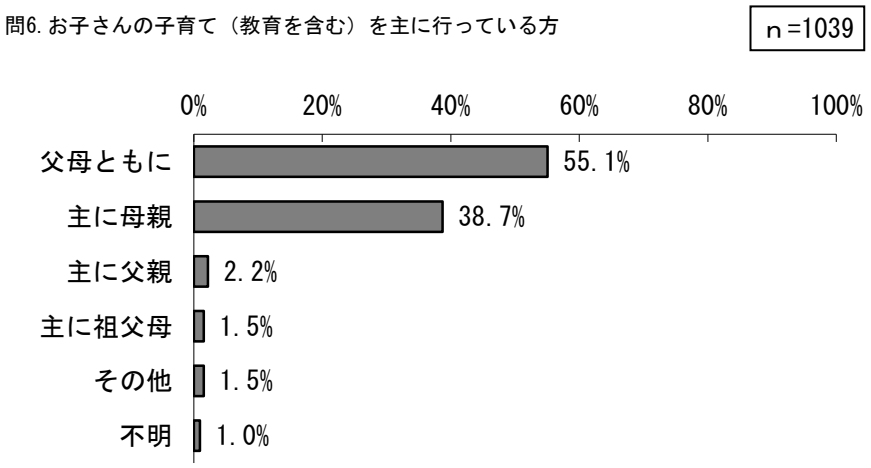
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる」が 83.5%、「配偶者はいない」が 15.7%となっています。



(6) お子さんの子育てを主に行っている方

問６　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○は１つ）

主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が 55.1%と最も高く、次いで「主に母親」が 38.7%となっています。



●その他

若草園/施設担当/父母と祖母/叔母/兄弟/父母と祖父母

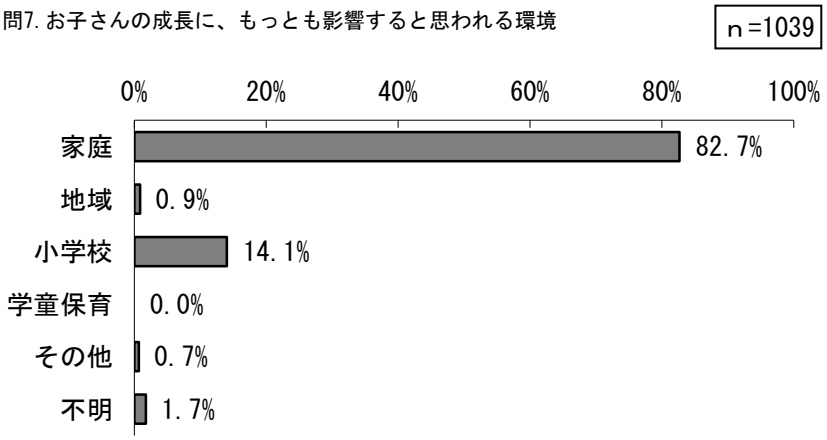
子どもの育ちをめぐる環境について

(7) 子どもの成長に影響する環境

問７　お子さんの成長に、もっとも影響すると思われる環境は何だとお考えですか。（○は１つ）

子どもの成長にもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が 82.7%と最も高く 8 割を超え、次いで「小学校」が 14.1%となっています。

問7. お子さんの成長に、もっとも影響すると思われる環境



●その他

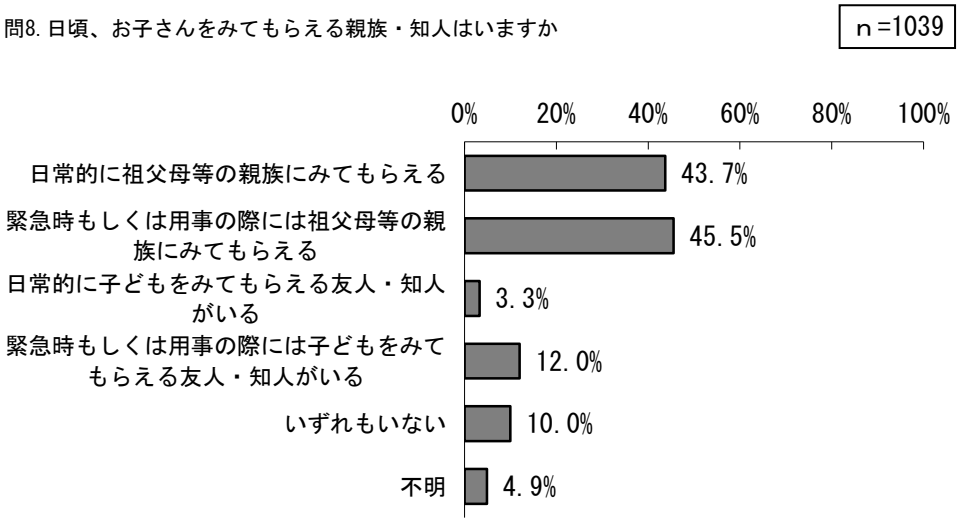
子供をとりまく環境全て/家庭も学校も合わせて子供の成長する場だと思うのでどちらとは決められません/全ての学校/友達/中・高　など

(8) お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問８　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 45.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 43.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 12.0%となっています。

問8. 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか

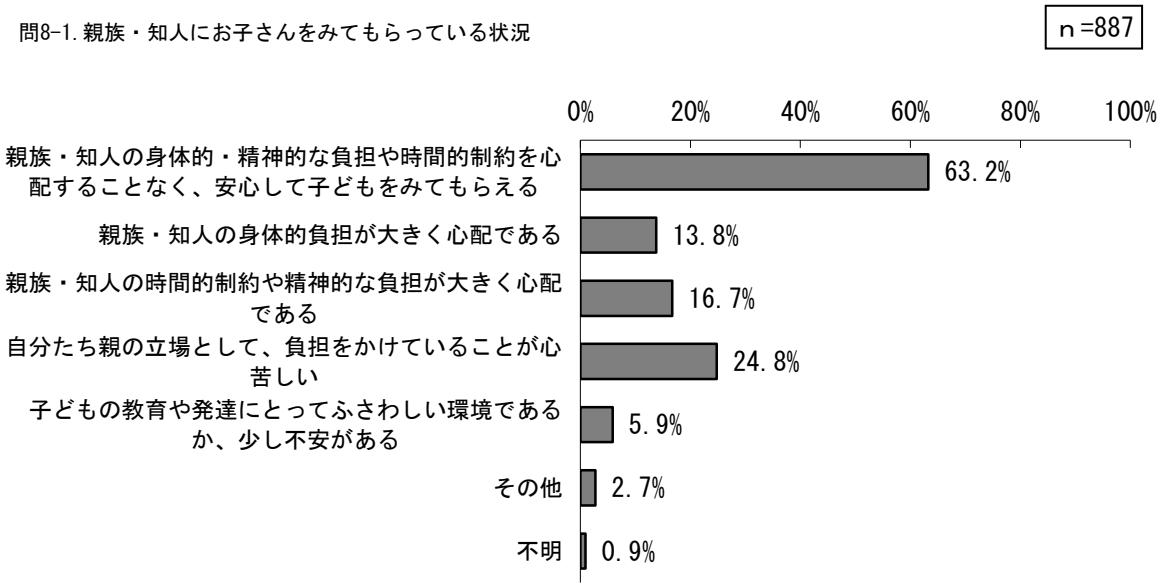


(8-1) 親族・知人にお子さんをみてもらっている状況について

問 8-1　問 8 で「1～4」に○をつけた方にお伺いします。親族・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

親族・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「親族・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 63.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 24.8%、「親族・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 16.7%となっています。

問8-1.親族・知人にお子さんをみてもらっている状況



●その他

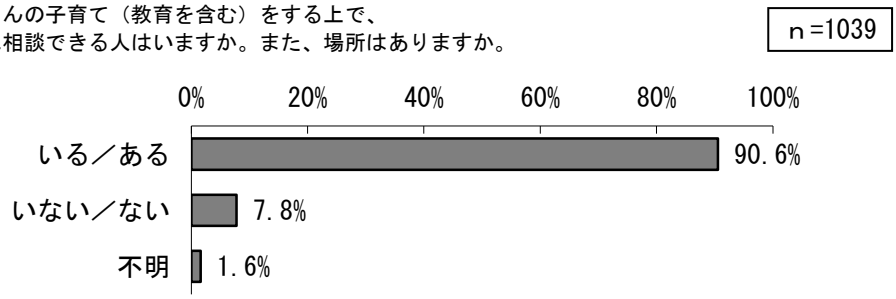
子どもの教育面で不安がある/1 人で留守番をする不安が本人にはない。見てもらわなくても 1 人でいることもできる/多少の心配や心苦しさはあるが、安心して子どもを見てもらえる/遠方であるため、すぐには対応してもらえない/親族の負担は心配だが、いなくてはならない存在で頼っている/児童養護施設入所中/相手の都合も考えています/それほど長い時間みてもらう状況はない/見てもらう回数が増えると負担ではないかと思う/精神的負担はないが時間的制約がある/ほとんどみてもらったことはない　など

(9) 子育てを相談できる人・場所の有無

問９　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（○は１つ）

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所の有無については、「いる／ある」が 90.6%、「いない／ない」が 7.8%となっています。

問9. お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、
気軽に相談できる人はいますか。また、場所はありますか。

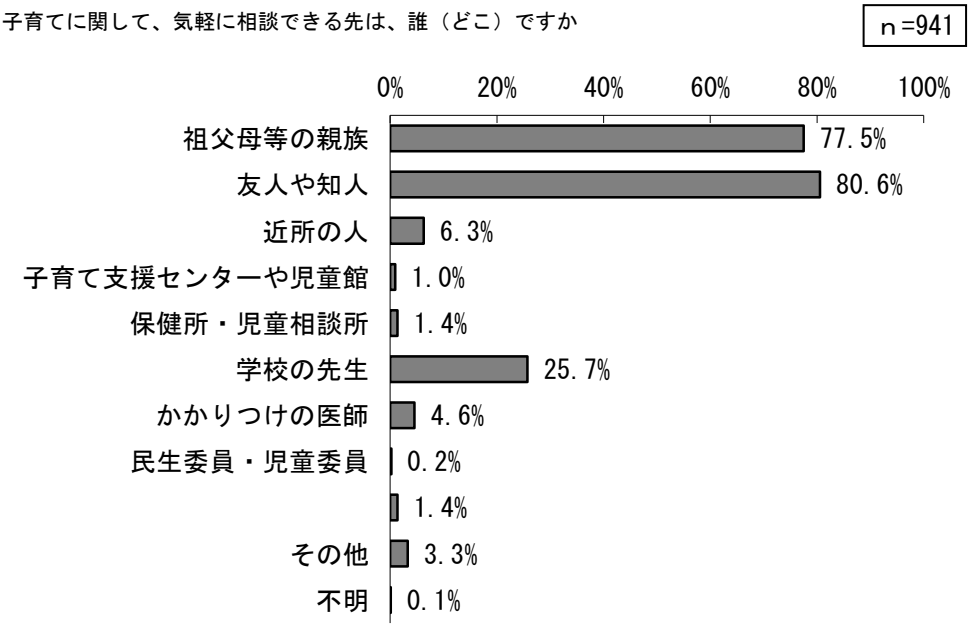


(9-1) 子育てを相談できる人・場所

問 9-1　問 9 で「1. いる／ある」に○をつけた方にお伺いします。子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

子育てに関して、気軽に相談できる相手先は、「友人や知人」が 80.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が 77.5%、「学校の先生」が 25.7%となっています。

問9-1. 子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか



●その他

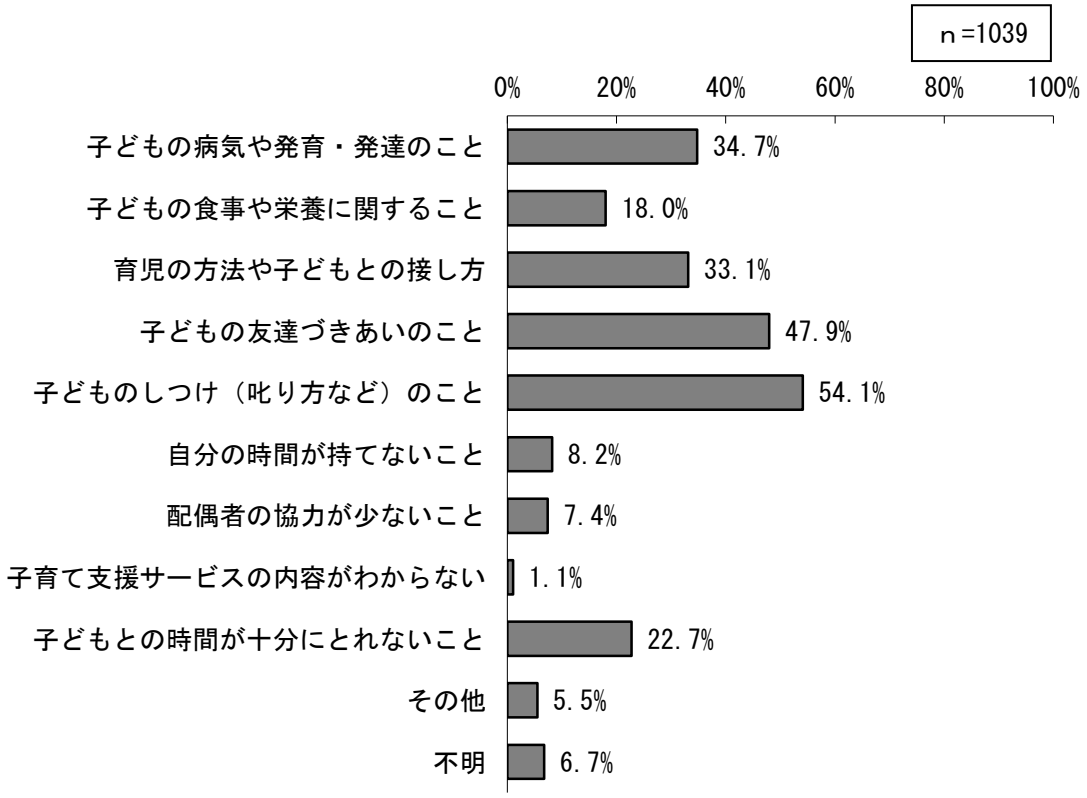
通っていた託児所の先生/若草園職員/習いごとの先生/職場の同僚/塾の先生/スクールカウンセラー　など

（10）子育ての悩みや心配ごと

問 10　子育て（教育を含む）をする上で、どのようなことで悩んだり心配していますか。
（○はいくつでも）

子育てをする上での悩みや心配ごとは、「子どものしつけ（叱り方など）のこと」が 54.1%と最も高く、次いで「子どもの友達づきあいのこと」が 47.9%、「子どもの病気や発育・発達のこと」が 34.7%となっています。

問10.子育て（教育を含む）をする上で、どのようなことで悩んだり心配していますか



●その他

学力プラス進路/勉強の指導をしても本人があまりその気にならない/悩んだり、心配したりしない/スマホゲーム等の使い方/ゲームの中断のさせ方/ここ数年介護のため､遠出や旅行がしづらい。楽しみが少ないかなぁ…と思う/最近、反抗期が始まり大変です/将来についてなど/不登校の子供がいる。将来への不安/1 人親であること/子どもの社会性を育てる事。個性に合わせた教育方法/学校の先生の対応/進路について/学校のクラスのこと　など

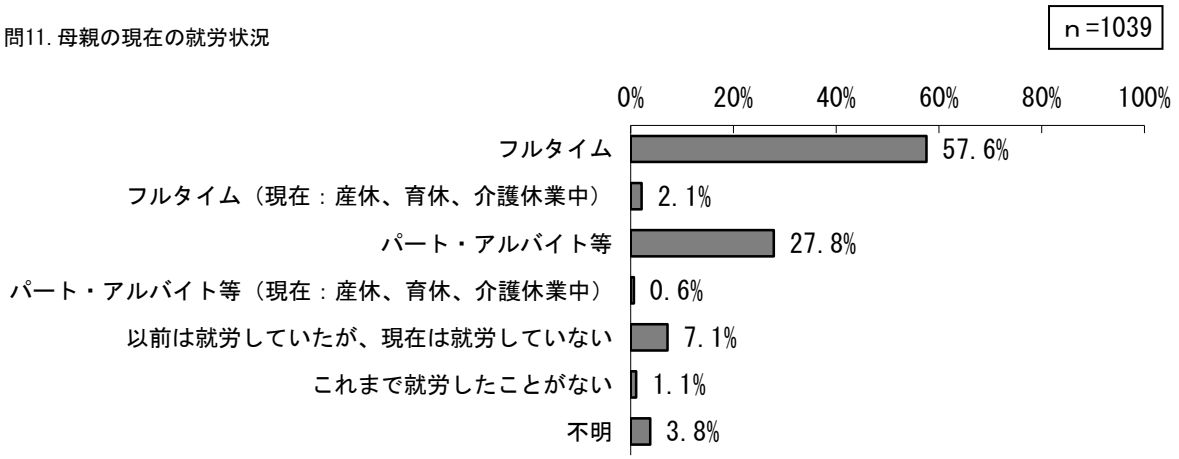
保護者の就労状況について

（11）母親の就労状況

問 11　お子さんから見た「母親」の就労状況についてお伺いします。（父子家庭の場合は問 12 にお進みください。）母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（○は１つ）

母親の就労状況は、「フルタイム」が 57.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」が 27.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 7.1%となっています。

問11. 母親の現在の就労状況

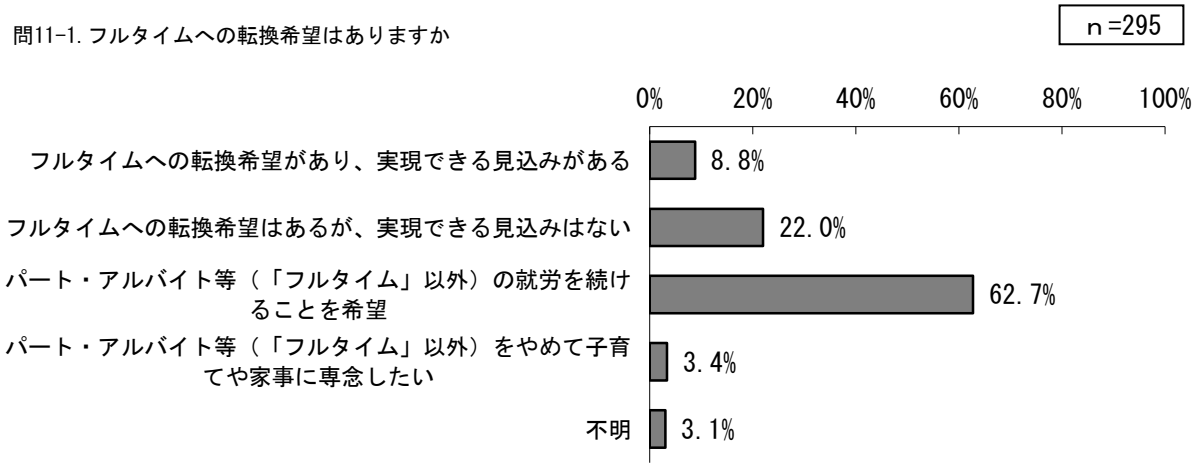


（11-1）フルタイムへの転換希望の有無

問 11-1　問 11 で「3」「4」（パート・アルバイト等）に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つ）

フルタイムへの転換希望の有無については、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が 62.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 22.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.8%となっています。

問11-1. フルタイムへの転換希望はありますか

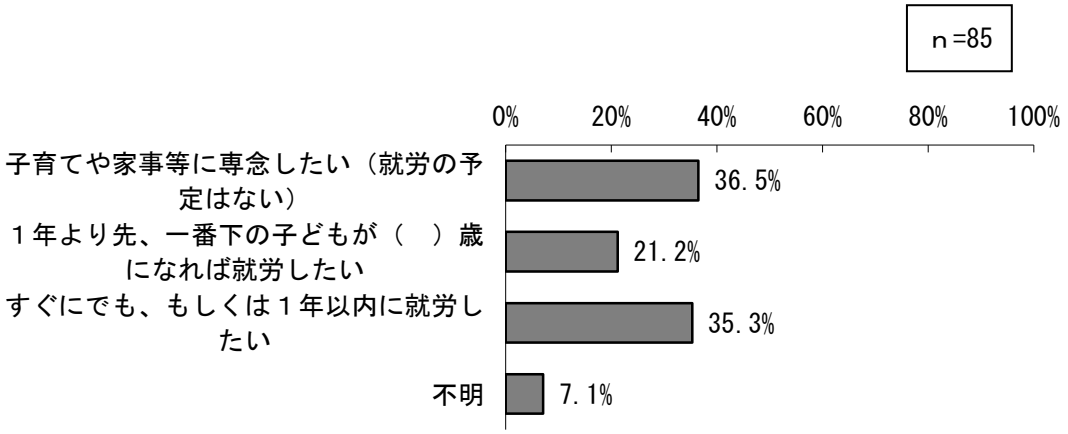


(11-2) 現在就労していない母親の今後の就労希望

問 11-2　問 11 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ○は１つ) 該当する（　　）内には数字をご記入ください。

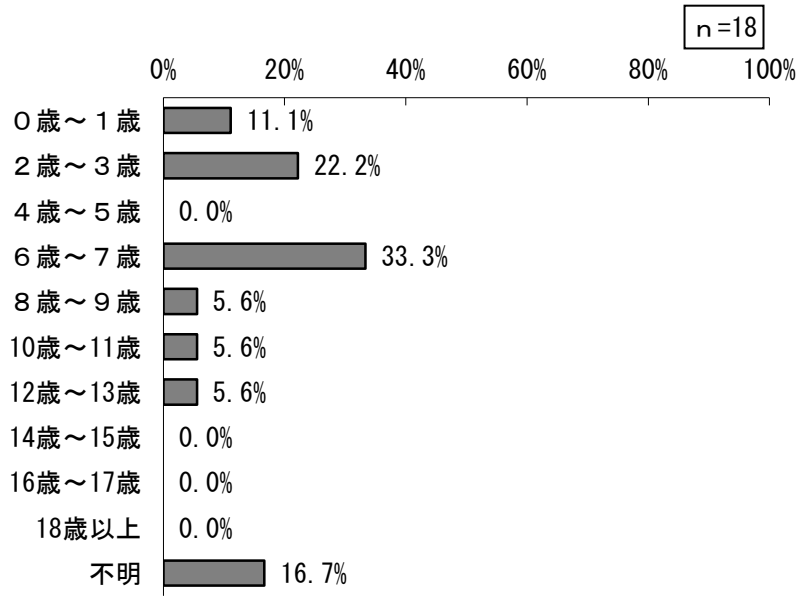
就労していない母親の今後の就労についての希望は、「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない)」が 36.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 35.3%、「1 年より先、一番下の子どもが（　）歳になれば就労したい」が 21.2%となっています。

問11-2.就労したいという希望はありますか



母親が就労する際の希望する一番下の子どもの年齢については、「6 歳～7 歳」が 33.3%と最も高く、次いで「2 歳～3 歳」が 22.2%、「0 歳～1 歳」が 11.1%となっています。

問11-2.一番下の子どもの年齢

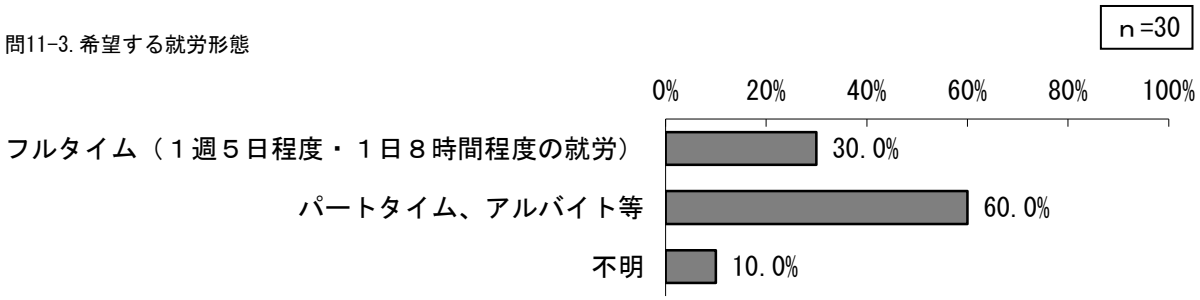


(11-3) 希望する就労形態

問 11-3　問 11-2 で「3 すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」に○をつけた方にお伺いします。希望する就労形態はありますか。(○は 1 つ) 該当する（　　）内には数字をご記入ください。

就労を希望する人の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 60.0%と最も高く、次いで「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)」が 30.0%となっています。

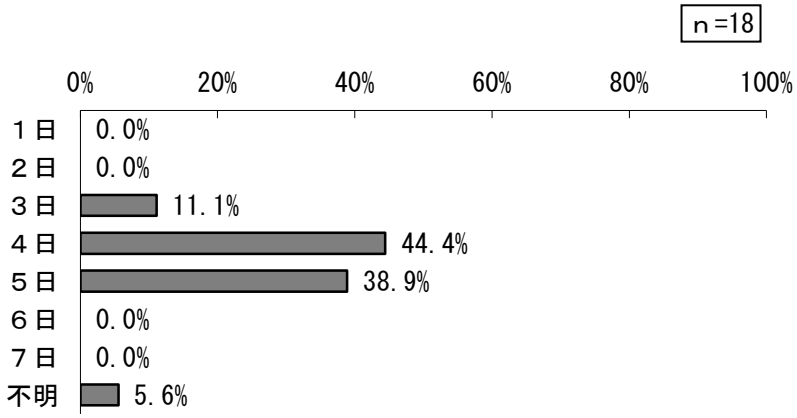
問11-3. 希望する就労形態



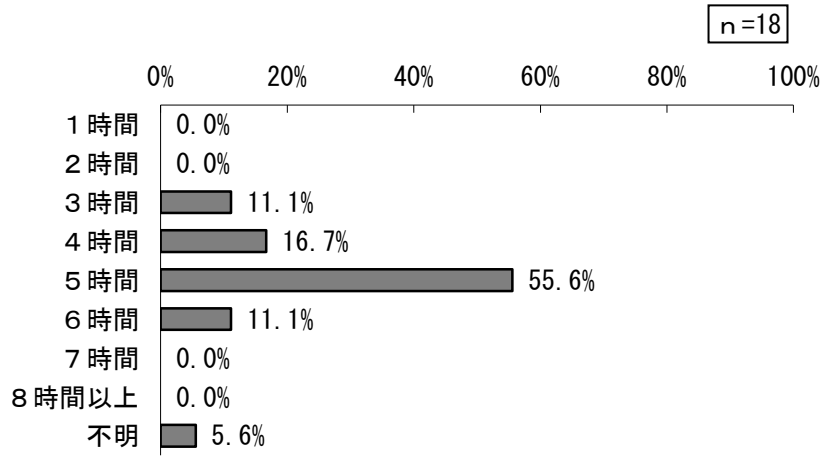
パートタイム、アルバイト等での就労を希望する母親の、希望する 1 週当たりの日数は、「4 日」が 44.4%と最も高く、次いで「5 日」が 38.9%、「3 日」が 11.1%となっています。

また、希望する 1 日当たりの時間は、「5 時間」が 55.6%と最も高く、次いで「4 時間」が 16.7%、「3 時間」、「6 時間」が 11.1%となっています。

問11-3. １週当たりの日数



問11-3. １日当たりの時間

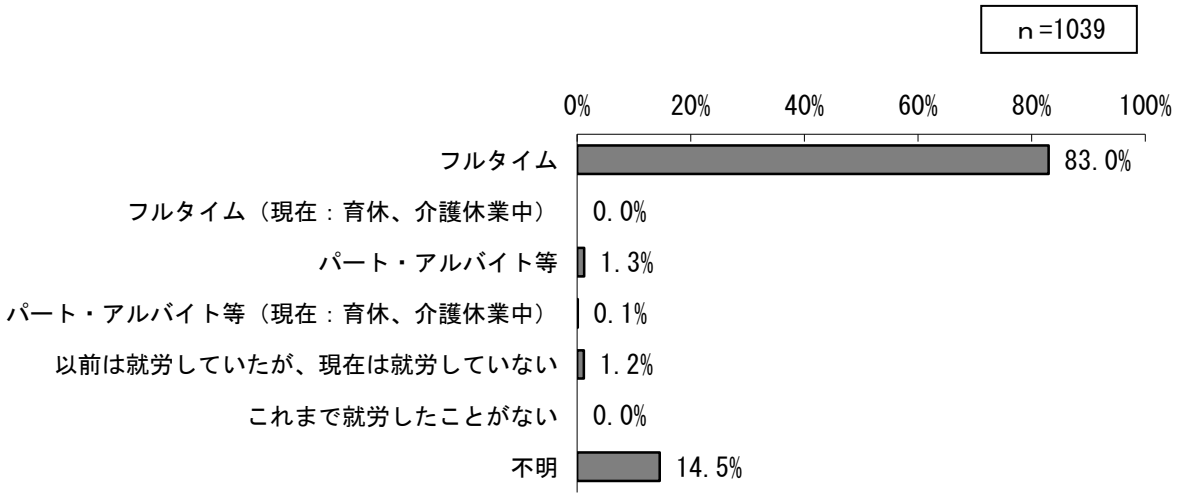


(12) 父親の就労状況

問 12　お子さんから見た「父親」の就労状況についてお伺いします。(母子家庭の場合は問 13 にお進みください。) 父親の現在の就労状況 (自営業、家族従事者含む) についてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(○は 1 つ)

父親の就労状況は、「フルタイム」が 83.0%と 8 割を超え、以下は「パート・アルバイト等」が 1.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.2%となっています。

問12. 父親の現在の就労状況

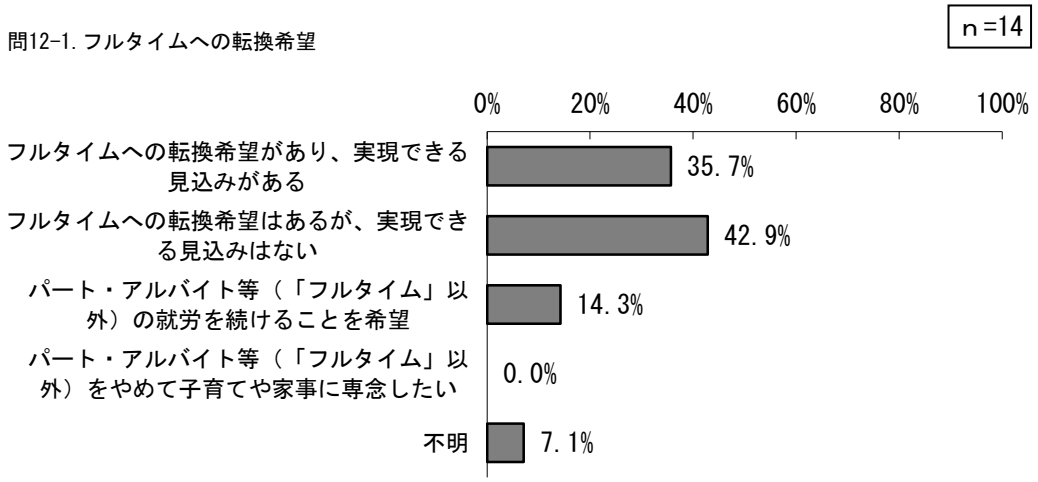


(12-1) フルタイムへの転換希望の有無

問 12-1　問 12 で「3」「4」(パート・アルバイト等) に○をつけた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。(○は 1 つ)

フルタイムへの転換希望の有無については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 42.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 35.7%、「パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外) の就労を続けることを希望」が 14.3%となっています。

問12-1. フルタイムへの転換希望

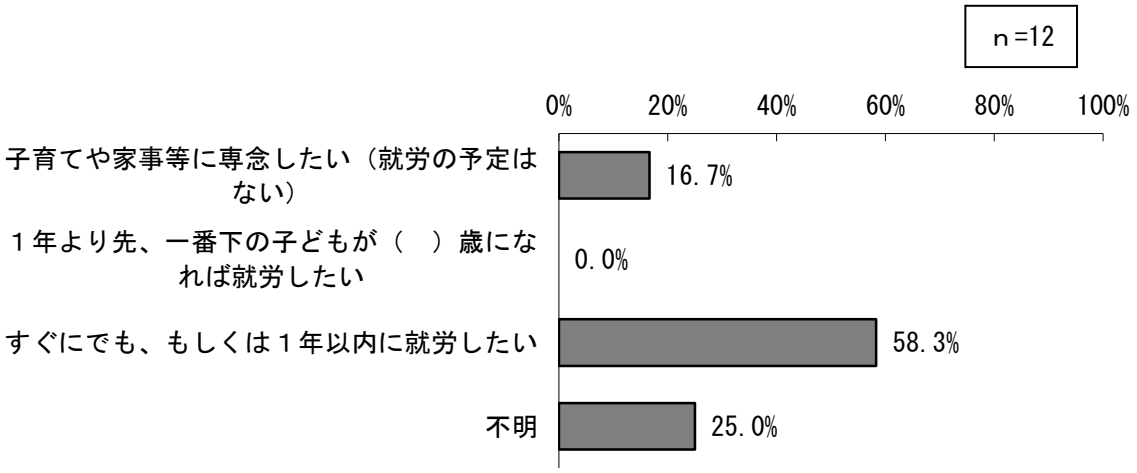


(12-2) 現在就労していない父親の今後の就労希望

問 12-2　問 12 で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方にお伺いします。就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・記号それぞれ○は１つ)
該当する（　　）内には数字をご記入ください。

就労していない父親の今後の就労についての希望は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 58.3%と最も高く、次いで「子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない)」が 16.7%となっています。

問12-2.就労したいという希望はありますか



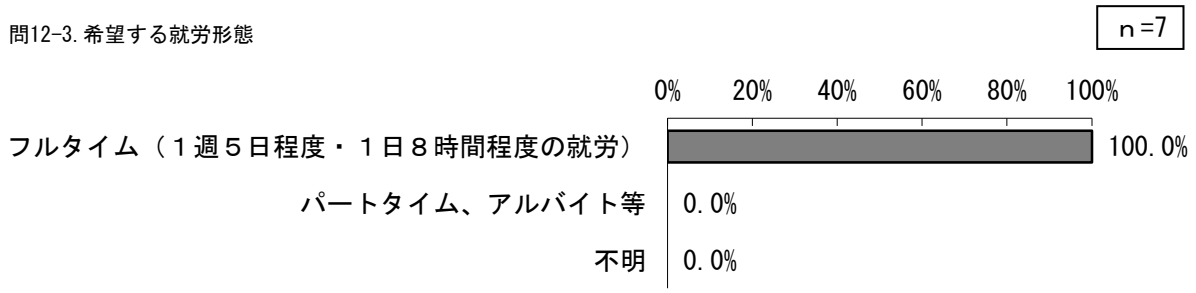
父親が就労する際の希望する一番下の子どもの年齢については、回答者がいませんでした。

(12-3) 希望する就労形態

問 12-3　問 12-2 で「3 すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」に○をつけた方にお伺いします。希望する就労形態はありますか。(○は１つ)
該当する（　　）内には数字をご記入ください。

就労を希望する人の希望する就労形態は、該当者７名が「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)」と回答しました。

問12-3.希望する就労形態



パートタイム、アルバイト等での就労を希望する父親の、希望する１週当たりの日数と１日当たりの時間については、回答者がいませんでした。

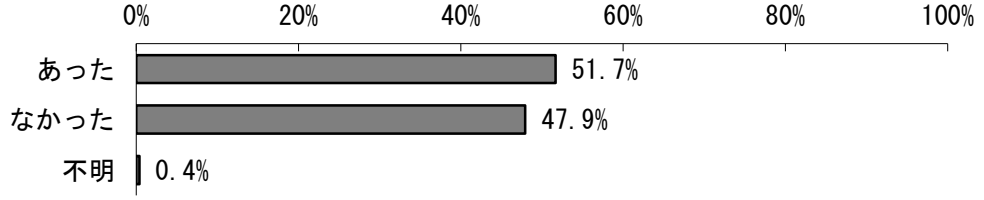
病気の際の対応について

（13）病気やケガを理由に通学できなかったこと

問 13　この１年間に、お子さんが病気やケガで学校に通学できなかったことはありますか。
（○は１つ）

子どもが病気やケガで通学できなかったことの有無について、「あった」が 51.7%、「なかった」が 47.9%となっています。

問13. この１年間に、お子さんが病気やケガで学校に通学できなかったことはありますか　n=1039

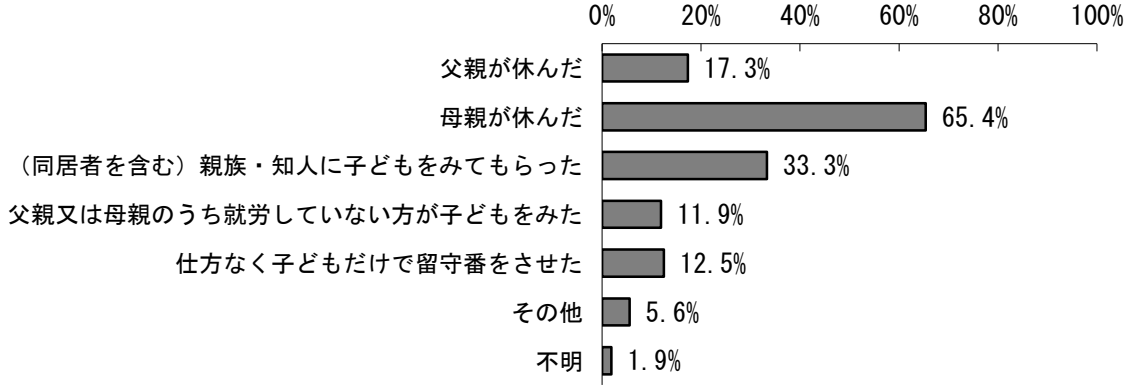


（13-1）病気やケガで通学できなかった時の対処方法

問 13-1　問 13 で「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。その時に行った対処方法についてお答えください。（○はいくつでも）
それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。
（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）

子どもが病気やケガで通学できなかった時の対処方法については、「母親が休んだ」が 65.4%と最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 33.3%、「父親が休んだ」が 17.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 12.5%となっています。

問13-1. その時に行った対処方法　n=537

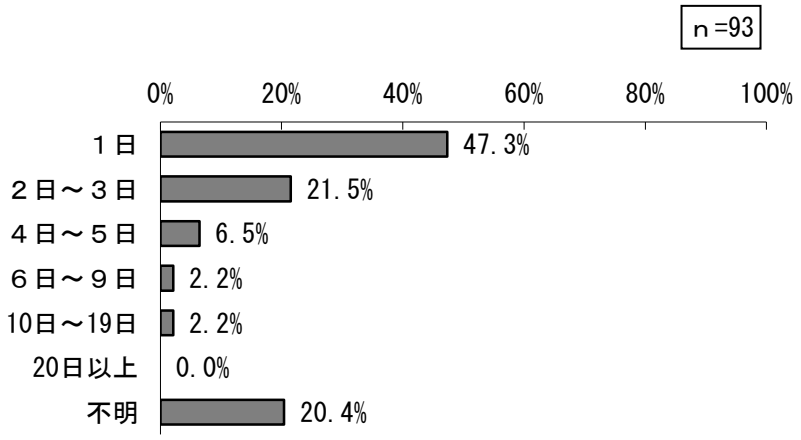


●その他

若草園/入院/母親が育休中/たまたま自分（母）が休みの日だった/父の職場が近いので、たまに見てもらい子供だけで留守番をさせた/父親が出勤まで見て母親が早退/休みの日に通院/自営なので、仕事しながら看た/病児・病後保育施設等/母親も一緒にインフルエンザになり休んだ　など

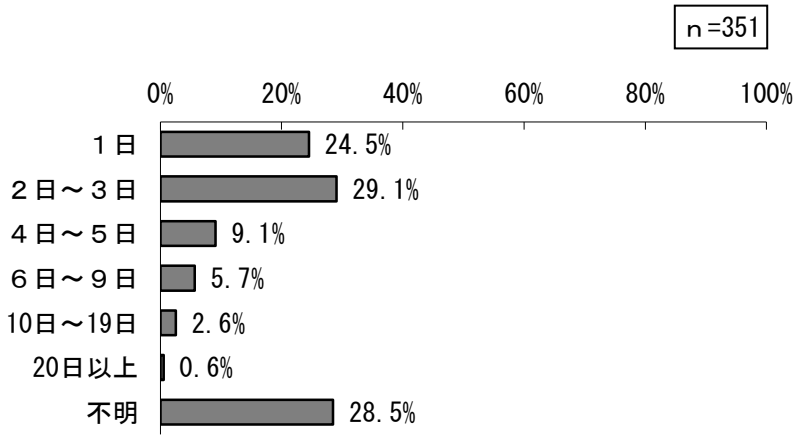
父親が休んだ日数については、「1 日」が 47.3%と最も高く、次いで「2～3 日」が 21.5%となっています。

問13-1_1. 父親が休んだ日数



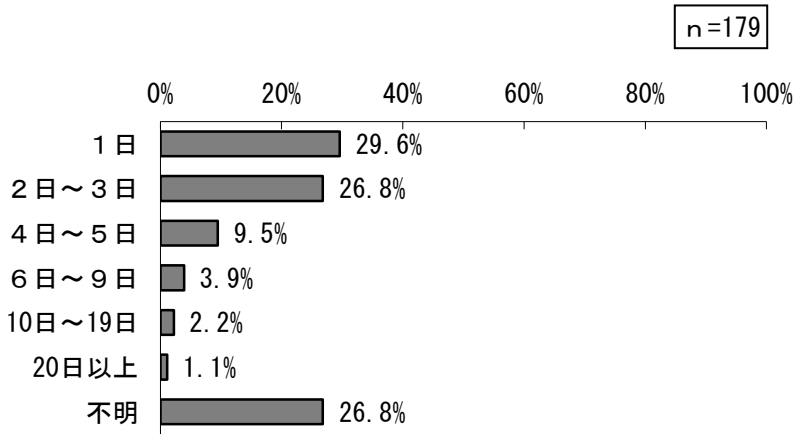
母親が休んだ日数については、「2 日～3 日」が 29.1%と最も高く、次いで「1 日」が 24.5%となっています。

問13-1_2. 母親が休んだ日数



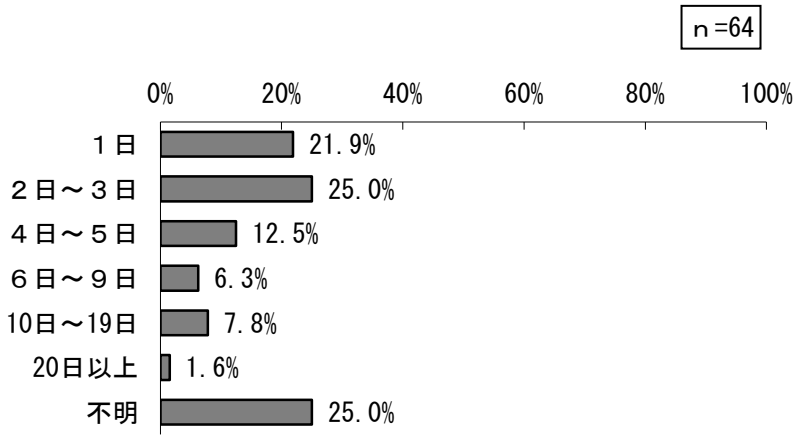
（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数については、「1 日」が 29.6%と最も高く、次いで「2 日～3 日」が 26.8%となっています。

問13-1_3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった日数



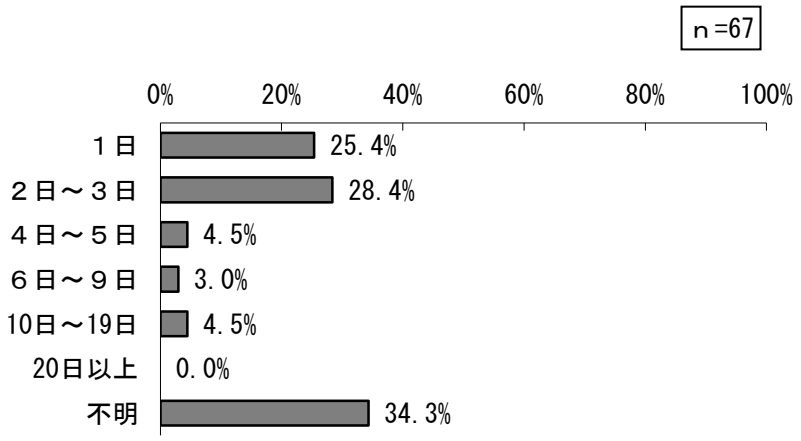
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数については､｢2 日～3 日｣が 25.0%と最も高く、次いで「1 日」が 21.9%となっています。

問13-1_4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



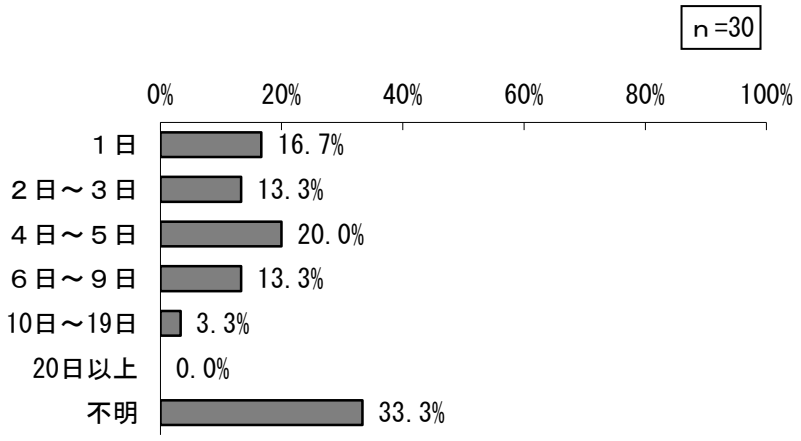
仕方なく子どもだけで留守番させた日数については、「2 日～3 日」が 28.4%と最も高く、次いで「1 日」が 25.4%となっています。

問13-1_5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



その他の日数については、「4 日～5 日」が 20.0%と最も高く、次いで「1 日」が 16.7%となっています。

問13-1_6. その他の日数



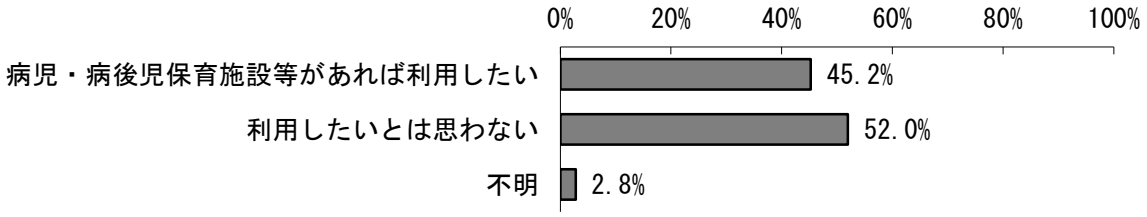
(13-2) 病児・病後児保育施設等の利用意向

問 13-2　お子さんが病気やケガで学校に通学できない場合に、「病児・病後児のための保育施設等」があれば利用したいですか。(○は１つ)
なお、病児・病後児のための事業等利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が 45.2%、「利用したいとは思わない」が 52.0%となっています。

問13-2.病児・病後児のための保育施設等があれば利用したいですか

n=1039



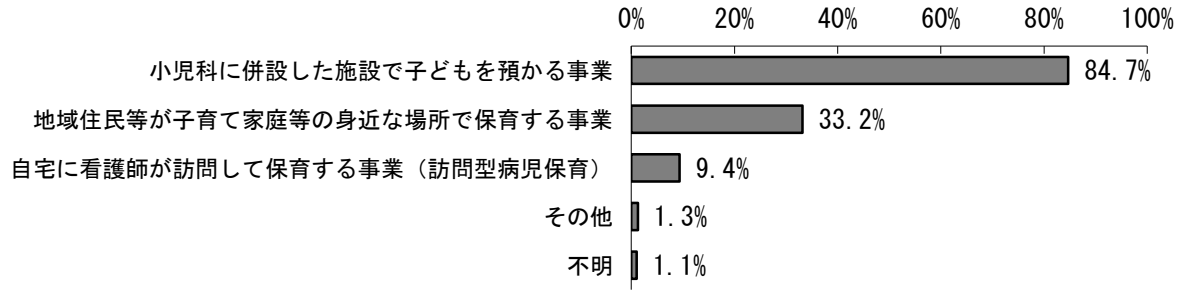
(13-3) 病気やケガの子どもを預ける場合に望ましい事業形態

問 13-3　問 13-2 で「1. 病児・病後児保育施設等があれば利用したい」に○をつけた方にお伺いします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

病気やケガの子どもを預ける場合、望ましいと思われる事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が 84.7%と最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 33.2%、「自宅に看護師が訪問して保育する事業（訪問型病児保育)」が 9.4%となっています。

問13-3.子どもを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか

n=470



●その他

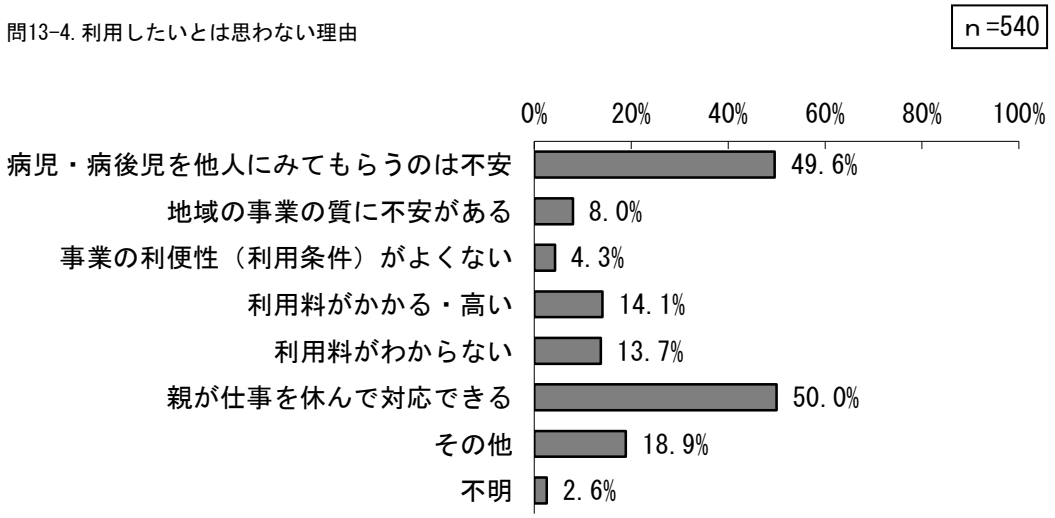
保育士さんによる保育園のような施設/保育園が学校のような環境で病児を預けられる事業/仕事が休めない時にすぐに対応してくれる/小児科が併設していなくても、施設があればよい/看護師 or 医師がいる場所での保育（自宅以外）/地域内の施設　など

（13-4）病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

問 13-4　問 13-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にお伺いします。その理由についてお答えください。（○はいくつでも）

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応できる」が 50.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 49.6%、「利用料がかかる・高い」が 14.1%となっています。

問13-4. 利用したいとは思わない理由



●その他

祖父母に頼める状況にある/収入額と利用料があまり変わらなければ働いてまで利用する意味がなくなる/病気の時くらいしっかり家族がいてやりたい（無理してでも！！）/他にもっと必要なことがあると思うし、最近親の負担を心配しすぎて親のかかわり方や役割が変わってきていて心配です/基本的に子がしんどい時にいてほしいのは親だと思う為/他の病気に感染するリスクが高そう。菌・ウィルス対策の徹底が難しそう。病変時の対応の遅れなど、1 人 1 人をしっかりと見てもらえなそう/大きくなってきたので心配がなくなり、状態が良ければ留守番が可能になってきた/障害児であるため/別の病気になるかも/1 人でもいられる年齢だから/子どもが嫌がりそう/病後児保育でもすべて受け入れるわけではなく、利用する制限があるため　など

放課後の過ごし方について

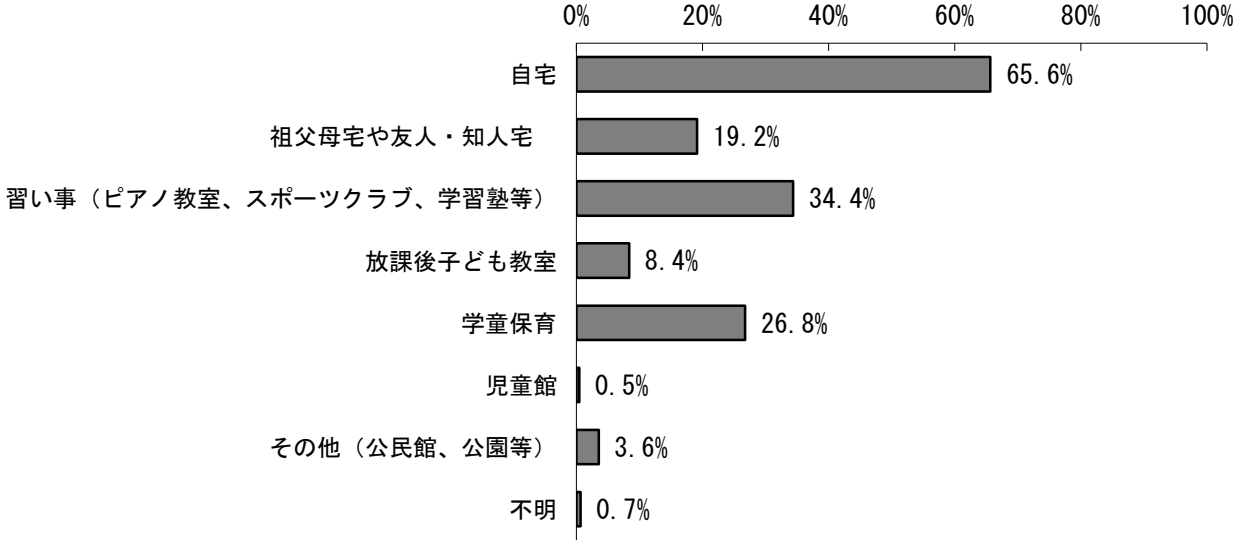
(14) 放課後の過ごし方

問 14　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（○はいくつでも）それぞれ週当たり日数を（　　）内に数字でご記入ください。
また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も（　　）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）午後 6 時⇒18 時のように 24 時間制でご記入ください。

子どもが放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごしている場所は、「自宅」が 65.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等)」が 34.4%、「学童保育」が 26.8%となっています。

問14. 放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか

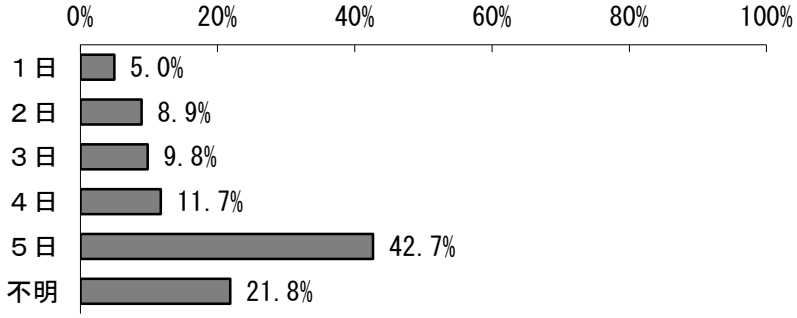
n=1039



自宅の日数については、「5 日」が 42.7%と最も高く、次いで「4 日」が 11.7%となっています。

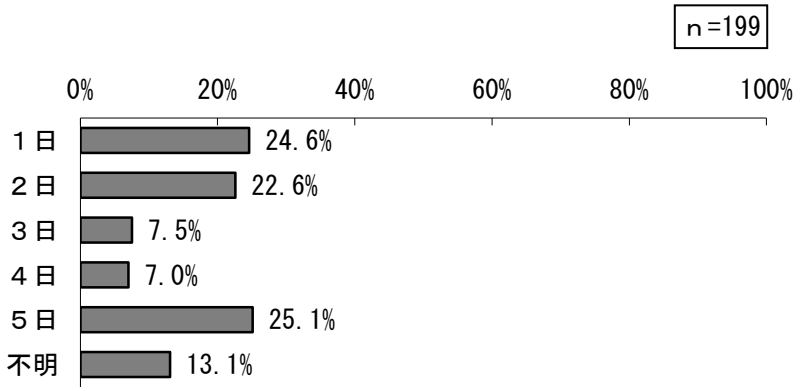
問14_1. 自宅の日数

n=682



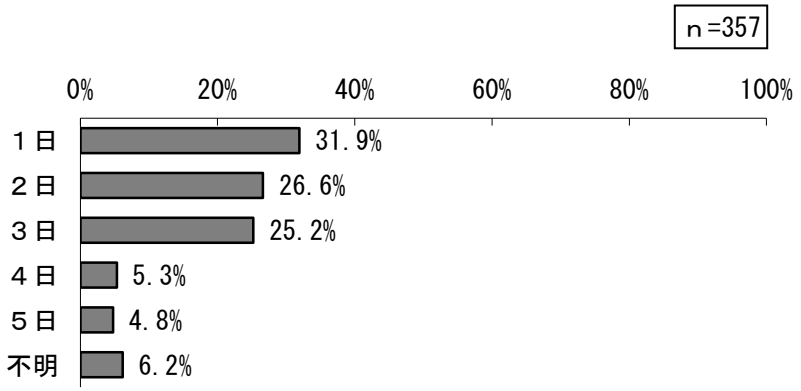
祖父母宅や友人・知人宅の日数については、「5 日」が 25.1%と最も高く、次いで「1 日」が 24.6%となっています。

問14_2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数



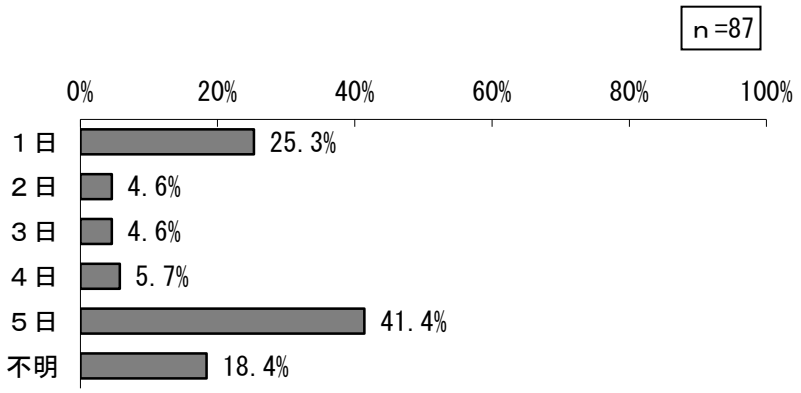
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾等）の日数いついては、「1 日」が 31.9%と最も高く、次いで「2 日」が 26.6%となっています。

問14_3. 習い事の日数



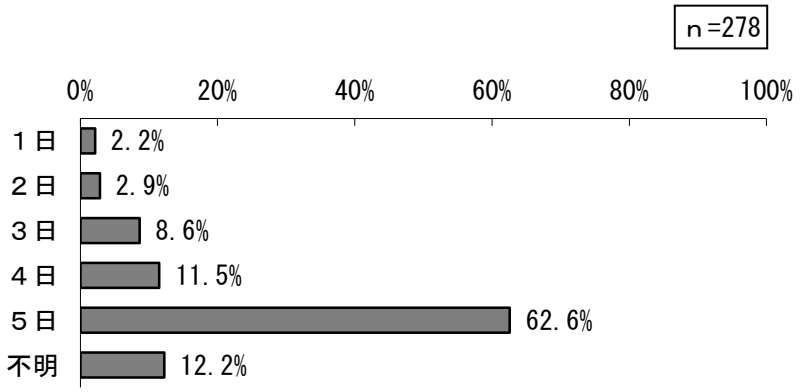
放課後子ども教室の日数については、「5 日」が 41.4%と最も高く、次いで「1 日」が 25.3%となっています。

問14_4. 放課後子ども教室の日数

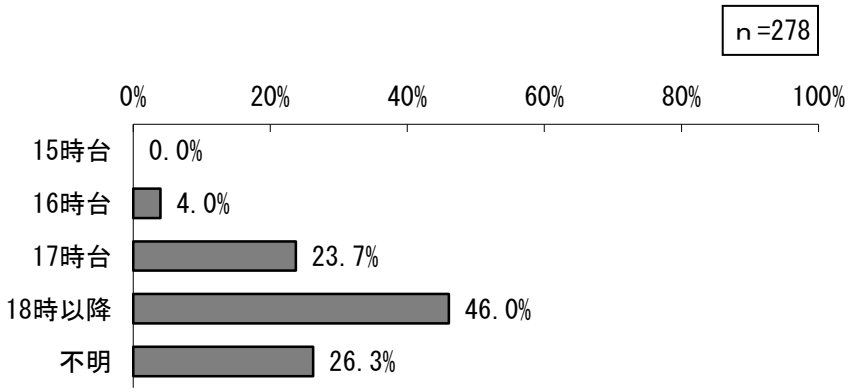


学童保育の日数は、「5 日」が 62.6%と最も高く、次いで「4 日」が 11.5%となっています。
また、学童保育の希望する終了時刻については、「18 時以降」が 46.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 23.7%となっています。

問14_5.学童保育の日数

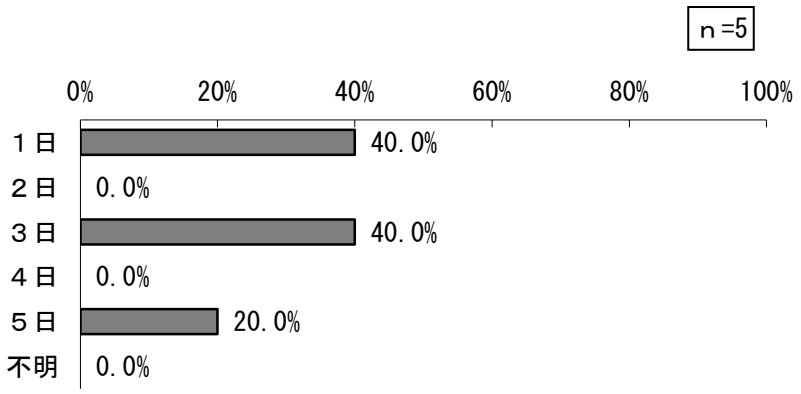


問14_5.学童保育の終了時刻



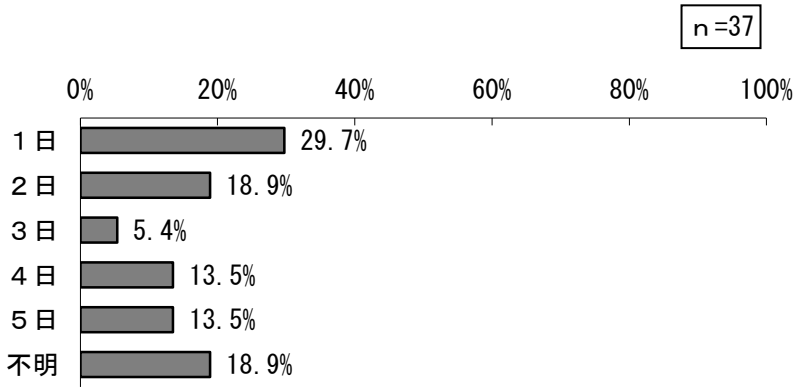
児童館の日数については、該当者 5 名のうち、2 名が「1 日」、同じく 2 名が「3 日」と回答しています。

問14_6.児童館の日数



その他の日数については、「1 日」が 29.7%と最も高く、次いで「2 日」が 18.9%となっています。

問14_7. その他の日数

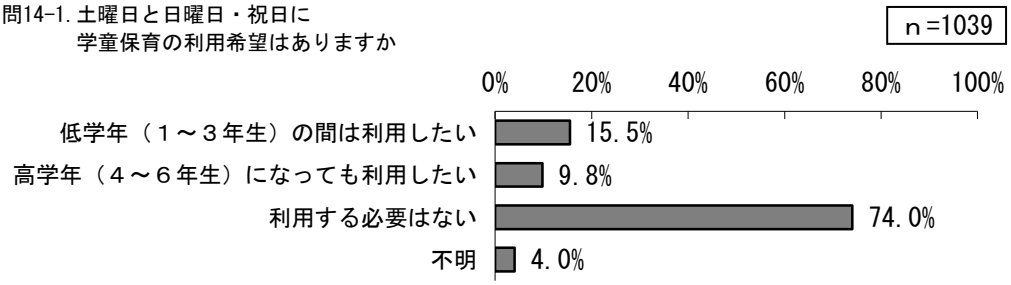


（14-1）土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望

問 14-1　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。 お答えください（○はいくつでも）。また、利用したい時間帯を、（　　）内に （例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望については、「利用する必要はない」が 74.0%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 15.5%、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 9.8%となっています。

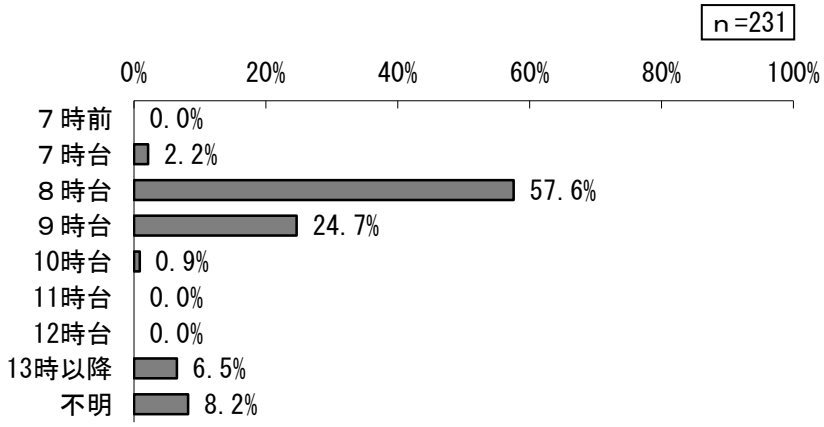
問14-1. 土曜日と日曜日・祝日に学童保育の利用希望はありますか



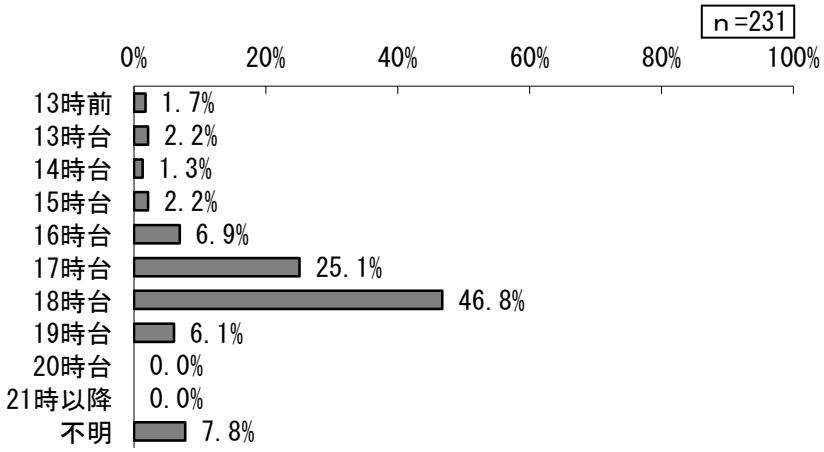
土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用したい開始時刻は、「8 時台」が 57.6%と最も高く、次いで「9 時台」が 24.7%、「13 時以降」が 6.5%となっています。

また、利用したい終了時刻は、「18 時台」が 46.8%と最も高く、次いで「17 時台」が 25.1%、「16 時台」が 6.9%となっています。

問14-1. 利用したい開始時刻



問14-1. 利用したい終了時刻

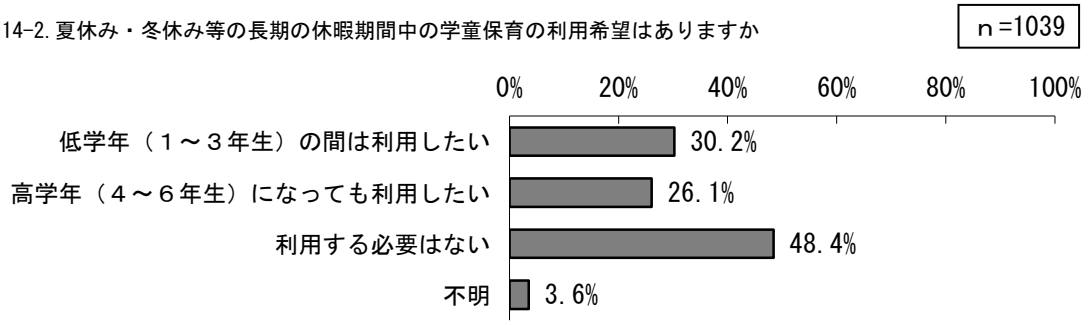


（14-2）長期休暇期間中の学童保育の利用希望

問 14-2　お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。（○はいくつでも）また利用したい時間帯を、（　）内に（例）9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

夏休み･冬休み等の長期休暇期間中の学童保育の利用希望については､｢利用する必要はない｣が 48.4%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 30.2%､「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 26.1%となっています。

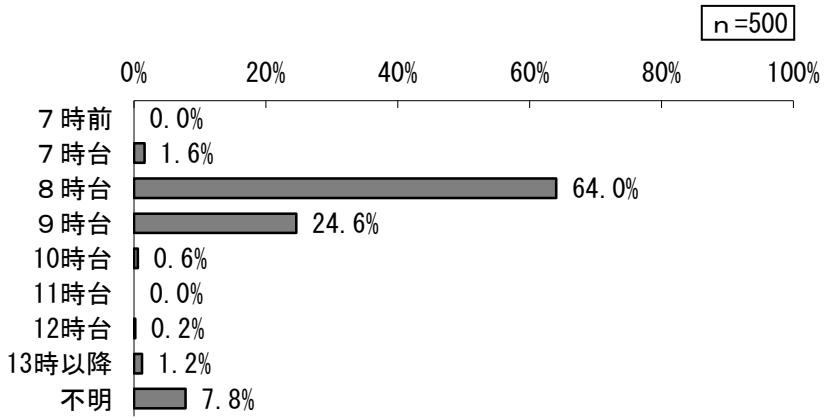
問14-2. 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか



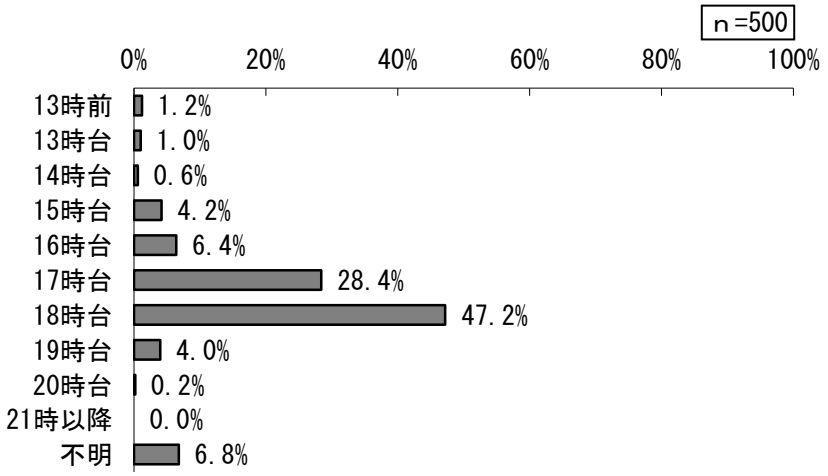
夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の学童保育の利用したい開始時刻は、「8 時台」が 64.0%と最も高く、次いで「9 時台」が 24.6%、「7 時台」が 1.6%となっています。

また、利用したい終了時刻は、「18 時台」が 47.2%と最も高く、次いで「17 時台」が 28.4%、「16 時台」が 6.4%となっています。

問14-2. 利用したい開始時刻



問14-2. 利用したい終了時刻



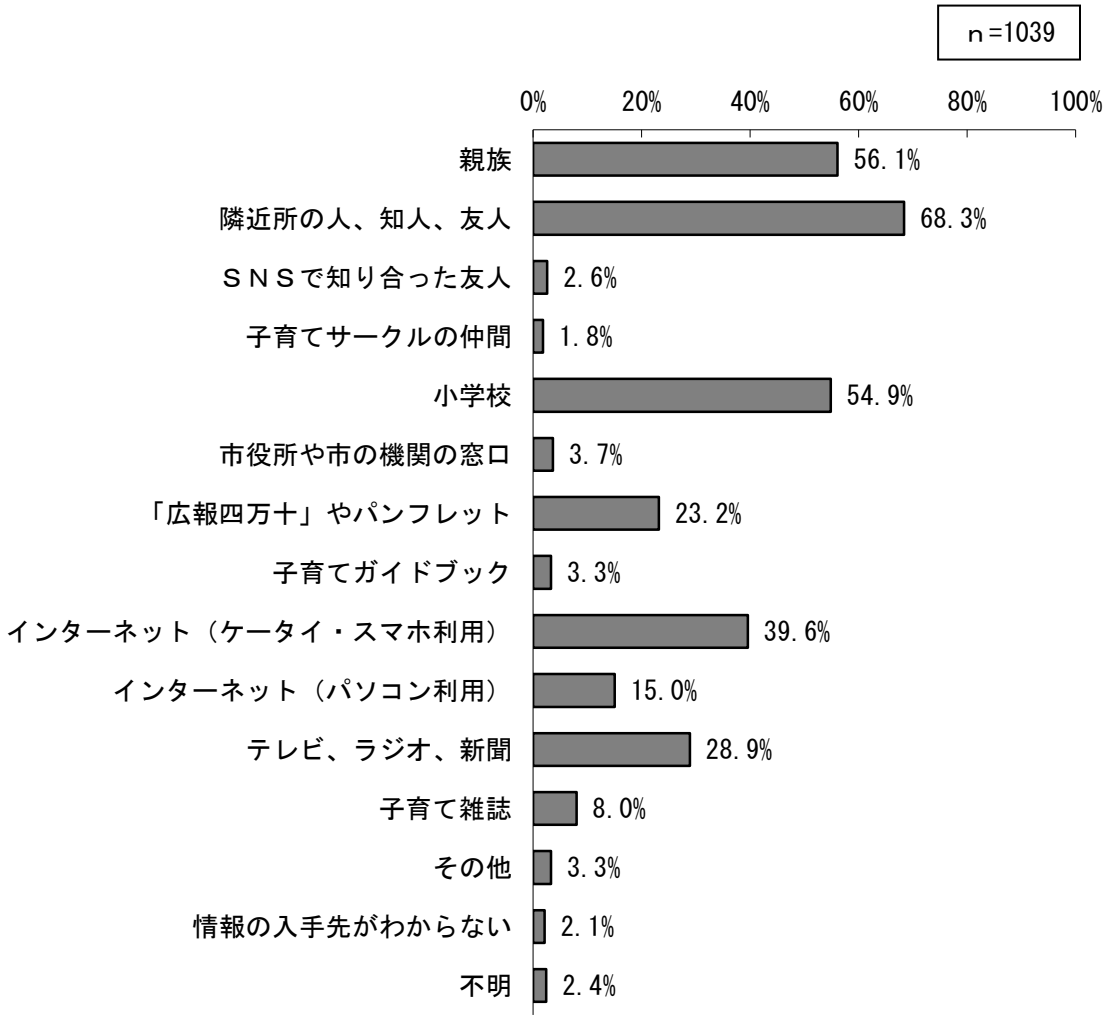
子育てに関する情報について

(15) 子育てに関する情報の入手先

問 15　あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。（あてはまるものすべてに〇）

子育てに関する情報の入手先は、「隣近所の人、知人、友人」が 68.3%と最も高く、次いで「親族」が 56.1%、「小学校」が 54.9%となっています。

問15.子育てに関する情報を主としてどこから入手していますか



●その他

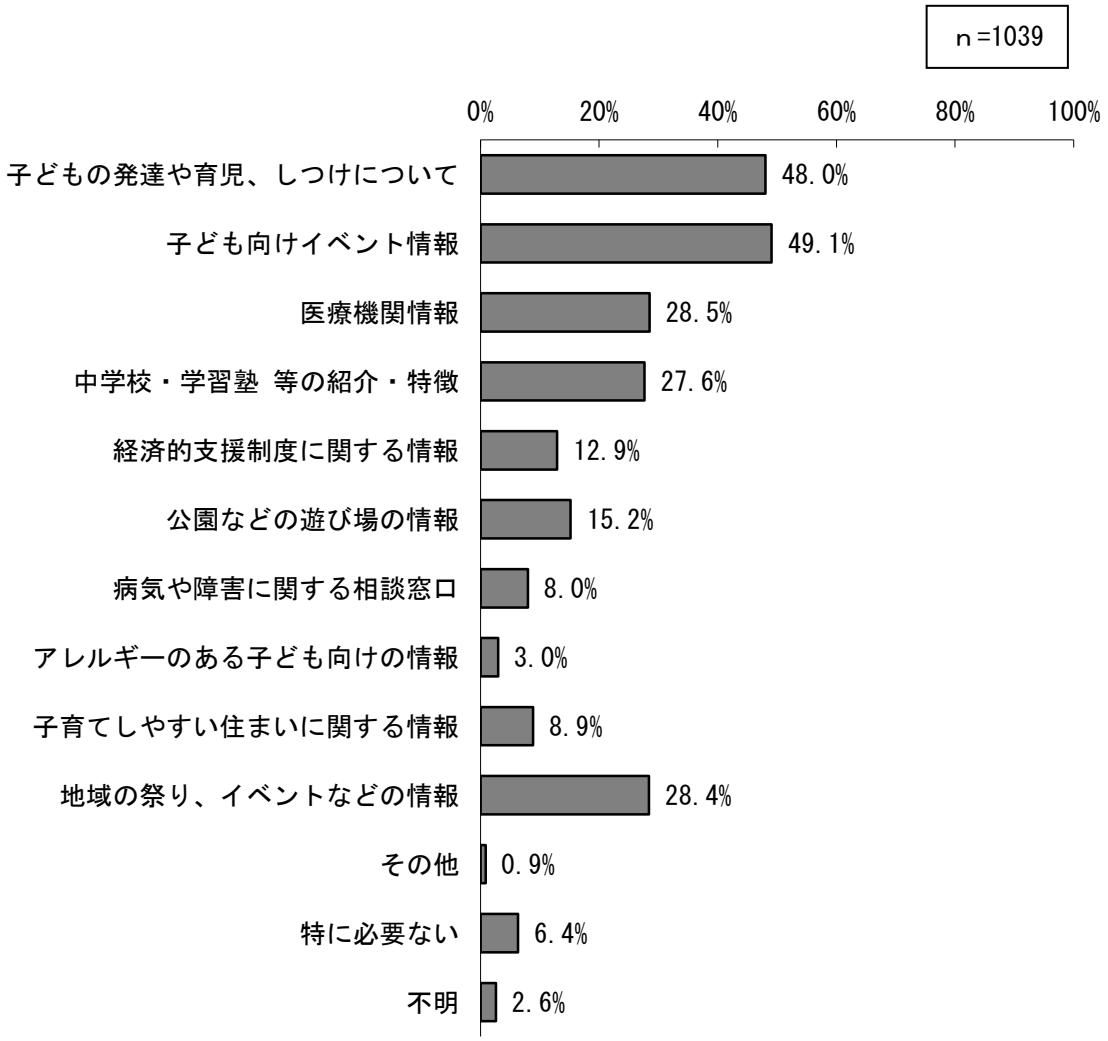
研修/子供の友達のお母さん/職場/今は情報入手の暇がない/どこも情報を得てない。上の子と同じ様にしただけ/先生/塾からの冊子/その度、自分たちで考える。臨機応変に/かかりつけ医師/講演会　など

(16) 子育てに関してどのような情報が欲しいか

問 16　あなたは、子育てに関するどのような情報が欲しいですか。(3 つまで選んで〇)

子育てに関する情報で欲しいと思うものは、「子ども向けイベント情報」が 49.1%と最も高く、「子どもの発達や育児、しつけについて」が 48.0%と僅差で続いています。次いで「医療機関情報」が 28.5%、「地域の祭り、イベントなどの情報」が 28.4%となっています。

問16.子育てに関するどのような情報が欲しいですか



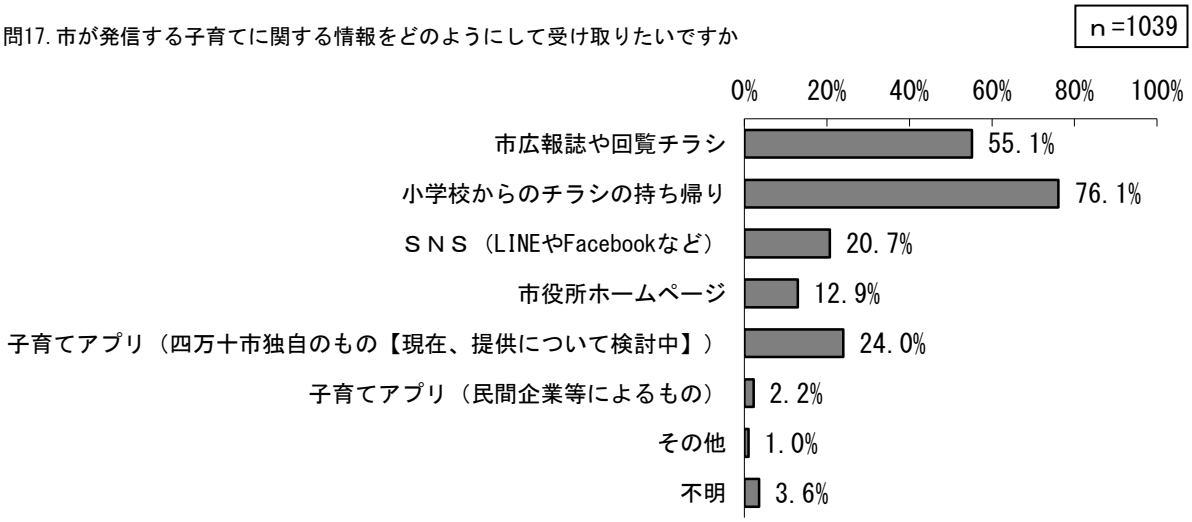
●その他

サッカークラブや水泳教室などの習い事に関する情報（金額、日時等）/子供の心との向き合い方、心の育て方/習い事やほかの事の関わりが持てる情報など/芸術に触れる機会の提供/学校の教育について/雨の日に運動出来る場所/スポーツクラブの情報　など

（17）情報の入手方法の希望

問 17　あなたは、市が発信する子育てに関する情報を、どのようにして受け取りたいですか。（3 つまで選んで〇）

市が発信する子育てに関する情報を、どのようにして受け取りたいかについては、「小学校からのチラシの持ち帰り」が 76.1%と最も高く、次いで「市広報誌や回覧チラシ」が 55.1%、「子育てアプリ（四万十市独自のもの【現在、提供について検討中】）」が 24.0%となっています。



●その他

特に必要ない/携帯がガラケーなので 3、4、5、6 は見られない！！/電子データにたよらず紙ベースで知らせて/興味がない　など

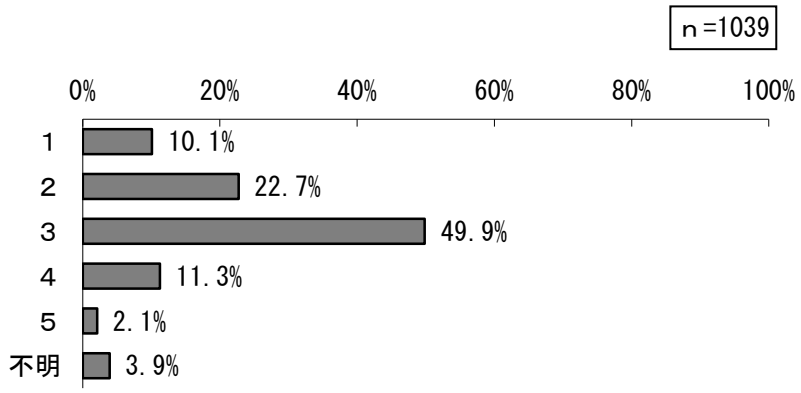
行政への要望について

（18）市の子育て環境や支援への満足度

問 18　四万十市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。（○は 1 つ）

四万十市における子育ての環境や支援への満足度は、「3」が 49.9%と最も高く、次いで「2」が 22.7%、「4」が 11.3%となっています。

問18. 四万十市における子育ての環境や支援への満足度



「1」（低い）→「5」（高い）

四万十市の未来を考えるための

アンケート調査　結果報告書

発行年月：平成 31 年３月
発　　行：四万十市
編　　集：子育て支援課
住　　所：〒787-8501
　　高知県四万十市中村大橋通 4 丁目 10
電　　話：0880-34-9007